

第六十三回帝國議會
衆議院

製絲業法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和七年八月三十日(火曜日)午前九時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 生田 和平君

理事加藤 知正君 理事矢野 晋也君

理事小山邦太郎君

横川 重次君 有馬 淺雄君

近藤壽市郎君 白城 定一君

青木 精一君 百瀬 渡君

川淵 洽馬君 戸田 由美君

武田德三郎君 吉田 頼明君

山本 慎平君

同日委員芦田均君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
山本慎平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 鳩山 一郎君

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林省蠶絲局長 入江 魁君

農林書記官 田淵 敬治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

製絲業法案(政府提出)

日本蠶絲株式會社法案(胎中楠右衛門君
外二名提出)

原蠶種國營法案(胎中楠右衛門君外二名
提出)

製絲業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
輸出生絲販賣統制法案(胎中楠右衛門君
外二名提出)

○生田委員長 是ヨリ製絲業法ノ委員會ヲ
開キマス

○横川委員 本議會ハ開院式ノ御詔勅ニモ
アリマス通り、緊急ナル豫算及法律案ヲ提
出シタト云フ意味ニナッテ居リマス、緊急
ト云フ意味ハ、勿論時間的ニ急迫ヲ告ゲル
モノ、及事柄ノ必要性ノ緊迫ト云フ意味デ
アルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、
此見地ヨリスレバ、蠶絲業界ノ急ヲ救フト
云フ意味合ニ於キマシテ、種々ナル聯絡統
制アル所ノ案ガ茲ニ考慮セラル、ト思フノ
デアリマスガ、特ニ農林當局ガ此案ノミヲ
御提出ニナリマシタ理由ガ、爾ク時間的ニ
緊急ヲ要シ、又必要性ノ緊迫ヲ感ズルト云
フ意味デアリマセウカ、又第二ニ、此案ハ
現在資本主義經濟ニ對シ、或ル種ノ統制ヲ

加ヘテ行カナケレバナラヌト云フ新シキ見
地ノ下ニ、即チ國家ノ力ヲ幾分ナリトモ資
本主義經濟ニ及ボシテ行クコトガ、寧ロ資
本主義ヲ堅實ニ發達セシムル所以デアルト
云フ見地ヲ以テ、所謂統制經濟ト云フ意味
ニ吾々解シテ居リマスガ、左様ナ見地カラ
御出シニナツタノデアリマスガ、此兩點ヲ
先ヅ伺ヒマス

○後藤國務大臣 製絲業法ヲ此際出シマシ
タ理由ハ、全體ノ蠶絲業統制ノ施設ノ是ガ
一角デアリマスルコト、此問題ハ比較的
今日迄調査モ出來テ居リ、施行ノ上カラモ
大キナ難點ヲ見ズシテ、直チニ實施ニ著手
スルコトガ出來ル準備ガ出來テ居リマスコ
ト、第三ニハ過去ノ、殊ニ最近マデノ經驗
ニ於テ、蠶絲業界ノ景氣ノ好轉又ハ惡化
ガ、激烈ニ製絲業ノ亂立又ハ倒壊トナッテ、
養蠶業者ニ及シタ不利益モマザ、ト今日
印象ニ殘ッテ居リマス、今日迄ノ景氣ニ於
キマシテハ、新ニ製絲業ヲ起サウトスル者
ガ比較的少イ有様デアッタ、ソレナラバ急
ガヌデモ宜イデハナイカト云フ議論モゴザ
イマシタケレドモ、是ガアルト云フコト

付託議案
製絲業法案(政府提出)
日本蠶絲株式會社法案(胎中楠右衛門君外二名
提出)
原蠶種國營法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
製絲業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
輸出生絲販賣統制法案(胎中楠右衛門君外二名
提出)

ガ、格別一般ノ人ノ自由活動ニ大キナ不便
ヲ生ゼズシテ、此製絲業ヲ今後統制スルト
云フノニ非常ニ好イ時機デアル、殊ニ又製
絲業ガ一度好轉ヲシテ來ルト云フヤウナコ
トニナレバ、實ニ此亂立ノ弊ヲ恐ル、ノデ
アリマス、昨今ノ如キ狀況ハ、又過去ノ悲
慘ナ事例ヲ再ビ繰返スニ至ル端緒ヲ作ルノ
デハナイカト云フヤウナコトカラ、旁、此
法案ヲ此議會ニ於テ御協賛ヲ得テ實施ニ著
手スルコトガ、最モ便宜デアリ且必要デア
ルト考ヘタノデアリマス、其他ノ蠶絲業統
制ニ關スル諸施設ニ付テハ、昨日來御質問
ニ御答シテ居リマスルヤウニ、出來ル限リ
速ニ考究ヲ遂ゲテ、其確信ヲ得タルモノカ
ラ實施ヲシテ行キタイト思ッテ居ル譯デア
リマス

ソレカラ此製絲業免許制度ハ、資本主義
經濟ヲ更ニ改善シ且確保スル爲ノ統制經濟
ト云フ議論ガアルガ、其趣旨カラ實行シテ
居ルノデアルカト云フ御話デアリマス、左
様ニ御觀察ヲ戴イテモ結構デアリマスル
ガ、吾々ハ特ニソレ程ノ理論的ノ基礎カ
ラ、此製絲業ノ統制ヲ考ヘタト申スヨリ

モ、製絲業自體ガ蠶絲業界ニ及ボス全體ノ影響、其モノノ實地ノ見地カラ之ヲ企テタノデアリマシテ、御話ノヤウナ事柄ノ理論ニ引付ケテ之ヲ説明スレバ、説明シ得ルモノデモアルカト思ヒマス

○横川委員 御當局ノ御説明ハ、昨日カラ同様ノ意味合ヲ伺ッタノデアリマスガ、尙ホ自分ガ重ネテ御問致シマシタル所以ハ、更ニ將來ニ於ケル御當局ノ御意向ノ存スル所ヲ強ク拜聴致シタイト云フ意味合カラ、即チ吾々國民ト致シマシテ、又蠶絲業關係ノ者ト致シマシテ、御當局ノ意ノアル所ヲ御伺シタイ、斯ウ云フ見地カラ重ネテ御質問申上ゲタノデアリマスガ、不幸ニ致シマシテ、御當局ノ蠶絲業界ニ對シマスル認識ト申シマスルカ、見解ト申シマスルカ、吾々ト稍、異ナルモノガアルコトヲ痛感スルモノデゴザイマス、其意味ハ、要スルニ此案ハ比較的調査ガ整ツタガ故ニ、製絲業ノ亂立ニ鑑ミテ、又其倒壊ニ鑑ミテ出シタ、斯様ナ御説ガアツタヤウデアリマシタガ、此亂立デアルトカ乃至ハ倒壊デアルトカ云フコトハ、單ニ製絲家ガ澤山出來タガ故ニ、倒レタト云フ意味デハナクシテ、製絲業界及製絲販賣方面ニ於ケル種々ナル他ノ原因ノ結果、茲ニ其結果トシテ製絲家ノ倒壊、

倒産ト云フコトニナッテ現レタモノデアリマシテ、直チニ製絲家ノ増設トカ、所謂亂立トカ云フ御見解ノ下ニ起リマシタ製絲釜數ノ増加ト云フコトガ、直接ニ製絲業界今日ノ不況ヲ齎シタ所以デハナイノデアリマス、斯様ナ意味合カラ申シマスルナラバ、下手ナ將棋指ノヤウニ、一手先ダケ考ヘテ、其由テ來タル所以ヲ考ヘナイ、所謂臨牀的ニノミ考ヘテ、其病根ヲ察セザルモノデ、洵ニ御當局ノ見解ノ未ダ至ラザルコトヲ、甚ダ失禮ナガラ吾々ハ遺憾トスルモノデゴザイマスガ、然ラバ其比較的ニ調査ガ整ツテ居タカラト云フ御話デアリマスガ、其他ノ問題ニ付キマシテハ、御調査ハ進ンデ居ルノデアリマスルカ否カ、吾々ノ研究ニ依レバ、寧ロ難易ノ問題ニ非ズシテ、其需要性ノ強キカ否カト云フ問題デ、御當局ハ當然此際奮ッテ御研究ニナルベキ問題デアルト思フノデアリマスガ、殊ニ本議會ハ農村ノ窮迫ヲ救フト云フ意味合モアリマシテ、農林省ノ背後ニハ五百五十萬戸ノ農家が控ヘテ居ルノデアリマスカラ、何處迄モ意ヲ強ウシテ、萬難ヲ排シテ進マレルコトガ、是ハ當然デアルト思フノデアリマスガ、若シ御當局ガ左様ナ見地ニ於キマシテ、御見解ニ於テ異ナルモノガアルトシ

タナラバ、其點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 蠶絲業ノ全般ニ互ル統制ノ問題、之ニ依テ蠶絲業界ノ安定ヲ圖ル諸施設ヲ講ズル問題ニ付テハ、當局モ十分ニ必要ヲ認メテ考究ヲ致シテ居リマス、昨日來御質問モアリマシタヤウニ、此蠶絲業全般ノ問題ノ、殊ニ重點ノ大ナルモノデアアル輸出生絲ノ販賣ニ關スル統制ノ問題ノ如キハ、當局ニ於テモ十分ニ考究ヲ續ケテ居リマス、併ナガラ昨日申上ゲタヤウニ、是ハ其遣方其仕組ハ色々ノ方法ガ考ヘラレマス、又遣方次第ニ依テハ、其海外ニ於ケル影響ヲモ深く考慮シナケレバナラヌ點ガアル、當局ハソレ等ノ點ニ付テ十分ナ確信ノアル案ヲ得ルマデハ、製絲業全體ノ利益ノ爲ニ、直チニ之ニ著手スル實行スルト云フコトヲ決定スル譯ニハ參リマセヌ、ソレ等ノ問題ハ、此臨時議會ノ應急的ノ施設ヲ致シマス際ニ間ニ合セテ致スト云フ譯ニハ參リ兼ネルノデアリマス、唯當局ニ於テモソレ等ノ問題ヲ深く考慮シ、進ンデソレ等ノ解決ヲ致シタイト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○横川委員 蠶絲業界救済ノ必要デアルトハ、只今御話ノ如クデアリマス、ソレハ

將來ノ問題ニ付テハアリマスガ、私共ヨリ考ヘマスレバ、蠶絲業界ノ救済乃至ハ整理ノ爲ニ、既ニ出サレマシタル設備乃至ハ法案ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、當然此際必要ガアリマスナラバ、更ニ馬力ヲ掛ケタ御當局トシテノ誠意ヲ示スコトガ至當デアルト思フノデアリマスガ、大正十四年ヨリ國家ノ統制ノ下ニ全國的ニ普及ヲ圖ル目的ヲ以テマシテ、乾繭倉庫組合ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマスガ、其後時勢ノ影響ヲ受ケマシテ、種々意ニ滿タザル所ガアルノデアリマスガ、當然繭ヲ商品トシテ賣リ得ルヤウナ設備ニ擴大シテ行キマシテ、製絲家ノ負擔ヲ輕カラシメ、乃至ハ繭價ノ動搖ヲ防グト云フコトガ、此際養蠶家ニ取リマシテモ、製絲家ニ取リマシテモ、非常ニ必要ナコトデアルト思フノデアリマスガ、御當局ニ於キマシテハ、來ルベキ議會ニ於キマシテ、之ニ對スル十分ノ助成豫算ヲ取ラレマシテ、是ガ普及徹底ニ志スト云フコトノ御意思ガアリマスカドウカ、勿論此乾繭倉庫組合ト云フモノハ、政友會ノ高橋大藏大臣ガ曾テ農林大臣デアリマシタ時代ニ於テ御發案ニナリマシテ、其後各歷代ノ内閣ガ、其趣旨ニ付キマシテハ、贊成乃至ハ敷衍ヲシテ來タモノデアリマスルガ、

未ダ徹底シナイト云フコトガ、其機能ヲ洵ニ十分ナラシメザルモノガアルト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテ特ニ農林當局モ御努力遊バサル、ノ意思アリヤ否ヤヲ御伺シタイノデゴザイマス

○後藤國務大臣 只今御尋ノ御趣旨ハ、吾ニ於キマシテモ至極御同感デアリマス、唯先年來財政ノ狀況ガ惡クナリマシタ爲ニ、折角支出シテ居リマシタ補助金モ、漸次減額サレト云フヤウナコトニナリマシテ、當局トシテモ洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此度御協賛ヲ得テ居リマスル臨時ノ補助對策トシテ保管ノ獎勵ヲ助長スル、其他府縣ノ補助對策ニ對シテ相當ナ補助ヲスルト云フヤウナコトモ、只今ノ御趣旨ノ一端ニ副ハントシテ居ルヤウナモノデアリマスルガ、斯ウ云フコトヲ致スニ付キマシテモ、御話ノヤウニ乾藪倉庫法ガ十分ニ普及徹底シテ居リマスレバ、極メテ其仕事ガ容易ニナルノデアリマス、其普及ガ未ダ十分デナイ爲ニ、甚ダ不便ヲ感ズル譯デアリマス、當局トシマシテハ出來ル限り御趣旨ノヤウニ努力ヲ試ミタイト思ッテ居リマス

○横川委員 當局ノ御意思ノアル所ヲ伺ヒマシテ、吾ミト致シマシテハ甚ダ心ヲ強ウ

スル者デアリマスガ、ドウゾ其趣旨ニ基キマシテ、來ルベキ議會ニ於キマシテハ、十分ナル豫算ヲ取ラレンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、ソレカラ私ハ本案ニ付キマシテ、尙ホ一點御伺ヲ致シタイト思ヒマス、本案ノ根本的ノ趣旨ハ、要スルニ製絲家ノ亂立ヲ防グ、斯様ナ意味ノアルコトニ諒解致シマスガ、若シ其意味ヲ徹底スル必要ガアルト致シマスナラバ、御當局ニ於キマシテハ、茲ニ法ノ規定スル所ニ條件ヲ以テ出願ヲ致シマシタ場合ニ於テモ、全體ノ統制上產繭ニ比例シテ、其釜數ガ過剩ヲ見ントスルヤウナ場合ニ於テハ、條件ニ當嵌ッタ許可ノ申請ヲシマシテモ、之ヲ認可セザル場合ガアリ得ルカドウカ、此點ヲ先ヅ御同致シタイ

○後藤國務大臣 ソレハナイ積リデアリマス、大體此規格標準ヲ設ケルト云フコトニ依テ自ラ行ハレル制限ヲ以テ、只今ノ所デハ満足スベキモノデアルト思ッテ居ルノデアリマス

○横川委員 左様ナ意味カラ申シマスナラバ、總テ茲ニ利潤ガ十分ニ含マレル場合ニ於キマシテハ、相當ニ釜數ヲ殖ヤス志望者ガ出テ來ルト思ヒマスシ、又新ニ事業ヲ起サントスル者ガ出ヨウト思ヒマス、左様ナ

結果ハヤハリ同様ニ數ノ過剩ト云フコトヲ招來スルモノデアルト思フノデアリマシテ、左様ナ結果カラ致シマシテ、此業法ノ目的ヲ全然達スルコトガ出來ナイノデハナイカ、斯様ナ疑懼ヲ懷クモノデアリマスガ、御當局ニ於キマシテハ左様ナ御考ハナイノデアリマスカ

○後藤國務大臣 御話ノヤウナ場合ガ生ジ得ナイトハ申サレマイト思ヒマス、併ナガラ此法律ガ狙ヒマス所ハ、モウキチ／＼ト計算的ニ釜數ト繭トヲ合セ、更ニ絲ノ需要ノ方ヲ合セ、ドレダケノ釜數ガ全國的ニ必要ダト云フコトヲ斷定シテ行ク譯ニハ、容易ニハ參リ兼ネルト思ヒマス、ヤハリ自ラ伸縮ノ餘地ヲ存シナケレバナラス、殊ニ先程來御話モゴザイマシタヤウニ、蠶絲業全體ニ互ッテ、詰リ養蠶ノ所カラ販賣輸出マデ、之ヲキチット完全ナ統制ノ中ニ入レテシマツテヤルト云フコトニナリマスレバ、其製絲業ノ構成ニ於キマシテ釜數幾ラ、其増減ノ——年々幾ラツ、増シタリ減ジタリスルコトニ付テ、其全體ニ互ッテ一人一個ノ工場規格ノ制限ノミナラズ、其工場ニ於ケル釜數ノ増減ノコトマデモ干涉スルコトガ考ヘ得ラレルカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フコトヲスルコトガ工業ノ進展、工業

ノ發達ノ爲ニモ、是非必要デアルト云フ所ヘハ容易ニ參ルマイト思ヒマス、御話ノヤウニ釜數ヲ唯一ツノ工場ニ付テ基準ヲ決メテ置クト云フダケデハ、外ノ工場ガ釜數ヲ増スコトモ、亦其基準ニ合ッタ工場ガ景氣ガ好ケレバ殖エルト云フ御心配ハ、御尤ダラウト思ヒマス、ソレハサウ今ノ場合深ク憂フルベキ事柄デハナイト思ヒマス、此基準ニ依テヤルコトニ依テ、相當ノ目的ガ達セラル、ト云フコトデ、先ヅ參ルノガ宜カラウト思ヒマス

○横川委員 御答ノ如クト致シマスルナラバ、全體的ニ釜數ノ殖エルコトハ問題デナイノデアリマス、左様ナ見地カラ申シマスルナラバ、縱令御當局ガ今規格ニ依テ定メントスル所ノ釜數以下ノ製絲家ト致シマシテモ、ソレニ相當スル乃至ハ相當以上ノ資力ヲ以テ計畫スル者ガアルト致シマスルナラバ、之ヲ拒否スルノ意義ハ成立シナイト思フノデアリマス、其意味ハ大體製絲業ト申シマシテモ、其地方ノ地勢ノ關係デアルトカ、乃至ハ蠶繭ノ狀態デアルトカ、交通ノ關係デアルトカ、左様ナコトカラ自然ニ發生スベキモノデアリマシテ、丁度集散ノ盛ニナル所ニハ大都會ガ出來、集散ノ比較的少イ所ニハ小都會ガ出來ルト同様デアリ

マシテ、極メテ自然ノ發生ニ俟ツベキモノ
デアルト思ヒマス、又自然ニ反スル計畫ト
云フモノハ、要スルニ事業其モノニ確立性
ヲ缺クコトニナルデアラウト思ヒマスガ故
ニ、必シモ大規模デアルガ故ニ、ソレガ堅
實ナモノデアルト云フコトハ、到底斷ジ得
ナイモノデアルト思ヒマス、御當局ノ御答
辯カラ致シマスナラバ、當然ノ歸結トシテ、
比較的小ナル製絲家デアリマシテモ、之ヲ
拒否スルノ理由ハ、本法自體ノ論理カラ申
シマシテ、出來得ナイヤウニ思フノデアリ
マスガ、若シ私ノ見解ニ誤リガアルナラバ
御指摘アラント願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 御話ノヤウナ筋合ノ點モ
アルト思ヒマス、ソレデ先程申上ゲマシタ
ヤウニ、釜數ヲ以テ工場ノ設置ニ一ツノ基
準ヲ置カウトスルノハ、其爲デアリマシ
テ、釜數ガ一定ノ基準ニ合ッテ居ルモノデ
アルナラバ是ハ許ス、許スコトニシタノデ
ハ殖エテ仕方ガナイガ、之ヲ如何ニスルカ、
斯ウ云フ御話デアリマス、隨テ釜數ノ少イ
ノハ、御話ノヤウナ場合モアルト思ヒマス
ガ、概シテ申セバ不安定ナモノデ、其結果
ガ一面ニハ絲ノ亂賣値崩シトナリ、一面ニ
ハ養蠶家ニ掛倒レヲ生ジタリ、或ハ工場デ
失業者ヲ出シタリシテ、色ミナ迷惑ヲ及ボ

シテ居ル、ソレデ釜數ニ基準ヲ置クコトニ
依テ、製絲業ノ安全ヲ圖リ、製絲業界ニ安
定ノ徵候ヲ齎シ得ルモノデアルト思フノデ
アリマス、若シ基準ヲ置カズシテ、拒否何
レデモスル、釜數ガ多イモノデアッテモ許
シテハイカヌ、又少クテモ適切ナルモノデ
アッタナラバ許シタラ宜イト云フコトニシ
マスレバ、免許制度ヲ以テ統制ヲ圖ラウト
云フコトハ出來ナイコトニナリマス、先ヅ
中頃ノ穩當ナ處、概觀シテ適當ト思フ所ヲ
狙ッテスルト云フコトデ、製絲業ノ免許制
度ト云フモノヲ立テ、行クヨリ外ニハナカ
ラウト思ッテ居リマス

○横川委員 御話ヲ伺ヒマス矛盾ノ點ガ
非常ニ澤山アル、併シナガラ其矛盾ヲ指摘
致シマシタ所デ、結局議論若クハ見解ノ相
違ト云フコトニ依リマシテ、梟ガ付クヤウ
ナコトニナルト思ヒマス、此以上其點ニ付
テ御開致シタクナイト思ヒマスガ、唯茲ニ
全體的ニ釜數ノ殖エルコトハ一向差支ナイ
ト云フ御見解デアリマス以上ハ、唯單ニ資
本ノ擴張トカ、釜數ノ擴張トカト云フコト
ニ依テ、其認可ヲ左右スルコトニナリマ
スレバ、當然ハ資力アルモノ、力アルモ
ノ、比較的資本家の立場ニアルモノニ於
テ、初メテ其特權ヲ享受シ得ルコトニナリ

マシテ、ソレ以外ノ比較的農村ニ關係ノア
ルベキ小資本家乃至ハ地方的資本家ニ、機
會均等デアアルベキ現代ニ於キマシテ、其
機會ヲ逸セシムルヤウナコトニナルノデア
リマシテ、何處マデモ此製絲業法ノ趣旨ニ
於キマシテ、現代社會ニ一致セザルモノガ
アルト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ
此點ハ姑ク措キマシテ、若シ茲ニ製絲家ガ
生産過剩ヲ難ゼラレルヤウナ時代ガ來マシ
テ、製絲家自體ガ生産制限ヲ圖リ、ソレモ
行ハレズニ國家ガ其統制ニ發動致シマシ
テ、生産制限ヲ國家ノ力ニ依リマシテ行ハ
シムルト云フ可能性ガアルコトハ、昨日御
話ガアリマシタガ、左様ナ際ニ於キマシテ、
養蠶家ノ蒙ルベキ所ノ損失ニ付キマシテ
ハ、如何ニ御考ニナッテ居リマスカ

○後藤國務大臣 其點ガ非常ニ重要ナ問題
デアラウト思ヒマス、市況ノ伸縮ニ依リマ
シテ、製絲業者ガ其生産ヲ或ル程度ニ收縮
スルト云フヤウナコトガ、是ガ直チニ大キ
ナ影響ヲ養蠶家ニ及ボスヤウナコトハアル
マイト思ヒマス、若シ可ナリ思切ツタ生産
制限ヲ製絲家ガヤルコトニナリマスレバ、
是ハ極ク短期デアレバ別デアリマスガ、長
期ニ互リマスレバ、養蠶家ニ及ボス影響ト
云フモノハ容易デナイノデアリマス、作ッ

タ繭ノ始末ガ付カヌノデアリマス、製絲業
ノ生産制限モ、時々ノ波動ニ應ジテ自ラ自
然ニ行ハレル或ル程度ノモノハ、自然ノ儘
デ參ッテ直接大シタ不都合ハナイト思ヒマ
ス、併シ生絲ノ生産制限ヲ大規模ニ行フト
云フコトニナレバ、是ハ養蠶家ノ利害ト合
セテ考ヘナケレバナラヌ、決シテ是ハ行ハ
シムベキモノデナイト思ヒマス、併シ事情
已ムヲ得ズシテ、直チニ生産制限ヲ大規模
ニ行フ外ナシト云フ時ニハ、養蠶家ノ利益
ヲ考ヘタ後ニ、其事ヲ實行シナケレバナラ
ヌト思ヒマス、茲ニ製絲業法ガ、斯ノ如キ
稍異常ノ場合ニ對スル非常ナ處置ヲ爲シ得
ルガ爲ニ、統制條項ヲ入レテ居ルヤウナ譯
デアリマシテ、是ハ唯製絲ノ制限ヲスルコ
トヲ統制サセヤウト云フバカリデナク、徒
ニ大キナ制限ヲシヤウトスル時ニ於テモ、
亦當然考慮ヲシナケレバナラヌ、養蠶業者
ノ方ニ對スル處置ト相俟ツニ非ザレバ、是
ガ直チニ其事ヲ放任シ得ナイヤウナ場合モ
アルカト思フノデアリマス

○横川委員 製絲家ガ徒ニ多クノ生産制限
ヲ爲サントスルヤウナ状態ガ惹起リマシタ
際、是ハ當然亞米利加ニ於キマス消費ナ
リ需要ナリノ關係ヨリ起ルコトデアリマシ
テ、國內的ノ關係デハナイノデアリマスル

ガ、左様ナ見地カラ申シマスナラバ、絲價ノ維持ト云フコトヲ主眼ニ置キマシテ、恐ラク生産ノ制限ヲヤルモノト思考スルノデアリマスガ、左様ナ際ニ於キマシテハ、又左様ナ事態ノ起ラザラムコトヲ期シテ、斯様ナ製絲業法ト云フヤウナモノ、即チ認可制度ト云フモノヲ設ケタノデアラウト思フノデアリマスルガ、斯様ナ事態ガ起リ得ルコトヲ豫想スルコトガ、ソレ自體ニ於テ矛盾デアルヤウニ思フノデアリマス、左様ナ見地カラ申シマスナラバ、此業法ナルモノヲ更ニ一段ト趣旨ヲ徹底セシメマシテ、其條件ヲ具備スルモノデアリマシテモ、全體ノ釜數ニ於キマシテ、是ガ急激ノ増加デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ル場合國家ノ力ニ於テ其増加ヲ阻止スルト云フヤウナ、未然ニ生産制限ヲ防グヤウナ態度ニ出デラレテ、此本法ヲ運用セラルル御意思ガアルカドウカ、乃至ハ左様ナ生産制限ヲシナケレバナラヌヤウナ状態ニ於キマスル、所謂養蠶家ノ蠶繭ノ過剩、斯ウ云フヤウナモノニ對シマシテ、御當局トシテハ更ニ第二段ノ統制的見地ヨリノ、何等カノ發動ヲ考慮ナサテ居ラレルカドウカ、其點ヲ御伺致シマス

○後藤國務大臣 先程御話ノアリマシタ乾

繭倉庫ノ獎勵ノ如キ、又養蠶實行組合ノ聯合ト云フヤウナモノ、獎勵ノ如キ、或ハ原蠶種ニ關スル一ツノ統制ノ如キ、或ハ桑園ノ改植整理ノ如キ、殊ニ養蠶ノ問題ニナリマスルト云フト、爲スベキ方途ハ一ツデナク、色ミナ方面カラ參ラナケレバナラヌト思ヒマス、殊ニ此前豫算委員會デモ誰方カラ御質問ガアリマシタガ、非常ナ激變ガ製絲界ニ來ツテ、養蠶業者自身ニモ非常ナ困惑ガ來ル、生絲ノ生産數量ハ非常ニ制限スル外ナイコトニナルト云フヤウナ場合ニハ、餘程思切ツタ養蠶對策ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマス、其時期ガ又養蠶業其モノニ於ケル統制整理、色ミナモノニ自分ノ力ノ十分ニ充實シナイ限りニ於テハ、國家ハ相當ナ力ヲ國家自身カラ發動シテ掛ラナケレバナラヌト思ヒマス、又其時期ガ色ミト今後施行シマスル養蠶業者ノ統制、其他ノ力ノ充實ト相俟チマスレバ、其時ノ方法ハ自ラ違ツタ手段ニナルト思ヒマス、今豫メ其場合ヲ豫想シテ、具體的ナ方法ハドウト云フコトニハ行キ兼ねルト思フノデアリマス、隨テ今御質問ノ、斯ウ云フ場合ガ來レバ、百五十釜以上ノモノデモ許サヌコトニスルカ、ソレモ或ハ其時期ニナレバ考ヘナケレバナラヌカモ知レナイト思ヒマス、只

今ノ所デハ今此製絲業法ノ運用ノ手段トシテ、當局カラ昨日來御説明申上ゲテ居ルヤウナコトデ參リマシテ、適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○横川委員 私ノ質問ハ此程度デ打切りタイト思ヒマス、世ニ伸縮關稅ト云フモノガゴザイマスルガ、本業法ハ洵ニ伸縮的ナル御見解ノ下ニ立テラレテ居ルヤウナ感ガ致スノデアリマス、若シ其伸縮的デナイコトヲ豫想致シマスルナラバ、本法ハ之ヲ假令施行致シマシテモ何等ノ效果ナク、寧ロ小資本家ニ取リマシテ、乃至ハ地方資本家ニ取リマシテハ、是ハ其機會ノ均等ヲ沒セシムルヤウナ結果ニ相成リマシテ、及ス所上ニ厚ク下ニ薄イヤウナ感モ致シマス、而モ當局者ノ御態度ト致シマシテハ、唯易キニ就ク、斯ウ云フヤウナコトガ種々ナル御説明ノ中ヲ一貫致シマスル所ノ思想デアルヤウニ思フノデアリマスルガ、其點私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、斯様ニ主トシテ農村ノ疲弊、中小商工業者ノ困憊ト云フ上ニ於テ、議會ガ開カレマシタ趣意ニ鑑ミテ見マシテモ、農林省ノ背後ニ於キマシテハ、絶對多數ト思ハレル國民ガ付イテ居ルノデアリマスカラ、如何ニ大藏省ガ財布ノロヲ縮メマシテモ、何處迄モ其信念ニ向ヒマシ

テ、寧ロ難事ニ就クト云フ御考ヲ以チマシテ御進ミヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、其點甚ダ關係御當局ノ態度ニ付キマシテ、遺憾ノ意ヲ表明致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○加藤委員 私ハ先ヅ第一ニ御尋申上ゲタイノハ、昨今御承知ノ如ク絲價ガ彌ガ上ニモ暴騰致シマシテ、今ヤ一千圓臺ヲ突破致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、長イ間悲慘ナル状態ニ苦シンデ居マシタ蠶絲業者ハ漸ク愁眉ヲ開イテ、此一大福音ニ接シタコトヲ非常ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、併ナガラ其反面ニハ、今斯ノ如ク絲價ハ暴騰シタケレドモ、此反動ガ直チニ來リハセヌカ、萬一左様ナコトガアツテハ、全ク東ノ間ノ喜デ、再び悲慘ノ状態ヲ繰返シテ苦シマナケレバナラヌ、是ニ於テ一面ニハ之ヲ喜ブト同時ニ、又一面ニハ之ヲ心配スルト云フヤウナ状態ノ下ニアル當業者ガ中ニ少クナイノデアリマス、是ニ於テカ多クノ人ハ、一體此絲價ノ斯ノ如ク急激ニ暴騰致シタ原因果シテ何處ニアルカ、又此反動ガ直チニ來リハセヌカ、此點ニ付テ責任アル方ノ御意見ヲ伺ヒタイト云フコトハ、恐ラク二百萬蠶絲業者ノ希望スル所デアラウト思フノデアリマス、故ニ之ヲ大臣ニ御尋申上

ダルト云フコトハ、少シク無理ナ質問ノヤ
ウニ思ヒマスルケレドモ、併ナガラ當業者
ト致シマシテハ、是非共之ヲ伺ヒタイト云
フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマスルシ、又
政府當局ニ於カセラレマシテモ、必ズヤ多
クノ人ミヲシテ、此點ニ付テ十分ノ調査
ヲセシメラレテ居ルコト、信ズルガ故ニ、
此機會ニ於キマシテ大臣ノ口ヲ通シテ、此
絲價ノ昂騰致シタ原因、竝ニ此反動ガ直チ
ニ來ルカドウカ、將來ニ對スル所ノ御意見
ヲ伺ヒマシテ、サウシテ多數當業者ノ安心
スルヤウニ致シタイと思フ次第デアリマス
カラ、ドウカ大臣ハ之ヲ諒トセラレテ、此
點ニ付テ先以テ御意見ノアル所ヲ御話下サ
ルヤウニ御願申上ゲタイ

○後藤國務大臣 御尋ハ洵ニ御尤ナ御懸念
デアルト思ヒマス、是マデ吾ミノ調べマシ
タ所ニ依テモ、觀測ト之ニ伴フ見解トヲ申
上ゲル外ハナイと思ヒマス、殊ニ將來ノコ
トヲ完全ニ豫測スルコトハ中ニ困難デアリ
マスガ、是迄ノ吾ミノ知り得タ所ニ依テ、
只今ノ見解ヲ一應申上ゲテ見マスレバ、今
日絲價ガ著シク騰貴シマシタ原因ハ、第一
ニ亞米利加ニ於ケル需要ノ増加シタコトデ
アリマス、亞米利加一般ノ經濟界ガ、何ト
ナク景氣ガ底ヲ突イテ上向キ掛ケタヤウナ

形ガ現ハレテ居リマス、之ニ付テモ其將來
ニ付テ色ミナ觀測ガ行ハレテ居ルヤウデア
リマスガ、サウ云フ結果モアリマセウカ、
兎ニ角絲ノ需要ハ殖エマシテ、絲相場ガ亞
米利加ニ於テハ非常ニ手堅ク騰リ始メテ居
ル、今度ハ供給ノ側デアアル、我國ニ於テハ
先年來蠶絲界ノ不況其他ノ爲ニ、養蠶ノ縮
小ガ行ハレ、繭ノ產額ガ減ジテ居リマス、
隨テ又生絲ノ產額モ減ジテ居リマス、是ハ
自然ニ一ツノ減產ガ行ハレテ居リマス、供
給ノ方ハ頗ル手堅イ有様デアリマス、此需
給關係ガ今日ノ絲價ヲ好轉セシメタ、只今
ノ所デハ基礎ヲナシテ居ルヤウデアリマ
ス、ソレニ加ヘテ爲替相場ノ益々安クナッ
テ居リマスコト、此爲替相場ノ安クナッテ居
リマスルコトハ、需給關係サヘ手堅クナッ
テ居ラバ、早ク現ハレテ居ラナケレバナラヌ
コトデアッテ、寧ろ絲價ニハ好影響ヲ及ボ
シテ居ラナケレバナラナイノデアリマスケ
レドモ、御承知ノ通り多量ノ滯貨生絲ト云
フヤウナモノガアッテ、此爲替相場ノ變動
カラ來ル自然ノ絲價ノ統制ヲ常ニ抑壓シテ
居ッタヤウナコトデアリマス、幸ニ前議會
デ御協賛ヲ經マシテ、之ヲ市場カラ取除ク
コトガ出來マシタ爲ニ、此爲替相場ノ下落
ト實際ノ需給關係トノ自然影響ガ市況ニ現

ハレテ來ルヤウニナッテ、是等ノ原因ガ只
今ノ所デハ絲價ヲ騰貴セシメルニ至ッテ居
リマス、絲價ノ將來ハ今ノ所デハ可ナリ手
堅イト見込マレテ居ルノデアリマス、併ナ
ガラ將來ノコトハ何トモ測リ兼ねル場合ガ
アリマスルシ、此際蠶絲業ノ關係者ト致シ
マシテハ、全般ニ互ッテ此好景氣ニ唯浮カ
レテ徒ニ乘ズルト云フヤウナコトガアッテ
ハナラヌと思フノデアリマス、斯ウ云フ機
會ニ於テコソ過去ノ苦イ經驗ヲ考ヘテ、養
蠶業ノ方ノ人モ唯好クナツタカラ、又過去
ノヤウニ折角桑畑ヲ食料用品ノ畑ニ切換ヘ
ヤウトシタノヲ、又止メテ桑ニシテ養蠶ヲ
ドン／＼ヤラウト云フヤウナ、寧ろ養蠶ノ
増產ノ傾向ニナラザルヤウニ注意スルコト
ガ必要デアリマス、他ノ産業等ヲ成ベク加
味シテ、養蠶ノ自然ノ堅實ナル地歩ヲ今
日カラ用意シテ置クト云フコトガ必要デア
ルト思ヒマス、又製絲業ニ於テモ、好ク
ナツタト云フノデ、ドン／＼亂立ヲスルト
云フヤウナコトノナイヤウニスルコトガ、
今日必要デアルト思ヒマス、此好景氣ヲ見
テ寧ろ警戒シ、用心スルト共ニ、將來ニ備
ヘルノ氣分ヲ各方面ニ全體ニ互ッテ確カリ
ト持ッテ戴キタイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッ
テ居ル譯デアリマス

○加藤委員 只今大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス
ト、第一ハ亞米利加ノ需要増加、今一ツハ
内地ノ產繭額ノ減少、是ト同時ニ爲替相場
ノ低落、斯ウ云フコトガ關聯シテ今日ノ絲
價ノ昂騰ヲ促シタノデアアル、斯様ニ仰セラ
レルヤウデアリマスガ、私共モ定メシサウ
云フコトデアラウカト想像致シテ居ルノデ
アリマス、之ニ付キマシテ一應御伺シタイ
ノハ、亞米利加ノ生絲ノ需要増進ハ、亞米
利加ノ景氣恢復ノ結果デアリマセウカ、或
ハ其他ノ原因ガアッテ斯ノ如キ需要ヲ増加
シタノデアリマセウカ、此點ニ付テノ御調
査モ出來テ居ルコト、考ヘマスカラ御伺ヲ
申上ゲタイ

○後藤國務大臣 亞米利加ノ需要増進ハ、
只今知り得タ情報ニ依リマス、ヤハリ實
際ノ需要ノ増加ニ伴ッテ居ルヤウデアリマ
ス、機屋ガ相當ニ景氣ガ好ク絲ヲ仕入レテ
來ル、絲バカリデナク、生絲ト相竝ンデ參リ
マス人造絹絲ノ如キモ、ヤハリ同ジヤウナ
需要ノ増加、値段ノ騰貴ヲ見テ居ルヤウデ
アリマス、ソレガ絲ノ市場ニ反響シテ居ル
ト云フ有様デアルト云フヤウニ聞知ッテ居
リマス、尙ホ又他ニ細カイ材料ガアレバ何
レ當局ノ方カラ御答致シマス

○加藤委員 左様致シマス、詰リ亞米利

加ノ景氣ガ恢復シタモノト見デ宜シウゴザイマスカ

ニ思ヒマス

○加藤委員 内地ノ產繭額ノ減少ハ、農林省ノ調査ニ依リマスト、確カ一割六分デアツタカト思ヒマスガ、數字ガ違フタラ御直シヲ願ヒマス、確カ其様ナ御發表デアツタカト思ヒマス、所ガ實際ニ依ルト二割以上ハ減少ト云フコトヲ、各大製絲家ハ異口同音ニ言ツテ居リマス、兎ニ角内地產繭額ノ一

リマス、ソレカラ伊太利、佛蘭西デアリマスガ、此方面ニ於キマシテモ、寧ロ日本ノ絲ガ非常ニ安クナツタト云フコトニ支配サレマシテ、其結果生産ガ非常ニ減ジテ來タ、生産シテモ値段ガ安クテ賣レナイ、斯ウ云フ關係ヲ以テマシテ、伊太利、佛蘭西ニ於テハ非常ニ苦シマシテ、隨テ伊太利ノ如キハ一貫目幾ラ、向フデハ「リラ」ト

イ、生産制限ト云フヤウナ聲ニ驚カサレテ、大分桑ヲ引抜イタ處モアルヤウニ聞イテ居ル、又天候ヤ害蟲等ノ關係モアツタ爲メデアリマセウカ、此秋蠶用ノ桑園ガ思フヤウニハ行カナイト云フ關係ノアル所ヘ、更ニ一面ニハ蠶種ガ非常ニ供給不足ニナツテ居ル、是ハ蠶種業組合ガ曩ニ三割ノ減少ヲ申合セタ關係カラデモアリマセウガ、蠶種ノ供給ガ著シク不足ヲ告ゲテ居ル、デアリマスカラシテ、種ガアツテモ桑ガナクテ困

○後藤國務大臣 亞米利加ノ景氣ガ恢復シタノデアルト見テ宜イカ、ドウデアアルカト云フ全般ノ問題ニナルト、マダ餘程今日疑問ヲ抱イテ居ル人多イヤウデアリマス、併シ實際ニ品物ノ需要ガボツ／＼殖エテ居ルト云フコトハ事實デゴザイマス、亞米利加ノ景氣ガ幾ラカ底ヲ突イテ上向キ掛ケタノデハナイカト云フヤウナ判斷ヲスル人多イノデアリマス、併ナガラ一方ニハ亞米利加ノ株ナドノ騰貴ハ、大統領選舉前ノ一ツノ操作ニ基イテ居ルモノデアルト云フヤウナコトモ言ハレテ居リマス、株界ノ景氣ガ亦一體ノ產業界ニ色ミナ影響ヲ及ボシテ居ルノデハナイカト云フコトヲ言フ人モアリマス、併シ絲ノ需要ノ増加ノ原因ガ、機

大減少ハ免レヌコト、考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ關係スル所ハ、支那ノ產繭額デアルト考ヘルノデアリマス、吾ミノ聞ク所ニ依ルト、支那ノ產繭額ハ、一昨年ニ比ベマシテ昨年ハ殆ド半額デアアル、所ガ其昨年ニ比ベテ本年ハ尙ホ一層ノ減少デアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ果シテ事實デアルカドウカ、斯ウ云フ方面ノ御調査ガ付イテ居ルコト、思ヒマスカラ、入江蠶絲局長カラ御伺申上ゲタイ

「リラ」ヲ出ストカ云フ風ナ細イ調ガ來テ居リマスガ、サウ云フ風ニ一貫目ニ對シテ、換算シマスト約七十錢位ノ獎勵金ヲ出シテ居ル、斯ウ云フ風ニシテ自國ノ生産ヲ獎勵スルト同時ニ、伊太利、佛蘭西等ノ織物業ハ互ニ關係ヲ持チマシテ、出來ルダケ獎勵スルト云フ風ニ致シテ居ッテモ尙ホ生産ガ少イ、斯ウ云フコトガ日本ノ絲ニ好轉ヲ一面ニ於テ齎シタモノデナイカト云フコトヲ今考ヘテ居リマス

ル者、桑ガアツテモ蠶種ガナクテ掃立テ得ナイ者ガ少クナイヤウデアリマスカラ、秋蠶ノ繭モ案外減少スルカモ知レマセヌ、斯様ナ際ハ一本ノ桑樹モ大切ト云フコトニナルノデアアルカラ、當業者ノ中ニハ斯様ニ申シテ居ル者ガアル、政府ハ此度ノ臨時議會ニ三百七十萬圓ノ桑園整理改植費ヲ要求シテ居ルケレドモ、昨今ノ如ク蠶絲業界ガ好轉シツ、アツテ、更ニ其前途ニ心配ガナイト云フコトナラバ、此費用ヲ他ノ獎勵費ニ振り向ケテ貰ヒタイ、殊ニ關西方面ニ於ケル蠶絲業者ノ如キハ、桑園整理改植ヨリモ、寧ロ此金ヲ蠶絲業ノ技術員設置ノ獎勵費ニ向ケテ貰ツタ方が、ドレダケ結構デアアルカ分ラヌト云フヤウナコトヲ申シテ居ルノデアリマス、絲價ガ斯ノ如ク好轉シテ見ル

屋ノ絲ニ對スル需要ノ増加デアリマス、其機屋ノ見込ハヤハリ實際ノ織物其他人造絹絲ノ増加等ヲ見込シデ居ル上カラ考ヘマスト、幾ラカ亞米利加ニ於ケル購買力ニ勢ガ突ッ掛ケテ來テ居ルノデハナイカト思ハレ

○入江政府委員 大體御話ノ通りデゴザイマシテ、支那方面ニ於キマシテハ、色ミナ事情カラ申シマシテ、其產額ガ昨年ヨリ非常ニ惡イト云フコトモ、半減シテ居ルト云フヤウナコトマデモ聞イテ居リマス、隨テソレニ對シテ輸出獎勵ヲ圖ルトカ、獎勵金ヲ出シテ生産獎勵ヲスルト云フヤウナ方面ニハ、支那デモ努メテ居ルヤウニ聞及ンデ居

○加藤委員 大臣ノ御意見ト云ヒ、又蠶絲局長ノ只今ノ御話ト云ヒ、何レモ絲價ガ此上共反動的ニ大暴落ヲ來スヤウナ心配ハナイヤウニ思フノデアリマス、所デ全國ノ養蠶家ハ、此際大イニ秋蠶ニ向ツテ掃立ヲ致シタイト云フ希望ヲ持テ居ルヤウデアリマスガ、如何ニセン桑園ノ用意ガ足リナ

イ、生産制限ト云フヤウナ聲ニ驚カサレテ、大分桑ヲ引抜イタ處モアルヤウニ聞イテ居ル、又天候ヤ害蟲等ノ關係モアツタ爲メデアリマセウカ、此秋蠶用ノ桑園ガ思フヤウニハ行カナイト云フ關係ノアル所ヘ、更ニ一面ニハ蠶種ガ非常ニ供給不足ニナツテ居ル、是ハ蠶種業組合ガ曩ニ三割ノ減少ヲ申合セタ關係カラデモアリマセウガ、蠶種ノ供給ガ著シク不足ヲ告ゲテ居ル、デアリマスカラシテ、種ガアツテモ桑ガナクテ困

ト、斯様ナ希望ヲ持ツノモ一應ハ尤ノヤウニ思ハレマス、併ナガラ既ニ豫算ニ桑園ノ整理改植トシテ御計上ニナッタモノヲ、今更變更ノ出来ヤウ管モナク、又現在我國ノ桑園状態ニ照シマシテ、決シテ無用ノ計畫デナイ以上ハ、當業者ニ左様ナ希望ヲスル者ガアッタト云ツテ、直チニ之ヲ採上ゲラレヌコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、併ナガラ永イ間不況ニ苦シンダ蠶絲業者トシテ、斯カル希望ヲ此際起スノモ尤ト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ政府當局トシテハ如何様ニ御考デアリマセウカ、此際一ツ農林大臣ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 只今同業者ノ中ニ段々起キツ、アル希望デアルト云フコトノ御話ガアリマシタガ、當然起リサウナ事柄デアルト思ヒマス、併ナガラ私共ノ見解ト致シマシテハ、此際桑園ガ景氣ガ好クナルカラト云ツテ、非常ニ桑園ヲ殖シ増産ヲスルト云フコトハ、目先ニハ利益ノ如ク見エルケレドモ、結局吾々ノ希望スル所ハ、養蠶業者ノ手取ノ金ト申スヨリモ、經濟費ヲ差引イタ實益ガ如何ナル所ニ落著クカ、此實益ノ大キイ所ガ主眼デアアル、若シサウ云フ際ニ一時ノ景氣ニ乗ジテ、將來モ増産ヲ計畫スル

ト云フヤウナコトガアリマス、其増産ハ絲ノ相場ニ又非常ニ惡イ影響ヲ及ボシテ、結局増産ハシテモ繭ノ値ガ安イ爲ニ、生産量ガ比較的多クテモ、其利益ハ遙ニ少イ利益ヲ得ルニ至ル、斯ウ云フ事實ハ、今年ノ狀況ガ實際ニ吾々ニ教ヘテ居ルノデアリマス、其點ハ十分養蠶業者ニ對シテモ警告ヲ與ヘナケレバナラヌト思ッテ居リマス、御話ノヤウニ桑園ノ整理改植ト云フヤウナコトハ、一面ニハ生産費ヲ下ゲ、一面ニハ無暗ニ増産スルコトノナイヤウニ致ス爲ニ、是ハ是非實行シテ行キタイト吾々ハ考ヘテ居リマスガ、唯其外ニ養蠶ノ技術者其他ノ充實ヲ圖ルト云フコトハ、御話ノ通りニ非常ニ緊急ナコトデアルト思ヒマス、當局ニ於テモ豫テサウ云フコトニ力ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ參ッテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ財政上ノ都合デ、今日マデ十分ナコトガ出来ズニ居リマス、今後トモ其點ニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 絲價ガ千圓臺ヲ突破致シマシタ爲ニ、關西ノ或ル大製絲家ノ如キハ、昨日入手致シマシタ報道ニ依リマス、一日ニ四萬五千圓以上ノ純益ガ擧ガルト云フコトデアリマス

○生田委員長 加藤君、御説明デスガ、今

農林大臣ハ他ニ行カンナラヌサウデアリマスカラ、成ベク簡單ニ御願シタイト思ヒマス

○加藤委員 マダ大分アルノデスガ——ソレデハ後廻シニ致シマセウカ

○生田委員長 マダ澤山アルデセウカ

○加藤委員 マダ一時間以上御伺シナケレバナリマセヌカラ……

○生田委員長 ソレデハ一寸御伺致シマス、製絲業ヲ統制經濟ニ移スト云フコトハ、私共認メテ居ルノデスガ、此法案ノ結果ハ大資本家擁護ニナルト思ヒマス、大資本家ニ統制セラレル結果ニナルト思ヒマス、此附則ノ十年ヲ待タズシテ、小サイモノハ段々潰レテシマッテ併合セラレル、又十年後ニ於テハ、此製絲業ト云フモノモ、結局紡績業ト云フコトニナルノデハナイカト考ヘラレテ居リマス、恐ラク政府ノ方デハ、百五十釜三十萬圓位ノ基準デ御覽ニナッテ居ルケレドモ、十年後ニハ其十倍ノ三百萬位デナケレバヤレスデハナイカト云フ私見ヲ持ッテ居リマス、紡績業ハ御承知ノ如ク綿花ヲ外國カラ求メマスカラ、原料ヲ買フコトニ付テハ生絲トハ違フ、製絲工場ノ方ノ工賃ノ問題ハ、是亦紡績業デモ今ノ通り弊害ヲ認メテ居ラヌカラ、生絲業ニ於テモ

非常ナル弊害ハ生ジナイ、唯原料ヲ買フ時ニ、大製絲家ノミニナツタ場合ニ於テ、繭ノ高下ノ値段ヲ確定シテ安ク買ウヤウナコトガ少クゴザイマセヌ、私共ノ經驗ニ依リマシテモ、既往ニ於テ屢、サウ云フ事ヲ製絲家ハ申合セテヤッテ見タコトガアルガ、何時モ實行出来ナカッタ、何時モ破レルノデアリマスケレドモ、本法ガ實施セラレテ後ニ、段々小製絲家ガ潰レテ大製絲家ガ——具體的ニ言ヘバ鐘紡ノ如キ、或ハ片倉ノ如キ、ア、云フヤウナ大製絲家、大資本家ニ統制セラレタ時ニハ繭ヲ安ク買ハウ、斯ウ云フ申合ヲ公然デハナクシテ密ニスル場合ガナシトセヌ、私共經驗ノ上カラサウ云フコトガアリ得ルト思フ、サウ云フ際ニ於テ、只今農林大臣カラ横川君ノ質問ニ御答ニナツタガ、第三條ノ「統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」之ニ對シテサウ云フ非常時ノ場合ノ取締、監督ト云フコトヲ御考ニナッテ居ルデアラウト思フノデアリマスガ、私ノ憂ヘテ居ルヤウナ問題ガ、繭ノ値段バカリデナシニ、其以外ノ事ガ生ジハシナイカト思フノデアリマス、其取締ニ對シテ政府ハ相當ノ御用意ガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、何カ御考ニナッテ居ラレマスカ、其點ヲ承ッテ置キタイト思ヒ

マス

○後藤國務大臣

サウ云フ場合モ政府ハ相當ナ働キヲシナケレバナラスト思ッテ居リマス、サウ云フコトニ對應スル爲ニハ、養蠶家ノ間ノ統制モ相當今後ニ進メテ行カナケレバナラス、各方面利害ヲ異ニスルモノノ間ノ調節ヲ計ルコトガ、養蠶業ノ統制ノ問題トシテ又非常ニ大キナ問題ヲ生ジテ來ルト思フ、併シ御話ノヤウニ大資本ニ製絲業ガ段々集中セラレテ行クデアラウト云フ傾向モゴザイマセウト思ヒマスルガ、又一面ニハ製絲組合等ノ發達ヲモ出來ル限リ計リタイト思ッテ居リマス、製絲業ガ唯無暗ニ大資本ノ方ヘ集中サレテ、其結果ガ寧ロ養蠶業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトノナイヤウニスルコトニモ、諸種ノ方法ヲ今後ニ於テ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、製絲業法ニ於ケル統制ニ關スル命令ヲ發スルコトガ出來ルト云フコトハ、主トシテ規格ノ統一ノ問題デアリマストカ、製造又ハ販賣等ニ關スル問題ニ付テ、製絲業者ハ自治的ナ統制ヲ希望スルノデアリマシガ、サウ云フ力ノ及バナイ事ノ起リマス場合ヲ想像致シマスト、一面ニ於テ先程カラ申上ゲタヤウニ、逆ニ製絲家ガ結合ノ力ニ依テ利害ノ立場ヲ異ニスル他ノ者ヲヒドク

壓迫シテ行カウト云フ場合ニモ、何等カノ力ヲ發揮シ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○生田委員長

モウ一ツ御尋致シマス、現在ノ製絲業界ノ有様ヲ實例デ見マスト、假ニ片倉ノ如キハ、御法川式ト云フ「パテン

ト」ヲ買収シテヤッテ居ル、將來此製絲業ノ技術上ノ發達ト云フモノハ色ミアルダラウト思フ、技術上ノ發達ハ色ミアルダラウト思フガ、其時ニ小製絲家ハ此專賣權ヲ買フコトガ出來ナイノデ、大資本家ノミガ買フ、斯ウ云フヤウナ結果ニナルト、小製絲家ハ利益ト云フモノヲ擧ゲルコトガ出來ナイ、現ニ片倉デハ之ニ依テ高ク賣ッテ居ルノデアリマスカラ、他ノ製絲家ガ儲ケヌデモ、是等ノ製絲家ハ儲ケテ居ル、又郡是ハ他ノ方法デ非常ニ成績ヲ擧ゲテ居ルカラ、是等ト競争スルコトガ出來ナクテ、小製絲家ハ倒サレテ大資本家ニ併合セラレテ居ル、又三百萬釜、五百萬釜ヲ大製絲家ト云ッテモ、實際ハ小製絲家ニナッテシマフノデアルカラ、此法案ヲ拵ヘル以上ハ、ドウシテモ將來大製絲家ノ横暴ヲ抑ヘルト云フ強イ力ヲ此法ハ持ッテ居ラナケレバナラスト考ヘル、政府ハサウ云フ御決意或ハ御用意ガアルカ、モウ一度承リタイ

○後藤國務大臣

小サイ製絲家ガ、餘リ小サクテハ困リマスノデ、此法案ハサウ云フ趣旨ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、丁度中小商工業者ニ付テ今日起キテ居ル問題ガ、ヤハリ其儘製絲業ノ間ニモ起リ得ル問題デアリマス、成ベク中小ノ製絲家ガ聯合ノ力、共同ノ力ヲ發揮スルコトニ依テ、大規模ノ製絲家ト相當ナ程度ニ競争ガ出來、併立シテ行ケルト云フコトニ至ランコトラ政府トシテハ希望シテ居ルノデアリマス、此附則等ヲ設ケマシタ精神モ其處ニアルノデアリマス、尙ホ更ニ御話ノヤウナ、大製絲業ガ蠶絲業全體ノ上ニ非常ナ横暴ナ働キヲスルト云フヤウナコトガ起リマスレバ、ヤハリ政府ハ其力ヲ以テ相當ナ制肘ヲ加ヘナケレバナラス場合ガアリ得ラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ處スルニモ、只今申シタ統制上ノ命令ヲ發スルト云フ事柄ガ、此條文ノ適用ノ出來ル限リニ於テハアルノデハナカラウカト思フノデアリマス、併シ唯徒ニ小サキ、色ミノ場合ノ變動ニ依テ動キマス形勢ニ、一々政府ノ力ヲ以テ干涉シテヤルト云フコトハ不穩當デアリマスカラ、其統制ノ爲メノ命令ト云フコトハ、容易ニ發動ヲサセルベキモノデハナイト思ヒマス、唯非常ナ事柄ガ起リマス場合ニ

ハ、發動致シタイ積リデ居ルノデアリマス

○生田委員長

分リマシタ、ソレカラ法ノ運用ニ付テ一二點、第一條ニ、本法ニ於テ製絲業者トハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外器械生絲ノ製造ヲ業トスル者、其次ハ、器械生絲ノ製造工場ヲ有スル産業組合云々トアリマス、産業組合ノ方ハ製造工場ヲ有スルト書イテアリマスガ、第一項ハ工場ヲ有スルトハ書イテナイノデアリマス、是ハ實例ヲ申スト、此不況時デ工場ヲ所有シテ居ル者ガ休ンデ居ル者、或ハ賃借ヲシテ居ル者ガアル、其賃借シテ居ル者ニ對シテ、本法ノ附則ニ依テ認可ヲ受ケタル者ト看做スト云フコトニナルト、工場ヲ持ッテ居ル人ハ製造權ガ將來無クナッテシマフノデス、是ハドチヲ主トシテ製絲業者ト云フ條文ヲ當嵌メテ運用ニナルノデアリマセウカ

○入江政府委員

第一條ニ於キマシテ、第一項ノ要點ニアリマス器械生絲ノ製造ヲ業トスルト書キマシテ、第二項ノ方ニ於キマシテ器械生絲ノ製造工場ヲ有スルト書キマシタ所以ハ、此器械生絲ノ製造ヲ業トスルト書キマシタコトニ付キマシテハ、製絲業者必シモ工場ヲ持ッテ居ル者デハナイト云

ナ統治デナケレバ、效果ガナカラウト思フノ
デアル、勿論餘リ國家ノ力ヲ加ヘ過ギルト
云フコトガアリマスルト云フト、感情のニ
或ハ利害ノ衝突ノ結果、貿易上ノ相手方ノ
國ニ於テ、一方のノ報復的ニ何等カ計畫サ
レナイトモ限リマセスカラ、其場合ハ適當
ナ考慮ヲ要スルノデゴザイマスルケレド
モ、兎ニ角相當強力ナ統制ヲ付ケナケレ
バ、完全ナルモノニナツテ行カナイダラウ
ト云フ見解ニ基イテ、吾々ハ立案ヲ致シタ
ノデアリマス、ソレデ蠶絲業ノ統制ニ當
テハ、其統制ノ目的ガ何レニアルカト云フ

コトヲ、先ツ第一ニ考ヘナケレバナラヌト
思フノデアリマス、吾ミハ此蠶絲業ノ統制
ハ、蠶絲業ノ生産者ヲ救済スルト云フコト
ガ目的デナケレバナラヌト思フノデアリマ

ス、蠶絲業ノ生産者ト申セバ、勿論蠶家
ト製絲家デアリマス、更ニ蠶絲業ニ關係シ
テ、其出來タ生産物、即チ生絲ノ配給ト云
フコトニ當ッテ居ル當業者モ勿論アルノデ

即チ今日デ申シマスルナラバ問屋ト輸出商
デアリマス、是ハ私ガ詳シイコトヲ申上ゲ
ル必要モナイヤウナコトデアリマスルガ、

今日ノ日本ノ蠶絲業ノ實狀ハ、此生産者ト配給業者トノ間ノ利害ハ一致シテ居ル點ガ

極メテ少クシテ、利害ガ對立シテ居ル點ガ多イノデアリマス、是ハ何レノ産業ニ於テモ、サウ云フ傾向ガアルカ知レマセヌガ、殊ニ蠶絲業ニ於テハ此ガ著シイノデアアル、是ハ勿論皆サンモ御承知ノ通りデアリマスルカラ、私ハ多クヲ申シマセヌガ、併シ其由ッテ來ル所ハ何デアアルカト云フト、一ツハ製絲業者ハ亂立ト申シマスガ、割合ニ數ガ多イ、而モ其中ニハ小サイ製絲業者ガ多クテ、資力ノ不足ノ爲ニ亂賣ノ傾向ガアル、ソレノミナラズ此資力ノ少イ生産業者ハ、多ク問屋ニ死命ヲ制セラレテ居ル、或ハ資金ヲ借りテ居ルトカ、其他ノ關係上、死命ヲ制セラレテ居ルト云フヤウナ關係カラ、其利害ハドウモ一致シナイノデヤナイカ、而モ配給ヲ主トシテ居ル所ノ問屋其他ノ輸出業者ト云フモノハ、要スルニ利益サヘアレバ宜イノデアッテ、必シモ價格ノ高イノヲ望ム譯デハナイノデアリマス、即チ價格ガ絶エズ變動ガ多ケレバ、其間ニ利ヲ得ルコトガ出來ルト云フ狀況カラ、安ケレバ安イデ儲ケ、高ケレバ高イデ儲ケル、サウシテ價格ノ安定ヲ希望シテ居ナイ、斯ウ云フ實情ニアルノデアリマシテ、斯様な意味ニ於テモドウシテモ利害ガ對立致シテ居ルノデアリマス、然ルニ蠶絲業ノ將來ヲ考

ヘテ見マスト云フト、蠶絲業ノ發達ト云フ見地カラ見マスト、何ヨリモ重要ナコトハ價格ノ安定デナケレバナラヌノデアリマス、價格ノ安定ガアリマスレバ、製絲業者ガ安定シ、隨テ又養蠶業者モ大體ノ見當ガ付キマスルカラ、自分ノ經營ノ上ニ於テ非常ナ便宜ガアリ安心ガアル、サウシテ安ンジテ資本ヲ投下スルコトモ出來ルト云フ狀態デアリマスルガ、今日ハ皆サン御承知ノ通り、殆ド製絲業者ノ一種ノ投機事業ノヤウニナッテ居ルノデアリマス、又製絲業者ハ殆ド投機のノ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス、其證據ニハ、製絲業者ニシテ實際ニ神戸、横濱ノ清算市場ニ手ヲ出サナイ者ハ一人モナイト云フ是ハ實情デアアル、斯様な製絲業ガ不安定ノ下ニ投機事業ト化スト云フコトハ、斯業ノ發達ノ爲ニ非常ナ害ノアルコトハ申ス迄モナイ、恐ラク是ハ製絲業ニ害ヲ與フルノミナラズ、是ハ延テ養蠶業者ニ非常ナル損害ヲ與ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ十分農村ノ救済トカ匡救トカ云フヤウナ見地カラシテモ、最モ此邊ニ向ッテ吾ミハ注意ヲセナケレバナラヌト思フノデアリマス、既ニ製絲業ト云フモノガ一種ノ投機事業ニナッテ居リマスル結果、其購繭ヲドウスルカト云フコトハ、製絲業者ト

シテハ重大ナル問題デアアル、ソレデ其購繭ノ方法トシテ、普通ノ製絲業者ノ執ッテ居ル手段ハ、第一ハ生産者ニ先貸ヲシテ置クト云フコトガ一つノ手段デアアル、モウ一つノ手段ハ、繭ノ買入前ノ賣崩シ其他ノ手段ヲ執ッテ、生絲ノ値段ヲ下ゲテ、サウシテ生絲ノ値ガ安イカラト云フ理由デ、養蠶業者ノ生産シタ繭ノ値段ヲ叩クト云フコトガ、普通ニ行ハレテ居ル今日ノ狀態デアアル、其爲ニ養蠶業者ハ生絲價格ノ不安定ト云フ爲ニ、非常ナル損害ヲ受ケテ居ルノデアリマス、勿論製絲業者モ損害シテ居ルガ更ニ製絲業者以上ニ養蠶業者ハ非常ナル不利益ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此一例ハ非常ナ蠶絲業界ノ大恐慌ヲ來シタ場合ニ於テモ、結局スル所一時ハ製絲業者ガ非常ナル損害ヲ蒙ルガ、其損害ハ總テ次ノ繭ノ買入ニ於テ、之ヲ養蠶業者ニ轉嫁シテ居ルト云フ事ガ事實デアリマス、ダカラ蠶絲業ガ非常ナル困難ニ陥ッタ場合ニ、最後ノ負擔者ノ誰デアアルカト云フト、養蠶業者デアルト云フヤウナ實情ハ、是ハ斯業ノ實際ニ注目シテ居ル人ノ齊シク認ムル所デアアル、要スルニ是ハ單リ蠶絲業ノミナラズ、一般ノ其他ノ農業ニ致シマシテモ、最後ノ負擔ハ農業家ニ歸スルコトハ免レ得ナイ今日ノ實情

デアリマシテ、所謂農業家ト云フモノガ、總テ工業家、商業家ノ搾取ノ下ニ呻吟シテ居ルト云フコトガ今日ノ實情デアリマスルガ、殊ニ養蠶業ト致シマシテハ甚シク、養蠶業者ハ此搾取ノ苦シイ運命ノ下ニ今日ハ呻吟シテ、是ガ總テ養蠶ヲ主トスル農家ノ疲弊困憊ノ重大ナル原因ヲ成シテ居ルト云フコトモ、是ハ爭フベカラザル事實デアアルト思フノデアリマス、斯様な次第デアリマサルカラ……

○生田委員長 武田君、一寸發言中デアリマスガ、アナタノ御話ハ大分長イト思ヒマス、今文部大臣ノ代リニ政務次官ガ見エマシタ、ソレデ有馬君ガ五分間バカリ質問シタイサウデアリマスカラ、御譲リヲ願ヒマス——有馬君

○有馬委員 西ヶ原ノ高等蠶絲學校ニ付デアリマスガ、アノ學校ハ大正十七年、即チ昭和三年ニ移轉スルコトニナッテ居リマシタガ、其後段々延ビマシテ、昭和十四年カラ十七年迄ト云フコトニナッテ居リマスガ、御承知ノ通り高等蠶絲學校ノ所在地タル瀧野川西ヶ原ハ、蠶絲業及養蠶ノ上ニ於テ最モ適當シタ所デアッテ拘ラズ、最近ハ土地ノ發展ニ伴ヒ、殊ニ工場等ノ關係上、空氣其他ニ於テモ不都合ヲ感ズル良ク

ナイ場所デアル、又桑園等一切ノ事柄カラ考ヘマシテモ、一日モ早ク——既ニ移轉スルト云フ計畫デアラナラバ、之ヲ移轉スル方ガ、蠶種ノ試験上又養蠶ノ試験上ニ於テ最モ宜イト思フノデアリマス、又土地發展ノ上ニ於テモ、移轉スルト云フコトヲ公表サレテ、段々ニ之ヲ延期サレルト云フヤウナコトハ、非常ニ弊害ガ多イノデアリマシ、土地ノ發展上ノ障礙ニナルノデアリマスカラ、ドウカ一日モ早ク之ヲ移轉シテ貰ヒタイ、既ニ計畫サレテ、延期スル又延期スルト云フコトデハ、洵ニ雙方ニ於テ宜シクナイシ、而モ此際ニ於テ蠶絲業法案ヲ出スト云フコトガ、時代ニ適應セル最モ良イ案ダト考ヘル際ニ於キマシテ、色ミ之ヲ指導スル所ノ機關デアル學校ト云フモノニ付テハ、一日モ早ク確立セラレンコトヲ望ムノデアリマスガ、文部當局ニ於テハ、ドウ云フヤウナ御都合ニナッテ居リマスルカ、又更ニサウ云フコトニ依リマシテ、一日モ早ク移轉シテヤラウト云フ様ナ御心持ガ、此處ニ湧出ラレハシナイカ、斯ウ云フコトヲ伺フノデアリマス

○東郷政府委員 御答致シマス、只今御話ノヤウニ、震災復舊費ヲ以テ改築スルコトニナッテ居リマスガ、ソレガ財政緊縮ノ結

果繰延ニ繰延ヲ致シテ居リマシテ、現在西ヶ原ノ學校ハ、昭和十七年カラ著手スルコトニナッテ居ルコトハ、只今仰セノ通りデアリマス、震災復舊事業ノ大體ノ順序ガ、震災ニ罹ッタモノヲ先ニスルコトニナッテ居リマスノデ、西ヶ原ハ震災ニ罹ッテ居ナイト云フヤウナ關係カラ、一番後廻シニナッテ居ルヤウナ實情デアリマスガ、學校ノ校舍ガ非常ニ古イコト、又只今御話ノヤウナ、色ミノ點ニ於テ不便ノアルコトハ、當局トシテモ能ク承知致シテ居リマス、殊ニ私共先日實際ヲ見テ、其校舍ノ非常ニ古クテ且ツ狹隘デアリ、其他教育ノ上ニ於テ色ミノ不便ノアルコトモ、實際見テ承知致シテ居ル次第デアリマシテ、非常ニ學校當局ニ對シテモ同情致シテ居リマスルシ、又教育ノ上カラモ、出來ルダケ早ク移轉スルコトガ適當ト認メテ居リマス、其意味ニ於テ、成ベク出來ルナラバ、何トカシテ適當ナ方法ヲ講ジタイト、今折角心配中デアリマス、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○有馬委員 政府デサウ云フヤウナ御心持デアリマスルナラバ結構デアリマスルガ、特ニ御注意申上ゲテ置キマスガ、町村併合ト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ矢先ニ、既ニ候補地ヲ買収シテアルニ拘ラズ、一方ノ

土地ヲ遊バシテ置イテ、一方ニ今利用セラレントスル此土地ヲ斯ウヤッテ置クコトハ、國家經濟ノ上ニ於テモ不利益デアルカラ、町村併合ノ此矢先、人氣ガ勃興シテ居ル此際ニ移轉シテ、此土地ヲ賣却スルコトガ一舉兩得デアル、土地發展上又教育上ニモ結構デアリマスカラ、一日モ早ク其御心持ヲ、更ニ熱ヲ加ヘラレマシテ御實行アランコトヲ希望シマス

○加藤委員 之ニ關聯シテ一寸——只今政府委員ノ御答ニモアリマシタ様ニ、東京高等蠶絲學校ハ非常ニ腐朽ヲ致シテ居ルノミナラズ、現在ノ場所ガ、蠶絲業教育ノ上カラ見マシテモ非常ニ缺陷ガ多イコトハ、爭ハレナイ事實ニナッテ居リマス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、一日モ速ニ是ガ移轉ヲサセナケレバ、如何ナル方面カラ見マシテモ宜シクナイコトハ分ッテ居ルノデアリマスルガ、ソレガ漸ク昭和十四年ニ著手シテ十七年ニ完成スルト云フヤウナコトニナッテ居リマスレバ、此先十年間モ經タナケレバ移轉後ノ完成ヲ見ル事ガ出來ナイ、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、冀クバサウ云フヤウナ急ニ迫ッテ居ル此學校ノ狀態ヲ、文部當局モ既ニ御承知ノ事柄デアリマスル以上ハ、一面カラ云ヘバ學生教養ノ爲

ニナリ、一面カラ云ヘバ此際失業者救済ノ意味ニモ相成ルノデアリマスルカラシテ、翼クバ昭和八年度カラ此移轉工事ノ開始ノ出來ルヤウニ、特ニ一ツ御考慮ヲ戴キタイト思フノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ、更ニ政府委員ノ御考ノアル所ヲ御伺致シタイト思フ次第デアリマス

○東郷政府委員 先程申上ゲタヤウナ趣旨ヲ以テ、文部省ト致シマシテモ、出來ルダケ努力致ス方針デヤッテ見ル積リデスガ、併シ來年度カラ必ズ實現スルト云フコトヲ、今此處ニ御約束ハ出來マセヌ、成ベク御趣旨ニ副フヤウ努力致スト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○百瀬委員 議事進行ニ付テ——只今政府提出ノ製絲業法案ノ審議中デ、質問ガ昨日來繼續サレテ居リマス、尙ホ午後ニ互リマシテモ幾多ノ質問ガ繼續サレルコト、信ズルノデアリマス、此委員會ニ於テ政友會提出ノ製絲業法案、及之ニ關聯スル所ノ日本蠶絲株式會社法案、及原蠶種國營法案、更ニ輸出生絲販賣統制法案、此四案ノ提案理由ノ説明ガ只今爲サレツ、アルノデアリマス、政府ノ提案ニ對スル質問モ終ラナイ中ニ、更ニ議員ヨリ提出ノ案ニ付テ質問ガ起ルヤウナ場合ニ、政府ノ提案ト議員ノ提

案トノ兩案ニ對スル質問ガアリマス。ト云フ
ト、非常ニ混同スルノデアリマス、之ニ付
テハドウ云フ風ナ順序ヲ進行爲サレ御考
デアリマス。カ、此場合ニ於テ承テ置ク方
ガ好都合デアルト思ヒマス

○生田委員長 只今ノ御問御尤デアリマス
ルガ、武田君ヨリ説明致シマス。四案ハ、
先刻其説明ヲ許可スルニ御異議ガナイカト
諮レバ、御異議ナイト云フコトデアリマシ
タカラ、大體此委員會ノ御意見ガサウナッ
タモノト信ジテ進行致シテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ議事ノ整理ニ付キマシテハ、及ブ
限り盡力致シマシテ、混同シナイヤウニ努
メル積リデアリマス。カラ、左様御承知ヲ願
ヒタイ

○武田委員 先程ノ説明ヲ續ケテ申上ゲマ
ス、先程申上ゲマシタル如ク、今日ノ蠶絲
業界ノ最モ必要ナル事柄デアリ、蠶絲業ニ
關係アル業者ヲ救済スルコト云フ重點ト云フ
モノハ、價格ノ安定ト云フコトニアルノデ
アリマス、是ハ先程申上ゲタ通りデアリマ
ス、併シ或ハ斯様ナ意見モナイデハナカラ
ウカト思フノデアリマス。ガ、一昨年以來ノ
此蠶絲業界ノ不況ト云フモノハ、要スルニ
亞米利加ノ需要ガ減ツタノデアル、亞米利加
ノ不況ガ茲ニ影響シタノデアルカラ、單ニ

今私ガ申上ゲタヤウナ理由ガ主ナルモノト
シテ、統制ノ必要ヲ高調スルノハ、少シク
當ラヌト云フヤウナ意見ヲ有ッデ居ル人モ
アルヤニ聞イテ居リマス、併シ私共ノ見ル
所ヲ以テスレバ、實ハ左様ナル意見ニハ合
致致シテ居ラナイ、私ノ申上ゲルコトヲ寧
ロ事實ハ裏書シテ居ルノデアリマス、成
程亞米利加ハ不況デアッタニハ相違ナイ、
併ナガラ實際ノ統計ヲ見レバ、此不況間ニ
於テモ、亞米利加ノ需要ハ決シテ減ツテ居
ラナイノデアリマス、即チ昭和元年ニ於テ
日本カラ亞米利加ヘ輸出シタ生絲ハ五十萬
俵デアッタニ拘ラズ、昨年ノ輸出生絲ノ總
額ハ五十九萬幾ラト云フコトニ承知致シテ
居リマス、故ニ此價格ガ非常ニ下落シタ、
隨テ不安定ヲ惹起シタコトハ、勿論價格ノ
下ツタコト、價格ノ不安定ト云フコト、
ハ、少シク意味ガ違ヒマスケレドモ、今日
ノ場合ニ於テ價格ガ甚ダ下落シタコトハ、
蠶絲業ノ不安定デアリマス。カラ、先ヅ其點
ニ付テ申上ゲタノデアリマス。ガ、是ハ決シ
テ此需要ノ減ツタコトガ原因デハナイノデ
アリマス、之ニ付テ論ズレバ色々論點ガ
アルデアリマセウガ、簡單ニ申シマスレ
バ、此數字ガ示シテ居ルノデアリマシテ、
ドウシテモ是ハ此供給ノ方面ニ何等カノ缺

陷ノアルコトガ見エルト思フノデアリマス
ガ、此供給ノ方法ノ缺陷ト云フコトハ、先
程申上ゲタ蠶絲業界ニ於テ、生産業者ト配
給業者トノ間ノ利害ノ對立、或ハ小製絲家
ガ澤山アッテ、之ヲ亂賣致ストカ、先程色
色申上ゲタ、サウ云フヤウナコトガ主ナル
原因デアラウト思フ、隨テ生絲ノ價格ヲ相
當ナ程度ニ維持スルコト云フコト、又價格
ノ安定ヲ計ル途ヲ講ジナケレバ、我國ノ蠶
絲業ト云フモノハ、到底將來ノ發達ヲ期ス
ルコトハ出來ナイト思フ、併シ考ヘテ見ナ
ケレバナラヌコトハ、左様ナ目的ニ副フダ
ケノ統制ガ出來ルデアラウカ、可能性ヲ
持ッテ居ルカドウカト云フ問題デアリマ
ス、私ハ之ニ向ッテ十分可能性ガアル、他
ノ産業ニ増シテ、ヨリ以上ニ可能性ガアル
ト思フノデアリマス、何トナレバ是亦御承
知ノ通り、殆ド生絲ノ一番ノ需要者ハ亞米
利加デアアル、殆ド世界デ使フ所ノ生絲ノ大
部分ト云フモノハ亞米利加デ使ハレテ居ル
ガ、其内ノ九割乃至九割五分ト云フモノ
ハ、我國カラ供給シテ居ルノデアリマス、
即チ世界ノ生絲産業ノ霸權ヲ我國ガ握ッテ
居ルノデアリマス、之ヲ言葉ヲ換ヘテ申シ
マスレバ、生絲ニ對スル獨占權ヲ我國ハ
持ッテ居ルノデアリマス、隨テ我國ガ適當

ナル統制ノ途ヲ講ジマスナラバ、世界ノ生
絲ノ値段ト云フモノハ適當ニ安定シ、隨テ
此蠶絲界ハ安定スルコト云フ、最モ合理的ナ
統制ガ行ハレル、我國ハ最モ都合ノ好イ
状態ニ置カレテ居ルノデアリマス、然ラバ
如何ナル統制ヲ講ズルカト云フ點ニナリマ
スガ、最初ヨリ申上ゲタ通りニ、私共ト致
シマシテハ、單ニ當業者ノ自治ニ委カスコ
トデハ、到底完全ナル統制ヲ行フコトハ
出來ナイト吾々ハ考ヘルノデアリマス、ソ
レハ更ニ此統制ノ具體案ニ至ッタ時ニ申上
ゲヤウト思フ、斯様ナ次第デアリマシテ、
吾々ノ信ズル所ノ、蠶絲業ニ加ヘントスル
統制方法ノ中心ハ、價格ノ安定ト云フコト
ニアルト思ヒマス、是ハ想フニドナタモ御
異論ノナイコトデアラウト思フ、既ニ價格
ノ安定ト云フコトハ蠶絲業統制ノ重點デ
アリ、中心點デアリマス。ナラバ、先ヅ販
賣ノ統制ト云フコトヲ第一ニ考ヘナケレバ
ナラス、此販賣ノ統制ヲシテ價格ノ安定ヲ
計ル爲ニ必要デアルナラバ、其他ノ統制モ
共ニヤルト云フコトハ自然ノ順序デアラウ
ト思フ、ソレデ私ハ先ヅ今申上ゲルヤウニ
販賣ノ統制ト云フコトヲ、此統制ノ有スル
中心點トシテ立案ヲ致シタノデアリマシ
テ、販賣ノ統制ヲ完全ナラシムルコトハ、

製絲業ノ方ノ統制モシナケレバナラス、又製絲業ノ原料ハ申ス迄モナク繭デアル、繭ハ養蠶家ノ生産スルモノデアリマスカラ、是亦養蠶ノ方ニ取ツテモ相當ナ統制ヲシナケレバ是ハ完結シナイ、斯ウ云フ順序ニナルノガ當然ノ事柄デアラウト思フ、最初カラ私が申上ゲタ如ク、統制ノ中心點ガ價格ノ安定ニアルコトヲ御認メ下サル以上ハ、ドウシテモソレデナケレバナラスト思フノデアル、斯様ナ見地カラ私共ハ政府ノ此度ノ御提案ニ對シテハ、甚ダ遺憾ノ情ニ堪ヘナイノデアリマス、昨日私カラモ農林大臣ニ其點ニ向ッテ御伺フ致シタノデアリマスケレドモ、農林大臣ノ御答辯デハ甚ダ不満足デアリマシタ、吾ニ不満足デアルノミナラズ、農林當局トシテハ甚ダ不親切、冷淡ト云フ感ニ堪ヘナイノデアリマス、私ノ昨日ノ質問ニ對シテ、農林大臣ハ大體ニ於テ御同感デアルガ、他ノ販賣統制其他ノ養蠶ノ統制ト云フヤウナコトハ、中々及ボス所ノ利害ガ多イカラ、十分ニ研究シテ居ラナイト云フ御答辯デアル、ソレニ對シテ然ラバ吾々ノ提案ニ對シテ兩院ガ協賛ヲ表サレタ場合ニ、農林大臣ハ之ニ御同意ニナルカト云フ質問ニ對シテハ、之ヲ否定ノ意味ニ於テノ御答辯ガアッタノミナラズ、アナタ

方ノ御提案ノ法案ハ能ク見テ居ラナイト云フ、殆ド放言ニ類スルコトヲ言ッテ居ラレルノデアリマス、私ハ甚ダ遺憾千萬デアルト思フ、苟モ議員ガ重要法案ヲ提案シテ、既ニ二日モ三日モ經ッテ居ルノニ、當局者ハマダ其案ヲ見テ居ラナイト云フニ至ッテハ、洵ニ此蠶絲業ニ對シテ不親切極マッタル態度デアルト私ハ思フ、ロニハ統制ノ必要ヲ唱ヘ、今調査中デアルト言ハレケレドモ、一向熱ガナイ、此統制ニ對シテ眞ニ蠶絲業ヲ救ハントスル誠意、適當ナ統制ヲシヨウト云フ誠意ガナイト私ハ考ヘマス、吾々ノ提案ガ出マシタナラバ、何ヨリモ之ニ向ッテ檢討ヲ加ヘ、其案ガ果シテ當局ノ憂ヘラレルガ如キ、當局ノ調査未ダ足ラザル點ニマデ及ンデ居ルカ居ナイカ、吾々ノ調査ガ不十分デアルカラ、此案デハ直チニ同意スルコトガ出來ナイカドウカト云フコトハ、何ヨリモ先以テ檢討致サレテ、相當ナ考慮ヲシテ置カナケレバナラス答デアリマス、既ニ此案ガ委員會ニ掛ッテ討議セラレントスル刹那ニ至ッテモ、其案ヲ見テナイカラ、何トモ言ヘナイト云フヤウナ、不親切極マッタコトヲ當局大臣ガ御答辯ニナルノデハ、一體此蠶絲業ノ統制ト云フモノニ向ッテ何等ノ確信ナイモノト言ハナケレ

バナラス、何等ノ主張ガナイト言ハナケレバナラス、調査研究シテ居ルト云フヤウナコトハ、空念佛デアルト申サナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、私ハ農林當局ガ蠶絲業ノ統制ト云フモノニ向ッテ冷淡不親切デアリ、何等ノ確信ガナイト云フコトニ向ッテハ洵ニ遺憾千萬デアル、殊ニ今日我國ノ現状ハドウデアリマスカ、事ミシク申上ゲル迄モナク、洵ニ非常匡救デアリ、繭ト米ニ依テ時局ヲ匡救スルヨリ仕方ガナイト云フコトハ明白ナ事實デアッテ、今度ノ臨時議會ハ繭ト米ノ臨時議會デアルト言ハレテ居ル程デアル、然ルニ此重大ナ時局ニ於テ、最モ重大ナル蠶絲業ノ興廢ニ特別ノ關係ヲ持ッテ居ル統制案ニ對シテ、斯様ナ不親切ナル態度ヲ執ッテ居ラレル農林當局ヲ相手ニシテ考ヘテモ仕様ガナイト思フ、仍テ私ハ委員諸君ニ、政府案デアルト云ッテ特ニ之ニ力ヲ入レルコトニ向ッテ、私ハ敢テ異論ハ申シマセスケレドモ、吾々ノ提案ハ相當苦心ヲ重ネタモノデアリマスシ、又今農林當局ガ斯様ナル態度ヲ執ッテ居ラレルニ於テハ、願クハ吾々ノ提案ニ向ッテ更ニ御熱心ナル態度ヲ以テ御檢討ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、先ヅ大體私共ハ現在ノ日本ノ蠶絲業ニ向ッテ是非共統

制ヲ加ヘナケレバナラスト云フ、大體ノ理由ヲ申上ゲタノデアリマスガ、更ニ各案ニ付テ簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス、先程申上ゲマシタル如ク、吾々ノ統制ノ中心點ハ販賣統制ニアリマス、隨テ此販賣統制法案竝ニ之ニ伴フ所ノ日本蠶絲株式會社法案ト云フモノニ付テ、大體御説明ヲ申上ゲマス此販賣統制ニ付キマシテハ色ミナル御議論ガ當然起ラウト思フノデアリマス、又現ニ各方面カラ、御説ヲ承ッテ居ル、或ハ是ハ當業者ノ自治的ノ方法ニ依テ統制スル方ガ宜イト云フ御意見モアルノデアリマス、成程ソレガ完全ニ出來マスナラバ、私モ敢テ異論ハナイノデアリマスガ、私ハ之ニ向ッテ三箇ノ理由カラ困難デアルト思フノデアリマス、併ナガラ其前ニ一寸申上ゲテ置キタイコトハ、勿論此自治的ノ統制ノ仕方モ、決シテ不可能トハ私ハ申サヌノデアリマス、現ニ産業組合製絲ト云フモノ、即チ普通ノ組合製絲ト云ハレルモノハ、是ハ一種ノ統制デアリマス、當業者自治的ノ統制デアリマス、養蠶家ガ加工ヲ致シ、販賣ヲモ致シテ居ルト云フコトデ、是ハ完全ナル統制ヲ致シテ居ルノデアル、又政府カラ戴イタ參考資料ニ付テ見マシテモ、此統制ガ相當效果ヲ舉ゲテ居ル、即チ賣上ニ於キマシテ

モ、組合製絲ノ賣上ノ方ガ、營業製絲ノ賣上ヨリハ、相當良イ値デ賣ッテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ私ハ惡イトハ申サナイ、吾ミノ考カラスレバ、益、組合製絲ヲ助長シナケレバナラヌト考ヘマス、併シ今日ノ蠶業界ノ現狀カラ行キマスレバ、組合製絲ト云フモノハ、日本ノ製絲業ノ中ノ極ク僅カナ部分デアリマス、其中二割カ二割五分位ニシカ達シナイデアラウト私ハ記憶シテ居リマス、今此處ニ詳細ナル統計ハアリマセヌカラ、是ハ後カラ申上ゲテモ宜シイガ、何レニシテモ極メテ僅ナ部分デアアル、又其組合製絲ガ未ダ發達シナイト云フ理由トシテ、ドウシテモ營業製絲ト組合製絲ト云フモノハ併立スベキ運命ニアルコトハ、是亦皆様ノ御異論ノナイコトデアラウト思フノデアリマスルカラ、ドウシテモ此組合製絲ト云フ方法ヲ完全ナラシメテ、之ニ依テ統制ヲスルト云フコトハ、是ハ又企テルコトノ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマスルガ故ニ、ドウシテモ他ノ方法ニ依テ統制ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ラバドウ云フ譯デ此自治的ノ統制ガイケナイカト申シマスルト云フト、此蠶絲業ノ關係者ト云フモノハ、私ガ申ス迄モナク非常ナ數ニナツテ居ルノデア

リマス、故ニ此總テノ蠶絲業關係者ヲ網羅シテ、之ヲ自治的ニ統制スルト云フコトハ、是ハ到底現實ノ問題ト致シマシテハ實行出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、假ニ是ハ百歩ヲ譲ッテ、長イ時間掛ッテ政府ガ獎勵致シマシタナラバ出來ルト假定ヲ致シマシテモ、今日ノ實際ハ左様ナ氣長イコトヲ言ッテ居ルコトヲ許サヌ實情デアリマス、何ヨリモ先以テ販賣ノ上ニ統制ヲ加ヘテ價格ノ安定ヲ致サナケレバ、日本ノ蠶絲業ト云フモノハ、頗ル困難ナル狀態ニナツテ來ルノデアリマス、マア一口ニ言ヒマスルナラバ、日本ノ蠶絲業ト云フモノハ、今日ハドツチカト云フト、最早成年期ガ過ギテ稍老年期ニ入ッテ居ルノデアリマス、暮色蒼然ト云フ狀態ガ今日現ハレテ居ルノデアリマス、即チ或ハ人絹ノ壓迫トナツテ居ルノデアリマス、故ニ私ハドウシテモ、之ニ向ッテ急速ニ有效ナル統制ヲ加ヘント致シマスルナラバ、ドウシテモ自治的ノ統制デハイケナイカラシテ、之ヲ完全ニ一ツ政府ノ力ヲ以テ統制ヲスルト云フ途ニ出デナケレバ、統制ノ實ハ舉ラヌト思フノデアリマス、ノミナラズ此數ガ多イト云フノミデハナイ、先程モ申上ゲタルヤウニ、

此蠶絲業關係ノ業者間ニ於テ利害ガ對立シテ居ルト云フ事實ハ、先程申上ゲタルヤウナ譯デアリマス、即チ生産業者ト配給業者ノ間ニ利害ガ對立致シ居ル、其對立ヲドウシテモ之ヲ解クコトガ出來ナイノデアリマス、組合製絲ノ方法ヲ以テ生産業者自ラ販賣統制ヲスルニ非ザレバ、到底之ヲ解クコトガ出來ナイト云フコトガ今日ノ實狀デアリマス、又モウ一ツ重大ナル自治的ノ統制デハイケナイト思フコトハ、殊ニ主トシテ亞米利加ニ依存シテ居ル所ノ我ガ蠶絲業ト致シマシテハ、獨占的ニヤルコトニ付テハ餘程考慮ヲ拂ハナケレバナラナイ、若シ當業者ノ自治的ノ統制ニ一任致シタト云フコトデアリマスナラバ、其他ノ統制ヲ見テモ分ルヤウニ、ドウシテモ當業者ノ自治的ノ統制ト云フコトハ獨占的デアリマスカラ、唯價格ノ吊上ノミヲ主ニスル傾キノアルコトハ、是ハ道理ノ上ニ於テモ、亦今日種々ナル統制ノ行ハレテ居ル實際ニ於テモ明カデアル、然ルニ亞米利加ニ對シテ獨占ヲ利用シテ、價格吊上ト云フコトノミニカヲ注グト云フ統制ハ、亞米利加ニ如何ナル影響ヲ及ボスデアリマセウ、先程農林大臣ガ横川君ノ質問ニ答ヘラレタ中ニ、外國トノ關係ヲ考慮シナケレバナラヌト言ハレタノハ、

其點デアラウト私ハ推測シテ考ヘテ見タノデアリマスガ、是ハ相當考慮シナケレバナラヌ事柄デアリマス、日本ガ獨占的、利己的ニ、唯價格ヲ引上ゲルト云フコトヲ以テ統制ヲシテ居ル、而モ先程申上ゲマシタ通り、日本ハ殆ド世界ノ蠶絲業界ニ於テ獨占ノ位置ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、其獨占ノ位置ヲ占メテ居ルコトニ依テ、素リニ價格ヲ引上ゲテ亞米利加ノ消費者ヲ苦シメルト云フヤウナ狀態ニナツタト云フコトニ相成リマスルト、必ズヤ亞米利加ハ我ガ日本ノ蠶絲業ニ向ッテ報復的ノ手段ヲ執ルノデアリマス、故ニ此統制ト云フモノヲ當業者ノ自治的統制ニ委スコトハ、日本ノ蠶絲業ノ前途ニ向ッテ、非常ナル危險ヲ孕ンデ居ルト思フノデアリマス、當ニ其點ノミナラズ、益々日本ノ蠶絲業ヲ盛ナラシムルト云フコトハ、勿論國內的ニモ販賣ヲ盛ナラシメ、市場ヲ擴張スルト云フコトガ必要デアリマスルシ、又其可能性モ十分アリマスケレドモ、今日私ガ申上ゲル迄モナク、日本ニ出來ル所ノ生絲ノ八割五分ト云フモノハ輸出デアッテ、地遣ト云フモノハ僅ニ一割五分カソコラシカナイノデアアル、シテ見ルト云フト、日本ノ蠶絲業ノ運命ハ懸ッテ輸出生絲ニアルト言ハナケレバナリ

マセヌカラ、是ハドウシテモ亞米利加ニ更ニ益々輸出ヲ盛ニシ、人絹其他ニ對抗シテ十分ナル效果ヲ舉ゲルト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、成程今日ハ日本ハ獨占的ノ位置ニアリマスルケレドモ、支那ノ如キアノ廣イ地域デ、多クノ人デ以テ、而モ勞力ノ極メテ安イ所ノ養蠶國ガアルニ依テハ、晏然トシテ居ッテ、今日ノ獨占的位置ヲ永久ニ占メラレルト思フコトハ、是非非常ナル危險ガ伴フコトデアラウト思フノデアリマス、故ニ或意味ニ於テ價格ノ安定ヲ圖ルコトハ必要デアリマスケレドモ、獨占的ノ位置ヲ利用シテ、濫ニ價格ノ吊上ノミニ腐心スルコトハ、我ガ蠶業界ノ將來ニ向ッテ深く考慮ヲ要スベキ點デアルト思フノデアリマス、斯様ナル意味ニ於テ、此當業者ノ自治的ノ統制ニ一任シテ、利己的ナ統制ヲヤラスト云フコトハ、ドウシテモ此日本ノ蠶絲業ノ特異性ニ鑑ミテ、私ハ餘程考慮ヲ加ヘナケレバナラス點デアルト思フノデアリマス、斯様ナ意味合ニ於テ、ドウシテモ政府ガ直接其衝ニ當リ、然ラザレバ民間ト政府トガ相應ジテ、主トシテ政府ノ指導監督ノ下ニ統制ヲスルト云フ手段ヲ執ラナケレバナラスト思フノデアリマス、吾ミガ此輸出生絲販賣統制法

案、竝ニソレニ伴ッテ日本蠶絲株式會社法案ト云フモノヲ提出シタノハ、斯ル理由ニ依ルノデアリマシテ、此點ハ深く委員諸君カラ、吾ミノ提案シタコトデナケレバ、眞ニ此統制ノ實ヲ舉ゲルコトハ出來ナイト云フ趣旨ニ付テ、深キ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマシテ、特ニ此點ヲ御願ヲ致ス次第デアリマス、惻然ラバ吾ミガドウ云フコトヲ致スカト申シマスルト云フト、先ヅ輸出生絲販賣統制法案ノ方カラ申シマスレバ、此條文ニアリマス如ク、生絲ノ販賣輸出ハ日本蠶絲株式會社カ、又ハ大日本生絲販賣組合聯合會ニ委託スルニアラザレバ、販賣若クハ輸出ヲスルコトヲ得ズト云フノガ其中心ノ趣旨デアリマス、少シ私ハ茲ニ申上ゲテ置キタイコトハ、先程申上ゲタ通り、我國ノ生絲ハ組合製絲ト營業製絲ニ分レテ居ルノデアリマスガ、組合製絲ハ先程申上ゲタ如ク、極メテ製絲業ノ一部分デアリマスルケレドモ、其結果ハ極メテ良イノデアリマシ、今ハ發達ノ過程ニアルノデアリマシテ、是ハ出來ルダケ助長シテ、組合製絲ヲ發達セシムルヤウニ力ヲ添ヘナケレバナラヌ状態ニアルノデアリマスルガ、此組合製絲ハ組合製絲間デ今茲ニ書イデアリマスル大日本生絲販賣組合聯合會ト云フモノヲ

作ッテ、此點ニ依テ販賣ト輸出ヲヤッテ居ルノデアリマシテ、其效果ハ相當舉ッテ居ルノデアリマスルカラ、ソレデハ組合製絲ハ組合製絲トシテ、現ニ適當ナ效果ヲ舉ゲテ居ル販賣方法ニ任シテ置イタ方ガ宜カラウト云フ考デ、日本蠶絲株式會社ノ方ニ斯ウ云フモノヲ認メタノデアリマスルガ、併シハ必シモ之ヲ固執スルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、斯業ニ堪能ナル委員諸君ノ間ニ於キマシテ、ヤハリ一ツニシテ統制シタ方ガ宜カラウト云フ御意見ガ多ケレバ、勿論左様ナ御修正ヲ加ヘラレテモ、吾ミハソレニ向ッテ何等遺憾ノ意ハナイノデアリマス、唯今申上ゲマシタヤウナ事情カラシテ、斯ウシタ方ガ或ハ宜イカ知ラスト云フ位ナ程度デ斯様ニ致シタノデアリマス

ソレカラ其次ニ日本蠶絲株式會社法案ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、是ハ大體ニ於テ法案ニ於テ御分リデアリマスカラ、多ク申シマセヌガ、其要點ノ一二ヲ一ツ御注意願フ爲ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、第一ハ蠶絲會社ハ生絲ノ販賣ト竝ニ輸出ヲモ此場合是非ヤラシタイ、斯ウ云フヤウナ考デアリマス、或ハ今日ノ實際カラ云フト、新シイ會社ヲ起シテ、販賣ハヤッテモ、輸出ノコトマデヤルト云フコトハ、隨分困難デハアルマイカ、斯様ナ實際ノ上ノ見地カラノ御疑モアラウト思ヒマスガ、是ハ吾ミモ相當其點ニ向ッテハ考慮致シタノデアリマシテ、尤ノ考デアルトハ思ヒマスケレドモ、併シ將來ノ統制ト云フコトニ取ッテ考ヘテ見マシテ、此統制會社ヲシテ、單ニ現在ノ取締ヲヤルヤウナコトダケニ止メテ置クト云フコトヲ致シマスルナラバ、此統制ガ完全ニ行カナイト思ヒマス、況ヤ輸出業者モ亦配給業者ノ一人デアッデ、再三申上ゲタ如ク、生産業者トハ間ニ利害ノ相反シタ立場ニアルノデアリマスカラ、眞ニ統制ヲ致スト云フコトニ致シマスナラバ、ドウシテモ此輸出業者ノ輸出ノ事業ヲモ日本蠶絲株式會社ニ行ハシメルト云フコトデナケレバ、此統制ガ完全ニ行カナイト、斯様ニ考ヘタノデアリマス、但シ今日ノ場合ニ於キマシテハ、此實際ニ於テ、輸出業者ト云フモノハ頗ル困難デアアル、即チ紐育ニ於テノ事情モ能ク知ラナケレバナラス、又向フニ於テノ相當ノ設備モシナケレバナラスト云フコトデアリマスカラ、實際ニ於テハ困難デアリマシガ、併シハ便法ト致シマシテ、現在行ハレテ居ル所ノ有力ナル輸出業者ヲ其代理商ニ指定スルカ、或ハ特約代理店ニスルヤウ

ナ方法ヲ以テ、其缺陷ヲ補フコトモ決シテ困難デハナイノデアリマスカラ、斯様ニ法文ニ規定致シマシテモ、其缺陷ヲ補ヒ得ル途ハ如何様ニモアルコトデアリマスカラ、私共ハ差支ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニハ資本金額ヲ六千萬圓トシタコトデアリマス、是ハ深い根據ガアツテヤッタコトデアリマス、唯今日ノ現狀ト致シマシテ、ドウシテモ先程申シマスヤウニ、半官半民ニシテ、政府ハ此指導監督ノ衝ニ主トシテ當ラナケレバ、十分ナル統制ガ出來ナイト云フ見地カラ半官半民ニ致シマシタ、サウシテ其資金ヲ半分宛ニシタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ見地デアリマスガ、倅現在ニ於テモ、今日ハ財政困難ノ際デアリマスカラ、餘リ多クノ資金ヲ政府カラ支出セシムルヤウナ案ヲ作リマシテモ、實際問題トシテハ困難ガ伴フト云フ一ツノ缺點ト、一ツハ民間ニ於テモ頗ル困難ナ狀態デアリマスルカラ、餘リ多クノ資金ヲ民間カラ集メルト云フコトヲ計畫致シマシテモ、是亦頗ル困難デアラウト思フノデアリマス、所ガ現ニ帝蠶會社ト言ハル、一種ノ——統制會社デアリマセヌガ——一時的ノ生絲ノ値段ヲ調整スルト云フ會社ノアルコトハ、皆サン御承知ノ通りデアリマス、併シ是ハ今

吾ミノ信ズルヤウナ統制會社ガ出來マスレバ、此帝蠶會社ト云フモノハ當然必要ノナイ會社デアリマス、是ハ現ニ五百萬圓ノ資本デ四分ノ一ノ拂込デアリマスカラ、是ハ新會社ニ合併セシムルト云フ考デアリマス、更ニ問屋業者ヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ出來マセヌカラ、問屋業者ヲシテ、現在ノ暖簾ヲ相當ニ値踏ミヲ致シマシテ、之ヲ新會社ノ株式ヲ以テ其暖簾代ニ當テ、サウシテ此仲間ニ入レテシマヘバ、利害ガ一致シテ問屋業者ヲ救フコトモ出來ヨウ、斯ウ云フ考デ、是ハ極大雜把ナ話デアリマスガ、吾ミノ法案デハ、約一千萬圓位ナコトニ補償ヲシテヤッタ宜カラウカ、ソレヲ直チニ株式ニ振替ヘタラ宜カラウト、斯様ニ考ヘタノデアリマス、サウシマスト帝蠶會社ト問屋業者デ千五百萬圓、其他ノ當業者ハ千五百萬圓ヲ支出スルト云フコトニ致シマスレバ、三千萬圓デ、政府ノ支出ト共ニ六千萬圓ニナル、ソレデ政府ノ出資ハ取敢ズ其半額ニ致シマシテ、サウシテ更ニ政府ノ現在持ッテ居ル、横濱ニ於テ生絲検査所ニ關係致シテ——ソレト別ニシテ宜イ所ノモノハ、私ノ承ル所ニ依レバ約三百萬圓位ノモノハアルサウデアリマスカラ、ソレヲ現物出資ト致シマシテ、現在政府カラ千

五百萬圓ノ現物出資ヲシテ貰フ、サウシテ後カラ五百萬圓宛三箇年ニ互ッテ出資ヲシテ貰フ、三箇年ノ後ニハ政府ニ完全ニ三千萬圓ノ出資ヲシテ貰フト云フ計畫ニ致シマスト、即チ民間ガ今日疲弊ノ場合デアリマスルカラ、其出資額ヲ當分四分ノ一ト致シテ置キマシテ、三千二百萬圓、ソレニ帝蠶會社ノ合併ノ資金モアリマスカラ、約四千萬圓位ナ資金ガ騰出出來ルノデアリマス、運轉ノ資金ガ出來ル譯デアリマス、斯ウ致シマスレバ、一箇月約五萬圓ノ輸出ヲ致シマスレバ、之ヲ大體八百圓ト見テ、四千萬圓ノ資金ガアレバ、ドウニカ賄フコトガ出來ル、尙ホ必要ノ場合ハ、此政府ノ半分ヲ持ッテ居ル所ノ會社デアリマスルカラ、信用ハ極メテ強イノデアリマス、又獨占的ノ會社デアリマスカラ極メテ此會社ノ信用ハ強イモノト思ヒマスルカラ、相當安イ利子デ融通ヲ、從來ノ關係ノ如ク正金銀行其他カラ資金ヲ受ケルコトガ出來マセウ、又場合ニ依テハ政府ノ都合ガ付キマスナラバ、蠶絲業ノ將來ノ爲ニ、是等ニ向ッテ低利資金ヲ融通シテ下サルトカ何トカ出來マスルナラバ、單リ此新會社ノミナラズ、蠶絲業全體ニ向ッテ頗ル好都合ニ行クデアラウ、今日蠶絲業ノ最モ困ル所ノモノハ金融ノ問

題デアリマスカラシテ、是等モ考ヘテ見マスト、此今吾ミノ計畫シタルヤウナ半官半民ノ會社ニ致スト云フコトハ、金融ノ上カラ見テモ極メテ有利ナ立場ニナルデハアルマイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲタイコトハ、社長及副社長ハ主務大臣之ヲ命ズト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是ハ或ハ御異論ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ私共ハ最初ニ申上ゲタ通り、今日ノ此蠶絲業ヲ統制スル上ニ於テハ、ドウシテモ餘リ當業者ノ意見デ之ヲ採用スルヤウナコトハ實際實情ニ適シナイ、政府ハ眞ニ斯業ノ立場カラ、又國家的ナ立場カラシテ、之ヲ指導監督スルト云フ意味ニ於テ、其會社ノ中心ニナルベキ社長副社長ハ政府ガ指名スル、任命スルト云フ方ガ適當デアラウトシテ、斯様ニヤッタノデアリマス、更ニ尙ホ會社ニ評議員會ト云フモノヲ置イタラ宜カラウト云フコトハ、是ハ統制ヲ致シテ有ユル方面ノ——即チ製絲業者ニモ宜ク、養蠶業者ニモ宜ク、又輸出ニ對シテ外國ノ事情モ十分適切ニ斟酌スルト云フヤウナコトニ取リマシテハ、左様ナ事柄ニ取ッテ堪能ノ人ヲ補助者トシテ、ソレノ意見ヲ聽ク機會ヲ作ルト云フコトハ、此事業ノ發達ノ爲ニ極メテ必

要ナコトデアアルマイカト云フコトデ、評議員會ト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ尙ホ此處デ一ツ私ハ此會社ノ最モ誇トスベキ、吾ミノ會社ノ誇トスベキ點ニ付テ皆様ノ御諒解ヲ願ヒタイ、ソレハ第十六條ニアルノデアリマス、即チ株主ニ對シテ普通ノ六分ノ配當ヲ致シタ外ニ、尙ホ利益ノアリマスル場合ニ於テハ、其會社ノ株主デアツテ、其會社ニ生絲ノ販賣ヲ委託シタモノニ付テハ、五分ニ當ル程度ヲ限度ト致シマシテ、今ノ割戻ノ利益ノ分配ヲ致スト云フ點ガ、洵ニ私ハ之ヲ誇トスル——ト云フト甚ダオカシイデスガ、吾ミノ此統制會社ノ得意ノ點デアルト云フ點ヲ御諒解願ヒタイノデアリマス、是ハ吾ミハドウ云フ所カラ考ヘタカト申シマスレバ、先程モ申上デマシタ所ノ組合製絲ノ點カラ考ヘタノデアリマス、組合製絲ノ最モ吾ミノ尊重スル所以ノモノハ、養蠶家自身ガ組合ツテ、製絲モヤレバ販賣モヤリ、輸出モヤル、隨テ其受ケル所ノ利益ハ、結局スル所養蠶業ニマデ均霑スル、斯ウ云フノガ組合製絲ノ最モ特徴デアリ、吾ミノ組合製絲ヲ推獎スル所以デアリマス、ソレデ此最モ尊ブベキ點ヲドウシテ取レルカト云フコトヲ考案致シテ、斯様ナコトニ致シテ、此會社ガ或程度以上

ノ利益ノアツタ場合ニハ、其利益ヲ製絲業者ニモ均霑セシムルト云フ意味ニ於テ、此割戻ニ類シタ制度ヲ設ケタノデアリマス、是ニ於テ一ツノ議論ガ起ラデアラウト思フ、ソレハ宜シイ、製絲業者ニ割戻ノ利益ヲ拘霑セシムルト云フコトハ宜シイガ、養蠶家ハドウスルカ、養蠶家カラ繭ヲ賣ッタノニ對シテ、製絲業者ニ利益ノアツタ場合ニ、養蠶家ニモ利益ノ割戻ヲシナケレバナラスデヤナイカト云フ議論ガ起ル、ソレモ尤ノコトデアツテ、吾ミモ如何ナル方法ニ致シタナラバ、此點ニ取ツテ、養蠶業者ニモ利益ヲ均霑セシメルカト云フコトニ、非常ニ考慮ヲ加ヘテ見タノデアリマスケレドモ、是ハ實際問題ト致シマスルト云フト、ドウモ養蠶業者ト云フモノハ殆ド二百萬戸モアルト云フ多數デアリマス、ソレヲドウノ人ガドノ會社ニ何貫目賣ッタト云フコトマデ記錄シテ置イテ、サウシテソレニ其利益ヲ割戻スト云フコトハ、中ニ是ハ實際問題トシテハ行フコトハ出來ナイノデアリマス、遺憾ナガラ養蠶業者ニ割戻シノ制度ト云フモノハ、此法案ノ上ニ現ハスコトハ出來ナイノデアリマスガ、單ニ斯ウ云フ考案ヲ持ッテ居ルノデアリマス、政府ハ更ニ別種ノ事情、政策ノ上カラシテ養蠶組合ト云フモノ

ヲ作ラシテ、サウシテ繭ノ販賣ハ養蠶組合ト製絲業者トガ團體的ノ「バーゲン」ヲスルト云フヤウナコトニ致シマスレバ、初メテ此養蠶業者ニモ利益ヲ均霑セシムル、割戻ノ方法ニ依テ利益ヲ均霑セシムルノ途ヲ執ルコトガ出來ラデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ別ノ方法ヲ以テ是非日本全國ノ養蠶業者ニ、其土地々々ニ於テ養蠶組合ト云フモノヲ作ラシメテ、サウシテ團體的ノ商談ヲ行ハシメルト云フヤウナ方法ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデモウ一ツ此處デ皆様ノ御諒解ヲ願ヒタイコトハ、第十六條ノ條文ニ示サレテアリマスル如クニ、利益ノ特別ニ上ツタ場合ニ於テハ、其利益ヲ均霑セシメルコトハ、株主デアツテ此會社ニ生絲ノ販賣ヲ委託シテ居ルト云フコトニナツテ居ル、サウスルト云フト株主ニ非ズシテ委託ヲシタ所ノ製絲業者ハドウスルカト云フ問題ガ起ルノデアリマス、是ハ吾ミハ製絲業者ハ強制的デハアリマセヌガ、總テ假令一株デモ宜イカラシテ、苟モ製絲業者ハ總テ會社ノ株主ニナツテ貰フト云フ前提ノ下ニ、斯ウ云フ方法ヲ立テタノデアリマス、勿論強制的デハアリマセヌカラ、必シモ總テガ入ルト云フコトニハ出來マセヌケレドモ、

私共ノ考カラ致シマスレバ、今ノヤウナ方法デアリマスレバ、極メテ安全デアツテ、サウシテ利益ノアツタ場合ニハ、自分ノ所ニソレヲ割戻シテ貰ヘルト云フコトニナリマシタナラバ、一株位ハ——如何ナル貧弱ナル製絲業者デアツテモ、之ニ加入サレルト云フコトハ十分可能性ガアルト私ハ思フ、故ニ吾ミノ前提ト致シマシテハ、苟モ製絲業ニ從事シテ居ラレル方ハ、假令一株デモ二株デモ宜イカラ、必ズ此株主ニナツテ貰ヒ得ルト云フ前提ノ下ニ、斯ウ云フ立法ヲ致シタト云フコトヲ御承知置ヲ願ヒタイ、萬一實際ニ於テサウ云フコトハ出來ナイ、小製絲家ガ澤山アル、會社ニ入ラナイ製絲家ガアツタト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、其割戻ノ方法ハ別ニ此款ニ於テ規定ヲシテモ差支ナカラウト云フコトニ考ヘテ居ルノデ、大體ニ於テハ今申上ゲタヤウナ考カラ第十六條ヲ決定シタ譯デアリマス、先ヅ吾ミノ此蠶絲株式會社ノ構成ニ付テ主トシテ御注意ヲ願ヒタイ點ハ、今申上ゲタ程度ノコトデアリマス

ソレカラ是デ此蠶絲株式會社ノ方ハ終ッタノデアリマスガ、其次ニハ製絲業法ノコトデアリマス、製絲業法ニ於キマシテハ、政府ノ提案ト吾ミノ提案ニ於テハ、餘リ多ク

ノ相違ガナイノデアリマスカラ、多クノ説
明ヲ要サスト思フ、一口ニ申セバ先程申上
ゲタ統制ノ趣旨ニ適フヤウニ、免許制度ニ
シタ方宜イト云フコトニ止ッテ居ルノデ
アリマス、是ハ既ニ大體豫メ政府ノ御説明
ニ依テ御諒解ニナッテ居ルノデアリマシテ、
唯問題ハドノ位ノ程度デ、免許制度ノ條件
ヲドウスルカト云フコトガ、昨日來ノ質問
ノ要點ニナッテ居ルノデアリマス、吾ミノ
腹案ト致シマシテハ、普通ノ營業者ニ取ッ
テハ百五十釜、組合製絲ニ取ッテハ百釜ト
云フヤウニスルノガ、妥當デナйкаト考ヘ
タノデアリマス、唯政府案ト違フ所ハ、此
附則ニ於テ吾ミハ條件ヲ具ヘタ所ノ製絲業
者モ十年ノ後ニ於テハ其免許ヲ取消ス、斯
ウ云フ事ニナッテ居リマスガ、政府案ニ於
テハソレニ條件ヲ附ケテ、其條件ヲ滿シタ
場合ニ於テハ免許ヲ與ヘタモノト看做スト
云フ點ガ異ナルノデナリマス、吾ミモ此小
製絲業者ヲ其儘ニシテ捨置イテ、ドンナ困
難ニ陥ッデモ宜イト云フヤウニ考ヘテ居ル
ノデハナイノデアリマシテ、十箇年間ニ於
テ相當ナル獎勵ヲ致シマシタナラバ、是ハ
合同若クハ合併其他ノ方法ニ依テ、此條件
ヲ滿サレルヤウナ程度ニナリ得ルデアラウ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ此點ニ取ッ

テ小製絲業者ヲ保護スルト云フコトハ、極
メテ重大ナルコトデアリマシテ、昨日來ノ
質問應答ヲ拜聴致シマシテモ、委員諸君ノ
最モ力ヲ入レテ御論ジニナッテ居ル點ノヤ
ウニ思フノデアリマスカラ、吾ミハ必ズ是
ハ先ヅ合併ガ出來ルデアラウト云フ豫想ノ
下ニ、斯様ナ附則ヲ付ケタノデアリマス、
併シソレニハ困難ナ事情ガアルト云フコト
デアリマスレバ、如何様ニ御修正下サッデ
モ、之ヲ政府案ノ如クニ御修正下サッデモ、
吾ミハ何等固執ハ致サヌノデアリマス、玉
成スルト云フ上ニ於テハ、委員諸君ノ御意
向ニ從テ、決シテ之ヲ固執スル意味デモ
何デモナイノデアリマスカラ、ソコヲ惡シ
カラズ御諒解ヲ願ヒマス

其次ニハ原蠶種國家管理法案デアリマ
ス、是モ極メテ簡單ノ事デアリマシテ、餘
リ多クノ説明ヲ申上ゲルノ必要ハナイノデ
ハアルマイカト思ッテ居リマスガ、唯一言
吾ミガ原蠶種ノ國營管理ト云フコトヲ必要
トスル根本思想ヲ、一言申上ゲテ置キタイ
ト思ヒマス、私共ノ考ヘル所ニ依リマスル
ト云フト、先程モ一寸申上ゲマシタガ、我
國ノ蠶絲業ハ今ヤ其發達ノ絶頂ヲ少シ過ギ
タヤウニ實ハ考ヘルノデアリマス、隨テ
是以上發達シナイトハ申シマセヌ、有ユル

方法ヲ以テ更ニ發達スルヤウニ助長シナケ
レバナラスコトハ當然デアリマスガ、併ナ
ガラ凡ソ産業ニ於テハ、旭日昇天ノヤウニ
上リ坂ニアル場合ト、又下リ坂ニアル場合
トガアルノハドウシテモ免レナイ、上リ坂
ニアル場合ハ、上リ坂ニアル場合ノヤウ
ニ、計畫ヲ樹テナケレバナラス、下リ坂ニ
アツタ場合、即チ守勢ノ場合ニハ、守勢ノ方
法ニ依ルヤウナ方案ヲ樹テナケレバナラス
ノデアリマス、吾ミハ日本ノ今日ノ蠶絲業
ハ守勢ノ時期ニ達シテ居ルノデアリマス
マイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、其意
味ハドウ云フコトデアアルカト云フト、人絹
ト云フモノガ非常ナル速度ヲ以テ發達ヲ致
シテ居リマス、而モ近來ノ人絹ト云フモノ
ハ、私ハ當業者其他ノ實際家カラ承ッテ見
ルト、殆ド天然絹絲ト變ラナイヤウナ、彈
力ノ上ニ於テモ其他ノ上ニ於テモ變ラナイ
ヤウナモノニナッテ居ル、ソレデ値段ハ最
モ高イ時デモ、天然絹絲ハ日本ノ生絲ノ三
分ノ一デアルト云フヤウナ狀態デアリマス
ルカラ、ドウシテモ或ル程度迄人絹ニ壓迫
サレルト云フコトハ免レナイ事柄デアルト
覺悟シテ、對策ヲ講ジナケレバナラスト思
フノデアリマス、ノミナラズ又先程モ一寸
一言觸レマシタガ、今日ハ支那ノ生絲ト云

フモノハ怖レルニ足ラスノデアリマスガ、
兎ニ角支那ノ生絲ト云フモノハ、勞力賃ガ
非常ニ安いノデアリマス、又桑モ安いノデ
アリマス、即チ原料ハ非常ニ安いノデアリ
マスカラ、生産費ガ從テ安クナルノデア
リマス、此安イ支那ノ生絲ヲ相手トシテ、
我國ノ蠶絲業ノ將來ヲ考ヘテ見マスルト、
ドウシテモ我國ノ生絲ト云フモノハ、量ニ
於テ増スト云フコトヨリハ、質ニ於テ優秀
ナモノヲ造上ゲ、サウシテ値段ヲ良クス
ル、斯ウ云フコトデナケレバナラスト思フ
ノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ、即チ此
日本ノ生絲ト云フモノハ、量ヲ増スコトハ
勿論閑却スルト云フ意味ヂヤアリマセヌ
ガ、量ヨリハ質ニ重キヲ置クト云フ方針ニ
於テ、此蠶絲業ヲ指導シナケレバナラス、
斯様ニ考ヘルノデアリマス、斯様ナ意味合
ニ於テ、必ズシモ量ヲ増スト云フコトヲ主
トセズシテ、値段ノ如何ニ依テハ、寧ロ生
産制限ヲ或ル程度迄シテ、量ヲ少クシテモ
質ヲ良クスル、サウシテ適當ノ値段ニ維持
シテ蠶絲業ヲ救フト云フ方面ニ統制ノ目的
ヲ向ケナケレバナラス、斯様ニ考ヘルノデ
アリマス、此目的カラ致シテ、ドウシタラ
宜イカト云フト、色ミナ外ノ方面モアリマ
セウガ、一番效果のデアッテ簡易ニ行ハル

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○生田委員長 然ラバ左様致シマス

○横川委員 私ノ質問ハ政府提出ノ此法案ニ對シテ一二法文上ノ質疑ヲ要スル點ヲ申上ゲタイト思ヒマス、認可ニ關スル法文中ニ於キマシテ、既ニ許サレタル製絲業者ノ増釜ヲ申請シテ參リマシタ際ニ、之ニ對スル當局ノ許可ノ御方針ヲ承リタイ、是ガ一點、ソレカラ既ニ許サレタル業者ニシテ、將來資金ノ狀態ヤ、經營ノ狀態ガ認可ノ條件ニ合致セザルヤウニナツタ場合、即チ非常ナ損失ヲ告ゲテ、資産ガ惡クナツタカ、乃至ハ其他十分條件ニ合致シナイヤウナ事ガ起ツタ場合ニハ、之ニ對シテ當局ハ之ヲ取消スカドウカ、此點ヲ一ツ、ソレカラ既ニ得タ權利者ガ、何等カノ事情ニ依テ、他ニ其權利ヲ轉賣シヨウトスル場合ノ御方針如何、是ハ既ニ質問ガアツタカモ知レマセヌガ、此三點ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○入江政府委員 第一點ノ御尋ノ増釜ノ場

合ニ於キマシテハ、ソレニ付テ調査致シマシテ、相當ノ設備等ヲ備ヘマシタラ認可致シマス方針デアリマス、第二ノ釜數ガ減ジタヤウナ場合デアリマス、其場合ニ於キマシテハ、第六條ニ依テ既ニ主務大臣ヨリ共

ハ宜シイト云フコトニ意見ノ御一致ガ願ヘルモノデアリマスナラバ、ドウシテモ販賣統制ト云フモノヲ中心トシテ、蠶絲業並原蠶種國營案ト云フ、此蠶絲業ノ全般ニ互ル統制案ヲ一ツノ連絡アルモノトシテ、是ノ審議ノ御進メヲ願ハナケレバ、效果的ナ統制案ヲ得ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、其御便宜ハ委員長ノ適當ナ御配慮ニ任スノ外ハアリマセヌガ、私ハ是ハ不可分のナモノ、一聯ノモノ、ドウシテモ脈絡ヲ付ケナケレバナラナイモノトシテ、之ヲ是非共一緒ニ御審議ヲ進メテ願フヤウニ致シタイト云フ希望ヲ併セテ申上ゲテ、私ノ説明ヲ終リマス

○生田委員長 休憩致シマス、午後ハ一時カラ此委員會ヲ開キマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午前十二時休憩

午後一時三十九分開議

○生田委員長 開會致シマス、午後ノ委員

會ハ、政府提出ノ製絲業法案竝ニ胎中楠右衛門君外二名提出ノ製絲業法案ハ、同一議案デアリマスカラ、此際一括シテ此二案ノ上程シタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

布スル上ニ於テモ、生産制限ノ上ニ於テモ、質ヲ向上セシメル上ニ於テモ、極メテ容易ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ヤウ、斯様ニ考ヘマシタノガ原蠶種國家管理法案ノ趣旨デアルノデアリマス、是デ大體不十分ナガラ私共提案ノ全部ニ互ッテ一應ノ説明ヲシタ譯デアリマスガ、尙ホ御質問ニ應ジテ御答フスルコトニ致シタイ、此場合私ノ希望ヲ一言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、既ニ政府案ノ蠶絲業法ハ殆ド八分通リカ九分通りハ質問ガ終ツヤウナ狀態デアリマスガ、吾々ノ提案致シマシタ蠶絲業法モ、思フニ此質問ニ於テ或ハ盡キテ居ルカモ知レマセヌ、併シ多少ノ御質問ハ勿論アラウト思ヒマスケレドモ、併シ私共ノ考ハ先程最初ニ力ヲ入レテ御説明申上ゲテ御諒解ヲ願ヒマシタ如ク、此蠶絲業ノ統制ト云フコトハ、到底一ツヲ以テハ完全ニ行カヌノデアリマス、是ハドウシテモ組織的ニ、寧ロ有機的ニ、吾々ノ提案シタ——少クトモ吾々ノ提案シタ四ツニ互ル所ノ法案位ハ、之ヲ不可分のモノト見テ之ニ檢討ヲ加ヘ、御研究ヲ願ハナケレバ、之ヲ切離シテ一部分々々ニ行ッテ見テモ、甚ダ效果的デナイト思フノデアリマス、隨テ吾々ハドウシテモ蠶絲業ニ統制ヲ加ヘルコト

ルモノハ、原蠶種ノ國營ト云フ事柄デアアルト思フノデアリマス、今日御承知ノ如クニ、日本ノ蠶種ト云フモノハ八百種ノ多キニ上ッテ居ルサウデアリマス、其中デ優良種ト言ハレルモノハ、漸ク十種シカナイト云フコトデアリマス、斯様ナ雜然トシタ澤山ノ、而モ質ノ惡イ所ノ蠶種ヲ以テ養蠶ヲ致シマシテハ、ドウシテモ品質ノ揃ツタ所ノ繭ガ出來ル譯デハナイ、原料ノ惡イ繭ヲ使ッテ良キ生絲ヲ造ラウトシテモ、是ハ不可能ノコトデアリマスカラ、ドウシテモ此點ニ向ッテ思切ツタ一大改善ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ、思フニ何人モ異論ノナイ所デアラウト思ヒマス、仍テ斯様ナ意味ニ於テ、政府自ラガ此天然蠶種ト云フモノヲ國營ト致シ、サウシテ之ヲ各府縣ニ配布シテ、府縣カラ更ニ原蠶種ヲ造ッテ、此蠶種製造業者ニ相當ナ値段デ賣渡ス、若クハ原蠶種製造業者ニ政府ガ相當安イ値デ、之ヲ賣渡スト云フコトニ致シマシタナラバ、今申上ゲタ量ヨリ質ニ重キヲ置イテ、良キ生絲ヲ值ヲ良ク賣ルト云フ意味ニ於テモ、亦必要ノアル場合ニ於テハ、此生産ニ向ッテ相當ノ制限ヲ加ヘルト云フ意味ニ於テモ、原蠶種ガ本デアリマスカラ、之ヲ政府ハ自ラ國營ト致シマシテ、此養蠶業者ニ配

狀況等ヲ詳シク調べマシタ上ニ於キマシテ、ソレガ引續イテ四條ニナリマスガ、尙ホ此方ノ注意監督等ノ點ニ付キマシテ、色ミノ點カラ出來ナイ、而モソレガ一年以上ノ續クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレガ却テ製絲業全般ノ上ニ害ヲ與ヘルト云フヤウナ場合ニハ、取消スト云フ考ヲ有ッテ居リマス、ソレカラ最後ノ御尋ノ權利讓渡ノ場合ニ於キマシテハ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス、大體附則ノ承繼ト云フ所ニ於キマシテ之ヲ認メル方針デアリマス、併シ昨日モ一寸申上ゲテ置キマシタガ、合併トカ、包括デアリマスとか云フモノハ認メマス、大體同業者ノ讓渡ハ當然認メル、併シサウデナイモノハ、新免許ノ方針ヲ執リタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス

○横川委員 第一番目ノ増釜ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ五十釜、百釜乃至ハ百五十釜デモ、所要ノ釜數以上ノモノデアレバ差支ナイ譯デアリマス、此増加ノ場合モ、矢張りサウ云フ意味合ニナリマス

○入江政府委員 十デモ二十デモ差支ナイ考ヲ持ッテ居リマス

○横川委員 ソレカラ第五條ニ關スルコトデアリマスガ、例ヘバ製絲家ガ手先ノ者ヲ使ッテ繭ヲ集メマシタ際ニ、其繭代金ヲ、

正シカラザル理由ノ下ニ養蠶家ニ支拂ヲ遲延シタリ、乃至ハ未拂ヲシタト云フヤウナ場合ニ於テハ、御當局ハ之ニ對スル處置ハドウ云フコトニ御考ヘニナッテ居リマス、若シ是ガ第五條ノ公益ヲ害スト云フヤウナ條項ニ當儀マルモノデアリマスカドウカ、之ヲ御伺ヒ致シマス

○入江政府委員 昨日モ此點ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、繭代金ヲ支拂ハナイト云フコトハ、賃銀不拂ノ場合ト矢張性質ハ同ジカト考ヘテ居リマス、是ハ一製絲家ト一養蠶家トノ間ニサウ云フ場合ガアルトシテ、斯ウ云フコトヲ以テ直ニ公益ヲ害スルト云フコトノ公益ニハ當ラナイ、唯是ガ全般的ニ及ブ場合デ、何カ製絲業ノ團體ト云フヤウナモノガ、一般的ニ舉ッテヤルト云フコトニナリマスレバ、其關係カラ致シマシテ、公益ト云フヤウナコトニ及ンデ行クデハナカラウカ、サウ云フ意味デ昨日私ハ賃銀ノコトニ付テ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、此公益ト云フコトハ、法制ノ技術ノ上カラ解釋シテ、事實上ニ適用スルコトハ先ヅ無イデハナカラウカト考ヘテ居リマス、今御尋ノヤウナ點ニ付キマシテハ、別ニ製絲業者取締ノ方ニ依リマシテ相當命令ヲ發シ、或ハ注意ヲ致シ、ソレニ應ジナイ

場合ハ此製絲業者取締法デヤッテ行カウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○横川委員 或ハ私ノ質問ノ要旨ガ不徹底デアッタカモ知レマセヌガ、或ル一ツノ製絲家ガ、中間ニ手先ノ數人ヲ使ッテ、多クノ養蠶家カラ繭ヲ集メマス、サウ云フ場合ニ、多クノ養蠶家ガ繭代金ノ支拂ヲ受ケルコトガアリ得ルコトデアリマス、斯様な事ハ延取引ヲヤル場合ニ種々認メルノデアリマスガ、其以外ニ故意ニ繭代金ヲ支拂ハナイヤウナ場合ニハ、不測ノ損失ヲ受ケルコトガアリ得ル譯デアリマス、サウ云フ場合ヲ御尋シタ譯デアリマス、ソレカラ前ニ質問ノ第二ノ中ニ於キマシテ、若シ既ニ許サレル所ノ製絲家ガ、其資産ノ狀態ガ非常ニ惡クナリマシテ、斯様な事態ヲ惹起スヤウナ事モ想像セラレルノデアリマス、サウ云フヤウナ際ニハ製絲家タルノ資格ニ既ニ缺クルモノデアラウト思ヒマスガ、斯様なモノハ御取消ニナル譯デアルカドウカ、此點モ併セテ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○入江政府委員 其點ニ付キマシテハ、實ハ製絲業法ト云フ法律ヲ制定致スニ付キマシテ、私共考ヘテ居リマシタコトハ、製絲業者ノ基礎ヲ成ベク完全ニセシメタイ、サ

ウシテ今御話ノヤウナ、養蠶家ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フコトニ立脚致シテ居リマス、ソレデ然ラバ今御話ノヤウニ、或ル仲買ナドガ介在致シマシテ、サウシテ養蠶家ニ迷惑ヲ掛ケル例ガ往往アルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ、出來ルダケ製絲業者ノ方ノ取締ト云フヤウナ點カラ、相當忠告ヲ致シ、取締ッテ行キタイ、尙ホソレニ付キマシテ、今御話シタヤウニ、資本狀態モ惡クナッテ來、到底經營ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス場合、少クトモ營業ノ成績ト云フヤウナ點ニ付テモ、工場ヲ休ンダリ、或ハ又始メタリスルト云フヤウナコトニナリマスレバ、何トカシナケレバナラナイカト思ヒマス、併シサウ云フコトニ付テハ、兎ニ角營業シテ居リマス者ノ狀態ヲ、一片ノ取締法デ止メサシタリ、取消シタリスルノモドウカト考ヘマスノデ、其點ニ付キマシテハ、十分此法律ノ精神ヲ發揮致シマシテ、從來ヨリ一層其點ヲ注意シテ行キタイ、サウ云フ意味ニテヤッテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○横川委員 モウ一點ダケ伺ヒマス、現在休業ヲシテ居リマスル製絲家ガ相當數多クアラウト思ハレマスガ、斯様な者ハ、此法案

ガ成立致シタト致シマスルト、ソレハ開業ノ運ヲシテ、認可ヲ得ルト云フコトニ相成ラウト思ヒマスガ、ソレハ一年間ノ範圍内ニ於テ開業フスレバ、認可ノ形式ナシニモ製絲業者タルコトヲ認メテ戴ケル譯デゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒマス

○入江政府委員 此法律ヲ施行シマスルニ當リマシテ、嚴密ナル營業者、即チ製絲工業者ガ休ンデ居ル時ハ、當然届出ヲシテ、サウシテ製絲業ト看做ス、斯ウ云フ考デアリマス、隨テ其後ニ於キマシテ、一年ヲ過ギテ手續フスルト云フコトガ發生スルト其問題ガ起ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○百瀬委員 政府提出ノ製絲業法案ト、政友會ノ方デ御提出ニ相成リマシタ製絲業法案ト、一括シテ今議題ニナツテ居リマスルカラ、此場合ニ政友會側ノ提出案ニ對シマシテ、一二ノ質問ヲ試ミテ置カウト思ヒマス、昨日來政府案ニ對シテ、各委員ヨリ、各方面ヨリ御質問ガアリマシテ、之ニ對スル政府案ノ内容ハ殆ド之ヲ知悉スルコトガ出來タノデアリマス、而シテ本日政友會案ノ御提案ニ對シテ、武田議員ノ御説明ヲ拜聽致シマスルト云フト、殆ド其内容ガ相等シキモノデアアル、唯附則ニ於テ多少異タル點ガアルガ、大部分同一内容デアルト云フ

ヤウナ御説明デアッタノデアリマス、果シテ然リト致シマスナラバ、政友會案ニ於キマシテモ認可基準、即チ營業製絲ノ釜數百五十、組合製絲ノ百釜ト云フ此基準ハ、吾ミノ見ル所デハ大資本主義ノ擁護デアツテ、小製絲家ノ壓迫トナル、其點ニ付テ非常ナ疑義ヲ有シテ居ル者デアリマスガ、矢張政友會側ノ御質問ニ付テ檢討シマシテモ、私ト同ジヤウナ考ヲ持ッテ居ル御意見附ノ御質問モアツタヤウニ存ジマスガ、其點ハ決シテ資本主義ノ擁護トモナラズ、又小資本家ノ壓迫トモナラナイ、此程度ガ最モ理想的デアリ、合理的デアルト云フ御考ノ下ニ、此基準ヲ御定ニナル御方針デアアルカドウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、政府案ノ内容ト其意見ヲ異ニシナイト云フ御意見デアリマスカドウカ、其邊ヲ此場合ニ伺ヒマス

○武田委員 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、私ハ私ノ提案ノ説明中ニ、大體政府ノ提案ト餘リ相違ガナイト申シタノハ、形ニ現レタコトヲ申シタノデアリマシテ、或ハ精神ニ於テ、政府ハドウ云フ御意見デアリマスガ、或ハ相違シテ居リマスガ、私ノ申上ゲルコトヲ御聽取下サレバ明カニナラウト思ヒマスガ、私共ガ免許制度ヲ取りマシ

タコトハ、決シテ資本主義擁護ノ爲メデハナイト云フコトヲハッキリ申上ゲテ置キマス、然ラバドウ云フ理由デ免許制度ヲ取ツタカト云フト、第一ハ此製絲業ヲシテ出來ルダケ合理的ノ經營ヲセシメタイ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレハ實ハ率直ニ申上ゲレバ、其程度ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ、實ハ吾ミハ素人デアリマスカラ、十分ニ之ヲ具體的ニ精密ナルコトヲ數字のニ説明スルコトハ出來ナイノデアリマス、併ナガラ總テノ工業ハ、工業ノ性質ニ依テ其「スケール」ノ大小ト云フモノハ自ラアルノデアリマス、吾ミハ専門家ニ色ミサウ云フ點ヲ調査セタリ、又實際家ニ付テ承ッテ見ルト、一般製絲業ヲ今日ノ實情ニ於テ最モ合理的ニ經營シ得ル程度ハ、二百釜乃至四百釜ト聞イテ居リマス、大製絲家ト雖モ、ソレヲ合理的ニセンガ爲ニ全體トシテ何百釜若クハ何千釜ト云フ工場ヲ持ッテ居リマスケレドモ、ソレハ部分的ニ大抵二百釜位、若クハ百五十釜位、多クモ三四百釜位ノ幾ツカニ工場ヲ分ケテ居ルト云フヤウニ聞イテ居リマス、又實際吾ミノ拜見スル所モ、サウ云フヤウニナツテ居ルヤウニ感じテ居ルノデアリマス、ソレデ日本ノ蠶絲業ヲ盛ナラシムルト云フコトハ、

個人々々ノ營業者ヲモ、其利害ヲ無視スルコトハ出來ナイコトハ當然デアリマスケレドモ、日本ノ蠶絲業全體ヲシテ、其經營ヲ合理的ナラシムルト云フコトハ、日本ノ蠶絲業全體トシテ考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、御承知ノ如ク、又私ノ説明中ニモ詳シク申上ゲタ如クニ、日本ノ蠶絲業ハ、私ハ國內的ノ産業デナクシテ、全然外國貿易ヲ主トスル、即チ事實カラ申シマスナラバ亞米利加ニ依存シテ居ル産業デアリマス、隨テ是ハ唯一部ノ人ノ利害ト云フコト、其事業ガ合理的ニ行カナイト云フコトニナリマスルト、此事業ノ前途ニ暗影ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、故ニ何トシテモ、之ヲ合理的ニ進メルト云フコトガ、第一ノ方法デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此二百釜ガ最モ合理的ダト云フコトヲ聞イテ居リマスケレドモ、百五十釜若クハ百釜位デモ、斯ウ云フコトハ尺度デ計ルヤウナ譯ニ行カナイカラ、實際ノ經驗カラ言ヘバ、先ヅ百五十釜位デモ相當ニ合理的ニ出來ル、又少シク忍ブナラバ百釜位デモ、之ヲ二百釜ノモノト比較スレバ、幾ラカ不便ノ點モアルケレドモ、サウ大シタコトモナイト云フ説モ伺ッテ居ルノデアリマス、ソレデ一面ニ於テハ成ベク其

最小限度ノ條件ヲ以テ致スト云フコトハ、今日現存シテ居ル蠶絲業者ニ對シテ便利ヲ與ヘル所以デアルト考ヘマシテ、理想的ニハ二百釜デアッデモ、ソレヨリ非常ナ不便ガナイモノナラバ、幾分便宜ヲ與ヘル方ガ宜カラウト云フ意味デ百五十釜トシタノデアリマス、是ハ勿論施行規則ニ定メル譯デアリマスガ、サウ云フ見當ヲ付ケタノデアリマス、ソレカラ組合製絲ハ、是亦御承知ノ如クニ今日ハ發達ノ過程ニアリマシテ、出來ルダケ之ヲ獎勵スル意味ニ於テ、便宜ノ處置ヲ執ツタ方ガ宜カラウ、組合製絲ニ於テ釜數ヲ多クスルト云フコトハ、其組合ヲ造ル上ニ於テ、種々ナル困難ガ伴フト云フコトヲ考慮致シマシテ、營業製絲ヨリハ五十釜、少クシタ方ガ宜カラウス様ニ考ヘタ譯デアリマス、ソレカラ又小製絲家ニ及ボス影響ニ至リマシテハ、尙ホ眼前ノ事實トシテハ、現ニ茲ニ營業製絲家ガヤッテ居ラレルノデアリマスカラ、ソレハ少シク御迷惑モアリマセウ、併ナガラ日本ノ蠶絲業ヲ合理的ニシ、且販賣ノ上ニ於テモ、先程販賣統制ノ點ニ付テ説明申上ゲタル如ク、販賣ヲ統制スルト云フコトニ取ツテハ、勢ヒ製絲業者ニモ或ル程度ノ統制ヲ加ヘナケレバナラス、サウシナイト、即チ價格ノ安定

ヲ得ルコトハ困難デアリ、又價格ヲ適當ナ程度ニ維持シテ行クコトモ困難デアリマス、結局全體カラ言ッデ價格ノ安定、相當程度ノ維持ガ行ハレナイナラバ、廻リ廻ッテ小製絲業者モ隨テ非常ナ損害ヲ受ケル譯デアリマス、小製絲業者ヲ保護スル意味ニ於テモ、目前ノ多少ノ不利益ハ忍ンデ、茲ニ相當ナル條件ノ下ニ統制ヲ加ヘタラ宜カラウ、斯ウ云フ二ツノ意味カラ出發致シタノデアリマス、ソレカラ當面ノ製絲業者ヲ保護スル途ト致シマシテハ、私共ノ案ニ依リマス、先程申上ゲタヤウニ、十箇年ノ猶豫期間ノ間ニ之ヲ増加セシムル、資力ノアル者ハ相當擴張シテ行ク、サウデナイ者ハ合併若クハ相當ノ助力ヲ與ヘテ合併セシムルカシテ此條件ニ合ハセル、即チ合理的ノ經營ヲセシムルヤウニ助長スル、斯ウ云フ精神カラヤッテ居ルノデアリマスガ、政府ノ方デハ合併ト云フコトハ困難デアルカラ、共同施設ノ下ニ同一ノ效果ガ舉ガルナラバ、其儘許可シテモ宜カラウト云フ政府ノ意見ノヤウデアリマス、是モ御尤ナ譯デアリマスカラ、ソレハ私ノ方デハ固執シナイト申スノデアリマス、大體今申上ゲタヤウナ趣旨カラ吾ミノ提案ヲ致シタ譯デアリマス

○川淵委員 此釜數ニ關聯シテ一寸御伺致シタイト思ヒマスガ、組合製絲ヲ造ル際ニ於テ、組合デ資金ヲ出ス、ケレドモ經驗ガ少イ爲ニ經驗ノアル者ニ實際ノ事業ヲヤラサウト云フヤウナコトモ起ツテ來ル、言換ヘルト信用組合邊リノ金ノ餘分ナモノヲ集メテ、之ニ依テ組合製絲ノ固定資本ト致シマシテ組合製絲ヲヤッテ行キタイ、併シ適當ナ經營者ガナイト云フヤウナコトノ爲ニ、専門家タル製絲業者ノ手ニ依テ經營ヲシテ貰ハウト云フコトガ起リ得ル、又サウ云フコトハ地方ノ狀況ニ依テハ獎勵シテモ宜イデハナイカト思フノデアリマスガ、農林當局ハドウ考ヘテ居ラレマスカ、其際ニ於キマシテ斯ウ云フコトヲ將來豫想シテ、ソレモ見込アルモノハ助長シテヤラウト云フ御考デアリマスカラバ、其際ノ釜數ハ工場本位トシテ、固定資本ヲ投ジタ組合製絲ノ百釜ニ置カレルカ、或ハ百五十釜ニ置カレルカ、政府當局ト政友會案兩方ノ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○入江政府委員 政府ニ於キマシテハ、今ノ製絲業ノ小製絲工場ト云フ方面ニ於キマスルト、此不景氣デ繭ノ値ガ下リ、絲ノ値ガ下ルト云フヤウナ傾向ノ時ニハ、御話ノ如ク休ム工場ガ多クナッテ參ルノデアリマス、又一方ニ於キマシテ組合製絲ト云フ方面カラ考ヘマス、大體昨日申シマシタガ、固定資本ニ非常ニ金ヲ掛ケマス、隨テ是ガ營業ノ上ニ於テ色ミナ不都合ガアリ、經營ガ旨ク行カナイト云フ實情ニアリマスコトハ御述ベニナツタヤウナ狀態デアリノデアリマス、隨テ今ノ御尋ノヤウナコトニ付キマシテハ考究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、殊ニ今私共調査致シテ居リマスノハ、組合製絲ノ發達シナイト云フコトハ、一ツハ今申上ゲマシタ固定資本ニ金ガ掛ルト云フコトデハナカラウカ、サウ云フコトカラ考ヘマシテ、今休ンデ居ル工場等ニ委託致シマシテ之ヲヤルナラバ、先ヅ行クヤウナ場合ガアルノデハナカラウカ、例ヘバ今川淵サンノ御話ノ如ク、聯合ト云フヤウナ形ニナルノデアリマスガ、サウ云フモノニ對シテモ、今調査シテ居リマシテ、數ハ餘程ゴザイマス、實際ニ即シテヤッテ居リマスモノガ、現在數府縣ニ行ハレテ居ルト聞イテ居リマスガ、サウ云フモノニ付テ徹底的ニ調査ヲ致シマシテヤッテ見タイ、而シテ今御話ノ如ク其場合百五十ト見ルヤ、百ト見ルヤト云フノデアリマスガ、大體組合ノ方面ノ委託ヲ受ケテ居ルト云フモノナラバ、ヤハリ百釜デ宜クハナイカト考ヘテ

居リマス、實ハ其點ヲ今研究シテ居リマシテ、寧ロ獎勵シテヤッデ見ヨウト云フ頭デ居ルノデアリマス

○武田委員 只今ノ御尋ニ御答致シマスガ、結論ハ今ノ政府ノ御答辯ト同ジデアリマス、要スルニ先程下ナカノ質問ノ際申上ゲタヤウニ、合理的經營ト云フコトガ主デアリマスカラ、組合製絲デアラウトモ、營業製絲デアラウトモ、理想カラ申スナラバ二百釜ガ適當デアルガ、ソレヲ組合製絲ト營業製絲トノ間ニ五十釜ノ差ヲ置イタノハ、組合製絲ト云フノハ組合ノ仲間ヲ造ッテ、規模ノ大キイモノヲ造ルト云フコトハ今日ノ實情トシテハ困難デアラウ、ソレヲ獎勵スル意味ニ於テ五十釜少クシタト云フコトデアアルノデアリマスカラ、ソレデ此委託製絲ト云フヤウナモノニ、私ハ實情カラ申シタナラバ、實際ノ調査ヲ致シテ居リマセヌカラ知りマセヌガ、委託製絲ト云フヤウナモノハ、詰リ比較的一時的ノコトデ、永久ニハ委託製絲ニシテ置クト云フ譯ノモノデハナカラウト思フノデアリマス、若シ單純ニ委託製絲デアルト云フヤウナコトデアリマスルト、此業態自身竝ニ其他ノ技術的ノコトニ於テ特殊ノ研究ヲスルト云フヤウナコトモナクナルデアリマセウシ、眞ニ

其業ヲ發達セシメテヤルト云フコトナラバ、自分自身デ工場ヲ持ッテ、特殊ノ施設ト特殊ノ方法ヲ以テ之ニ研究ヲ加ヘルト云フコトデナケレバ、完全ナル工場ニナラヌト思ヒマス、詰リ何等カノ便法トシテ、委託製絲ヲヤル、今蠶絲局長ノ御話ノ如ク、差當リ多クノ固定資本ヲ要スルト云フコトニナルト、組合ハ出來ヌ、マア約束ハ工場ヲ造ルニシテモ、取敢ズ委託製絲ヲスルト云フヤウナコトカラ出發スルモノト思フノデアリマス、サウシテ見マス、所謂組合製絲ヲ助長スル意味合ニ於テ、普通ノ組合製絲ノ釜數ヲ標準トスルト云フコトハ當然ノ歸結デアラウト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○百瀬委員 尙ホ一寸御尋致シマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスト云フト、總テ蠶絲業ハ合理的ナ統制ヲ望ムノデアルガ、此製絲業法ニ於テモ合理的ニ之ヲ要求スルモノデアルガ、併ナガラ政府ノ提出ニナラレタ其内容ト大シタ相違ハナイノデアルカラ、多少異ッテ居ル點ガアッデモ、ソレハ固執スルモノデナイ、要スルニ政府案ノ内容ト殆ド同一デアルト云フコトニ解釋ヲシテ宜シイノデスカ、其點ヲモウ一度伺ヒマス

○武田委員 御答致シマス、大體仰セノ通

リデアリマスガ、此條項ニ於キマシテハ、能ク之ヲ拜見致シマスルト云フト、吾ハ立法技術ニ於テ頗ル缺クル所ガアルモノデスカラシテ、此政府ノ提案ヲ拜見致シマシテ、成程吾々ノ方デ少シ缺ケテ居ルト思フヤウナ點モアリマス、又同時ニ政府案ニ於テハ、少シク餘リ考ヘ過ギタト思フヤウナ點モアルノデアリマス、併シ大體ニ於テ立法ノ趣旨、竝ニ其規定ノ方法ニ於テハ大差ナイト信ジテ居リマス

○百瀬委員 ソレデハ多岐ニ涉ッテ質問申上ゲマスト云フト、時間モ相當ニ要スル關係モアリマスルノデ、此場合ニ政友會ノ提出ノ本案ト、政府ノ法律案トノ異ナル點ダケニ付テ、御意見、御主張ノ異ナル點ダケニ付テ、豫メ御説明ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、サウスルコトガ一番簡明デアリ、其點ニ付テノミ吾々ハ審議スレバ宜シイノデアリマスカラ、サウ云フ著シク異ッタル點ガアリマスルナラバ、其點ダケヲ指摘シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○武田委員 今申上ゲマスルヤウニ、大體ノ趣旨ハ免許制度ト云フコトガ中心ニナリマシテ、後ハ取締トカ何トカ云フ附隨的ノコトデアリマスカラ、大體ノ趣旨ガ同一デアレバ、サウ大ナル相違ガアル譯ハアリマ

セヌガ、一二ノ例ヲ取ッテ見マス、政府提案ノ第六條ニ於テ檢査ヲスル官吏……「前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ」ト云フコトガ書イテアル、是ハ親切ノ規定デアラウガ、併シ立法技術的ニ見テ、斯ル規定ハ施行規則ニ譲ッテ、差支ナイモノト思ヒマス、吾々ハ是ハ必要ハ認メマスケレドモ、斯ウ云フコトハ施行規則ニ讓ル方ガ宜イト思ッテ吾々ノ案ニハナイノデアリマス、唯吾々トシテ少シク遺漏デアルト思ッテ居ルノハ、第十條ノ點デアリマス、罰則ニ關シテ「製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者ガ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出ザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ル、コトヲ得ズ」ト云フヤウナコトハ、成ベク是ニ規定シテ置ク方ガ立法技術ノ上カラ言ッテモ亦然ルベキコトデアルト斯様ニ考ヘテ居リマス、又政府案ニ於キマシテ、第五條デス、是ハ昨日モ色々御質問申シマシタガ、「公益ヲ害シ若ハ害スル虞アリ」ト云フコトハ頗ル是ハ疑ハシイヤウナ條項デアッテ、元來工場法ニ於テ公益ヲ害スルカ其他色々ノ業界ニ於テモ、事業者ニ於テハ公益ヲ害スルヤウナ時ニ於テハソレヲ取締ル

ト云フコトハ、何モ製絲業ニ限ラズ、ソレハソレノ外ノ法律ヲ取締ル方法ハ十分アルト吾ミハ考ヘテ居ル、然ルニ茲ニ公益ヲ害スト云フヤウナ、非常ナ疑ハシキ、色ミナル解釋ノ出來ルヤウナコトヲ茲ニ規定ヲ設ケルト云フコトハ、ソレハ是ガアツカラ非常ニ害ガアルトハ申シマセヌガ、其必要ヲ認メナイト私共ハ思ッテ居ルノデアリマス、隨テ第五條ノ如キ規定ハ、削除シテ然ルベキモノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレ等ガ主ナル相違ノ點デアリマシテ、根本ニ於キマシテハ大ナル相違ハアリマセヌ、此説明ノ時ニモ申上ゲク通りニ、實體的ニ相違ノアルモノハ此附則ノ一點デアラウト考ヘテ居リマス

○百瀬委員 政友會ノ御説明ハ詳細先刻承リ、尙ホ政府案ト異ナル點ニ付テモ、只今武田議員ヨリ御説明ガアツタノデアリマス、政府案ト政友會提出案トノ其内容ニ於テ意見ノ異ル點ハ、政府委員ニ於カレテモ御聽キノ通りデアリマス、其點ニ付テ政府委員トシテハドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、只今ノ武田議員ノ御意見ニ對シテ、政府委員ノ御意見ヲ伺ヒマス

○入江政府委員 此六條ニ於ケル第二項ハ、寧ロ要ラナイノデハナイカ、或ハ施行

令等ノ手續上ノ問題デアルト云フ御話デアリマスルガ、是ハ立法事項デアリマシテ、大體總テノ法律ニ之ヲ書イテ居リマスノデ、私共ハ立法事項トシテ當然此處ニ入ルベキモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ第五條ノ「公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリ」ト云フコトハ、全ク武田サンノ御話ノ通りニ、無暗ニ之ヲ、何ト申シマスカ適用スルト云フコトハ、非常ニ是ハ問題デハナイカト云フ昨日カラノ御話、青木サンカラモ御話ガアリマシタノデ、詳シク私ハ申上ゲテ置キマシタ、又今日モ私申上ゲテ置キマシタノデアリマスルガ、大體ニ於テ斯ウ云フ條文ヲ適用スルトハ殆ドナイノデハナカラウカ、詰リ公益ヲ害スル虞アリト云フコトノ生ズルコトハ、大體ニナイノデハナカラウカ、但シ何ガ故ニ然ラバ斯ウ云フヤウナモノヲ入レタカト申シマスル、第三條ニ於テ統制上必要ナル命令ヲ爲シ得ルト云フコトガ書イテアリマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、是モ昨日申上ゲマシタヤウニ、非常時ノ場合ニ成ベク利用スベキモノデ、サウ云フ場合ニ此統制ニ從ハナイト云フヤウナ場合ガ生ズルト云フコトニ相成リマスルト、茲ニ何等カノ制裁規定ガアリマセヌト、何等ノ效力ガナイト云フコトニナ

リマスノデ、其意味カラ、第三條ニ伴ヒマシテ第五條ニ於テ「公益ヲ害シ若ハ害スル虞アリ」ト云フコトガ必要ナ規定ニナッテ居リマスノデ、私共ハ其意味ニ於テ重大ナル規定デアルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ附則ノ方面ニ於キマシテハ、寧ロ私共ノ提案致シマシタモノガ生溫イヤウニ、武田サンカラ御覽ニナリマス、御感ジニナルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、

此點ハ昨日來種々御質問ニ依リマシテ御答申上ゲマシタヤウニ、大體現在ニ於テ營業ヲシテ居リマスルモノヲ、故ナクシテ十年間過ギテシマッタナラバ、之ヲ營業者デ無クシテシマフト云フコトハドウデアラウカ、寧ロ是ハ出來ルナラバ、現在ノ實情ニ即スルト申シマスカ、或ル意味ニ於キマシテ、昨日御話ガゴザイマシタガ、先祖傳來御ヤリニナッテ居リマス工場ト云フヤウナモノヲ、相當ノ施設計畫ヲ致シマシテ、獎勵ヲシテ、サウシテ經營セシムルコトガ宜イノデヤナカラウカ、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、此附則ノ上ニ於キマシテ、十年後ト雖モ或ル條件ヲ備ヘテ居リマスルモノハ存續セシメタイ、昨日諄々シク申上ゲテ置キマシタガ、例ヘバ地遺絲ノヤウナモノシカ製造シナイ工場、斯ウ云フ風ナモノニ付キ

マシテモ、或ル程度ノ釜數ニ限リマシテ認メテ行タ、斯ウ云フ風ニシタ方ガ穩當デハナカラウカ、斯ウ云フ趣旨デ立法致シタ次第デゴザイマス

○小山委員 政友會提出ノ製絲業法ニ付デアリマスガ、提案者ノ御説明ニ依テモ明瞭致シテ居リマス通り、其精神ニ於テハ、政府提出ノ法律案ト殆ド一致シテ居ルモノデアル、立法技術上ノ取扱ノ點ニ於テ、或ハ條文ノ末節ニ於テ、多少ノ相違ハアルガ、是ハ敢テ固執スルモノデナイト云フ迄ノ御話ガアルノデアリマスカラ、何ヲ好ンデ私ガ再ビ提案者ニ、變ッタ點ヲ、御質問スル必要ガアリマセウカ、自ラ考ヘマシテモサウ思フノデアリマス、併ナガラ他ノ點ハ別ト致シマシテ、ドウ見テモ非常ナ相違ト思ヒマスルノハ、今政府委員ノ御説明ニモアリマシタ此附則ノ點デアリマシテ、政府提出ノ附則ニ依リマスレバ「十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り其ノ期間經過後ト雖モ仍免許ハ其效力ヲ有ス」效力ヲ繼續セシムルト云フ風ニ一方ハナッテ居リマスガ、政友會案ニ於テハ、全然十年ノ後ハ其免許ヲ取消サレシマフ、營業權ガ無クナル、無クナッテモ合理的ノ合同若クハ合併ヲ獎勵シ

テ、之ニ依テ處理スル、斯ウ云フ御話デアリマスカラ、ソレデ事済ムナラバ、寧ロソレノ方ガ徹底シテ居ルト私モ思フノデアリマス、併ナガラ如何ニ合同ヲ獎メ、合併ヲ獎勵致シマシテモ、合併シ能ハザルモノガアルト思フ、殊ニ今日業者ノ間ニハ五十釜内外ノ、國用ヲ主トシテ居ル者ニ對シテハ、全然度外ニ之ヲ置イテ貫ヒタイト云フ業者ノ熱烈ナル要望ガアリ、又其心持ヲ酌ンデ、同ジク政友會ノ加藤君並ニ近藤君アタリカラ、熱心ニ其主張ヲ述ベラレ、御希望モアルノデアリマスガ、私モ同感デアルノデアリマス、其點ハ政友會ノ何レノ條項ヲ見マシテモ、施行細則ニ依テサウ云フ取扱ヲサレルトシテモ、其餘裕ガナイヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハ何レニ致シテモ、先程御話ノ通り、根本精神ニ於テ相違ガナイノダカラ、多少ノ所ハ妥協モ出來、讓歩モ出來ルノダト云フ御意見カラ致シテ、寧ロ是ハ政友會ノ案ヲ政府ノ附則ノヤウナモノニ取扱フ、サウ云フヤウナコトニ致シマシテモ、提案者ニハ御異議ハナイト云フコトデアルカドウカ、或ハソレハイケナイノデアルカ、之ヲ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマス

○青木委員 議事進行ニ付テ——只今小山

委員カラ、武田君ノ御説明ニナッテ居ル案ヲ、政友會案ト呼バレテ居リマスガ、是ハ政友會ノ有志議員ノ提出デゴザイマシテ、政友會ノ黨議ニ依テ提出サレタモノデナイ、其誤解ダケヲ解イテ戴キタイト思ヒマス

○武田委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、大體御質問ノ通りデアリマス、私共ハ先程申上ゲマシタ如ク、十箇年ノ間ニ此百釜ナリ百五十釜ト云フモノガ、合理的ノ組織デアッテ、其ノ方ガ最モ有利ナ經營ガ出來ル、斯ウ思ヒマスノデ、政府ハ其合同ヲ種々ナル手段ヲ以テ獎勵致シ、其合同ニ便宜ヲ與ヘルト云フコトニ致シマシタナラバ、十箇年ノ間ニハ合同ガ出來ルデアラウト云フ豫想ノ下ニ、斯様ナ附則ヲ付ケタノデアリマス、併ナガラ此同僚委員諸君ノ中ニハ、實際ニ通ジタ、私ヨリモヨリ以上ニ深ク實際ニ通曉サレタ方ミガ澤山御有リニナルコトデアリマスカラ、皆様ノ御意向ガ、之ヲ政府案若クハ其他ニ變更シタ方ガ宜カラウト云フ御意向ガ澤山デアリマスナラバ、決シテ私ハ最初申上ゲルヤウニ、固執スルモノデハアリマセヌ、適當ナ修正ガアルナラバ、何時デモソレニ服従スルダケノ用意ガアルト云フコトヲ、御承知置キヲ

願ヒタイト思ヒマス

○近藤委員 諸君カラ細カナ所マデ御質問ガアリマシテ、モウ御尋スル要ハナイヤウデアリマスケレドモ、胎中君及武田君等カラ提出致シマシタ此同案ニ付テ、一言確メテ置キタイト思ヒマスカラ御尋スルノデアリマスガ、昨日モ政府當局ニ御尋致シマシタ通り、五十釜以下ノモノ、即チ國用向ノ製絲家ト云フモノヲ除外シテハ置ケナイカ、五十釜以上ト百五十釜トノ間ノモノハ、此十年云々ノ附則ニ適用ラシテモ、五十釜以内ノモノハセメテ殘ス御意思ハナイカ、此場合サウシテ申シ受ケタイト云フコトヲ本員ハ言ツタノデアリマス、ソレニ付キマシテモ、武田君ニ御尋致シマスルノハ、政府ガ若モ細則ニ於テ五十釜以下ノモノハ除外スル、此法律ニ適用セズト言ハレデモ、武田君ノ方デハ、ソレハ飽ク迄固執ヲセズニ、緩和シテ下サル、斯ウ云フ御意思デアリマスガ、之ヲ一應確メテ置キタイト

○武田委員 是ハ昨日モ國用、詰リ地遣絲ト輸出絲トヲ區別スルト云フ議論ガ澤山アリマシタガ、理窟ノ上ニ於テハ兎モ角、實際ニサウ云フ區別ガ出來マスナラバ、洵ニ結構ナコトダト思ヒマスケレドモ、是ハ私共ニ、三實地ニ關係ノアル方ミニ色ミ聞イテ見タノデアリマスガ、座繰ト器械トデ云フナラバ、座繰ハ殆ンド九分九厘マデ地遣絲デアルト云フコトハ言ヒ得マスガ、併シ昨日ドナタカノ御質問ニモ、座繰サヘモ輸出絲ガアルト云フコトデアリマシテ、中ミ地遣絲ト輸出絲トヲ區別スルト云フコトハ、座繰デサヘ多少困難ガ其處ニアルト云フ位デアリマスカラ、器械製絲ニ付テハ、地遣絲ト輸出絲トヲ區別スルト云フコトハ極メテ困難ノヤウニ思フノデアリマス、若シ是ガ何等カノ方法デ、地遣絲ト輸出絲ガ機械ノ性能ニ依テ區別サレルヤウナモノデアリマスナラバ、ソレヲ區別シテ、地遣絲ニ於テハ制限ヲ置カスト云フヤウナコトガ極メテ望シイコトダト思ヒマスガ、ドウモドウ考ヘテ見マシテモ、私ノ知レル範圍内ニ於テハ之ヲ區別スルコトハ困難ノヤウニ思フノデアリマス、サウ致シマス、區別スルコトガ出來スト云ヘバ、五十釜以下ハ地遣絲ハ多イカラ、此制限外ニ置カウト云ッテモ、ドウモ私ハソレハ一寸困難デハナカラウト思フ、況ンヤ實際吾ミハ此統制ノ見地カラ申シマス、斯様ナ小サイ製絲業者ガ、私ノ提案説明ノ中ニモ申上ゲタ如ク、事實上ニ於テ横濱神戸ノ間屋ニ隸屬シテ、資金ヲソレカラ借りルト云フヤウナコ

トデ、自分ノ思フヤウナ値賣リヲスルコトモ出来ズ、又隸屬ノ關係ノミデナク、資金ガ足ラナイカラシテ、投資リヲシナケレバナラヌト云フコトデ、販賣ノ統制ヲ案シ、濫賣ノ基ヲナス者ハ、多クハサウ云フ小製絲家ニアルノデアリマス、勿論稀ニハ小製絲家ノ中ニモ、資力モ十分デアリ、技術モ優秀ノ人ガナイデハアリマスマイケレドモ、ソレハ例外デアデ、大體ヲ申セバサウ云フ弊害ガ小サナ製絲家ニアル、ソレヲ矯正スルト云フコトガ此統制ノ目的デアリマスカラ、地遣絲ト輸出絲ヲ、技術的ニハッキリ區別スルト云フコトガ出来ルト致シマスレバ、今ノ近藤君ノ御話ノヤウニシテ異論ハアリマセヌガ、ドウモ吾ミノ知ル限リニ於テハ、其區別ハ出来ナイト云フ印象カラ、ドウモ先程來說明致シマシヤウナ程度デ、統制ヲ致スハ、外ハ途ガナカラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○近藤委員 ソコガ一寸提案者ノ武田君ト私共トハ意見ガ違フ點デアルノデ、武田君ノ言ハレルニハ、地遣絲ト貿易品トナル絲ト見分付ケバ之ヲ區別スルガ、見分付ケルコトガ出来ヌ位ノモノガ出ルノデスカラ、此統制ヲ圖ル云々ト云ハレルノデアリマスガ、近頃小サイ、細カイ所ノ製絲業

者カラ、貿易品ニナル優良品ガ出テ、大製絲家ヨリモ立派ナモノガ出来ルナラバ國利、國益トシテ大ニ獎勵シテヤラセネバナラヌ位ノモノデアアル、ソレヲ制裁ヲ加ヘ、壓迫ヲ加ヘテ、大キイ規模ノ大製絲家ニヤラセナクテハナラヌト云フコトハ、以テノ外ノ問題デアアル、ソレデアリマスカラ今仰シヤッタ言葉ガ、私ノ聽キヤウガ惡カッタカハ知レナイケレドモ、聽キヤウガ惡イト致シマスレバ、ソコハ意見ノ相違デアリマスカ、其意見ハ別ト致シマシテ、ドウカ提案者ニ於カレテハ、是ハ一寸私ガ勝手カモ知レマセヌガ、政府ガ假ニ細則ヲ出シテ、五十釜以下ノモノハ除外例ニスルコトガ出来ナイト仰シヤッテモ、同志即チ武田君等ノ發案者ハ、私共ノ意ノアル所ヘ、ドウカ固執セズニ御賛成ヲ願ヒタイト云フコトヲ、政府ヨリ同僚デアルカラ、同僚員デナクテモ、假ニ民政黨ノ中カラデモ、是ハ國民ノ代表タル議員ノ中カラ出テ居ルノデスカラ、此意義ヲ以テ近イ方ニドウカ御加盟ヲ願ヒタイト云フ意味ヲ以テ質問ヲシタ譯デアリマスカラ、ドウカ成ベク私ノ意志ニ副フヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス、私ハ是デ質問ヲ打止メテ置キマス

○加藤委員 土井、胎中、武田ノ三君ヨリ御

提出ニ係ル製絲業法案ニ私ハ賛成者ノ一人ニナッテ居リマスガ、實ハ永ミ旅行ヲ致シテ居リマシテ、旅行先カラ歸ッテ見マスト出来上ッテ居リマシテ、之ガ私共ノ農政會ノ總會ニ附議セラレマシタ、其際私ハ多少質問ヲ致シタイヤウナ簡條モアッタノデアリマスケレドモ、何レ茲ニ建議案トシテ現ハレルノデアルカラ、其際十分質問ヲ致シテ見タイト考ヘテ居ッタ次第デアリマス、所ガ先刻來段々提案者ノ一人タル武田君ト、其他ノ諸君トノ質問應答ヲ伺ッテ居リマスル中ニ、提案者タル武田君ノ御意見ハ、政府案ト全然之ヲ同一ニ取扱ハレテモ宜シイ、又修正其他モ若シアッタ場合ニ於テハ之ニ應諾スルニ吝ナラヌモノデアアル、斯ウ云フ意味ノ御答辯デアッタヤウニ考ヘラレマス、ソコデ議事ノ進行上之ヲ政府案ト同一ノモノトシマスル以上ハ、既ニ政府案其モノニ對シテ、其質問モ一ト通り濟ンデ、唯私ノ農林大臣ニ對シテノ質問ダケガ殘ッテ居ル譯デアリマスカラシテ、成ルベク速ニ一ツ

大臣ニ此所ニ御出席ヲ戴キタイト思フノデアリマス、併シ今負債整理組合ノ方ヘ御臨席ニナッテ居ルト云フコトヲ伺フノデアリマスガ、大體何時頃此所ヘ御出席ニナルデアリマセウカ、委員長カラ大臣ニ一ツ確

メテ戴キタイト思ヒマス

○生田委員長 一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○生田委員長 ソレデハ休憩致シマス、時間ハ後カラ申シマス

午後二時三十一分休憩

午後四時五十九分開議

○生田委員長 開會致シマス

○加藤委員 私ハ農林大臣ニ對シテ詳シク御尋申上ゲタイノデアリマスケレドモ、大分時間モ切迫シテ居リマスカラ、成ベク要領ヲ摘ンデ御尋スルコトニ致シマス、ソコデ先ヅ以テ御伺致シタイノハ武田君ノ販賣統制ニ關スル質問ニ對シマシテ、農林大臣ハ假令此案ガ貴衆兩院ヲ通過致シマシテモ政府トシテハ同意スル譯ニハ行カナイト云フ意味ノ御答辯ガアッタヤウニ承知シテ居リマスガ、左様承知致シマシテ宜シウゴザイマセウカ、先ヅ以テソレヲ一ツ御伺シタイノデス

○後藤國務大臣 其案ノ内容ニ付テノ提出者ノ御議論ナリ何ナリヲ能ク伺ッテ見ナケレバ、直チニハッキリシタ判斷ヲ此處デ申上ゲ兼ねマスルケレドモ、大體カラ申シマスレバ、マダ慎重ナル考究ト計畫トヲ要ス

ルモノアル斯ウ云フ案ガ、假ニ宜イトシマシテ、實行スル場合モアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ案ニ直チニ御同意スルト云フ事ハ出來兼ネルグラウト存ズルノデアリマス

○加藤委員 若シ同意シ兼ネル場合ガアツタト致シマスレバ、今回ハ已ムヲ得ヌト致シマシテモ、政府ト致シマシテハ販賣統制ニ關スル事ノ必要ナル事ハ兎ニ角御認メノコト、考ヘル次第デアリマスルカラ、此次期ノ通常議會マデニ、今カラ準備スレバ御提案ナサル事ガ出來ヨウト考ヘルノデアリマスルガ、其點ニ付テ農林大臣ハ如何様ニ御考デアリマセウカ之ヲ伺ヒタイノデス

○後藤國務大臣 先ニモ申上ゲマシタヤウニ、此生絲ノ販賣統制ノ機關ヲ一ツノ法人、半官半民ノ會社ノヤウナモノニ求メルトカ、或ハ當業者ノ自治的組織協定ニ依テ作り上ゲルトカ、ソレ等ニ付テモ色ミ考究スベキ問題ガアルト思ヒマス、又外國ノ關係モ深く考慮シナケレバナリマセヌ、隨テ吾ミガ此確信ノアル成案ヲ得テ議會ニ提出スル事ガ何時ニナルデアラウカト云フ、其時期ヲハッキリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、又實際考究ノ結果ハ、色ミナル大キナ難點トナリ、ソレガ却テ日本ノ蠶絲業ノ現

狀ニ即シテハ、工合ノ惡イト云フヤウナ事ヲ發見スレバ、容易ニ著手ノ出來ナイト云フ事ニナルカモ知レマセヌ、唯吾ミノ氣持トシマシテハ、銳意サウ云フ點モ、他ノ統制ノ諸政策ト併セテ考究シテ、出來ルダケ速ニ、此次ノ通常議會ニデモ出シ得ルモノガ出來マスレバ、是非モ出シタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○加藤委員 マダ武田君其他ノ諸氏ノ提案セラレタ内容ニ付テ、十分檢討ヲ致シマセヌケレドモ、吾ミノ一應拜見致シタ所デハ、餘程至難ノ所ガアリハセヌカト思フ點モアルノデアリマスルガ、兎ニ角サウ云フヤウナ事ヲ實現スルノニハ、中ミ容易ナラヌ事デアルガ、ソレヨリモ吾ミガ多年主張シテ居リマスル現物市場ヲ横濱ニ設定スルト云フ事、是ガ一番早道デアリハセヌカ、是ナラバ輸出商ト雖モ、亦問屋ト雖モ、製絲家其他ト雖モ、恐ラク之ニ反對スル者ハナカラウト思フ、縱シ假ニアツタ所デ、販賣統制案ヨリモ餘程樂ニソレヲ突破スル事ガ出來ヨウト考ヘルノデアリマスルガ、希ハクハ政府當局ニ於テハ、其販賣統制等ニ付テ御考ヘ下サルト同時ニ、併セテ此現物市場ト云フ事ニ付テ十分一ツ御考ヘ下サイマシテ、是非速ニ其實現ヲ期スルヤウ御努力

アラン事ヲ希望スル次第デアリマス
此問題ハ此程度ニ致シテ置キマシテ、更ニ御尋申上ゲタイノハ、本法ノ蠶絲業ニ影響スル範圍ハ、極メテ廣イト思フノデアリマス、單リ是ハ製絲業者ノミデハアリマセヌ、二百萬ノ蠶絲業者全體ニ及ボスベキ重大な法案デアルト考ヘルノデアリマスルガ、ソレヲ此議會ニ御提案ナサルニ先チマシテ、何故ニ日本中央蠶絲會ニ御諮問ナサラナカッタカト云フ事ヲ私ハ御尋申上ゲタイ、昨日タシカ近藤委員カト思ヒマシタガ、蠶絲局長ニ對シマシテ此様ナ質問ヲセラレマシタ、所ガ蠶絲局長ハ、元ノ中央蠶絲會ニ諮問シテアルノダカラト云フ、斯ウ云フ、意味ノ御答ガアツタヤウニ承知致シテ居リマス、成程此製絲業法案ニ付テハ、以前ノ蠶絲業同業組合中央會ニ諮問セラレタ事ハ、事實デアアル、併ナガラソレハ以前ノ事デ、其時代ト今日トドハ餘程周圍ノ事情ガ變ッデ居ルノミナラズ、中央會ガ答申ヲ致シマシタモノト、今回ノ政府ガ提案セラレマシタモノトハ、大分相違ガアル、例ヘバ釜數ノ如キ、或ハ資本ノ如キサウ云フヤウナ色ミナ點ニ於テ相違ガアリマスカラ、今日民間ノ諮問機關トモ言ッテ宜シイ立派ナ日本中央蠶絲會ト云フ團體ガ出來テ居ル

以上ハ、ソレニ對シテ一應ノ御諮問アツデ當業者ノ最近ニ於ケル意向ガドノ程度ニアルカト云フ事ヲ確メラレテ然ルベキデアルト思フ、然ルニ其事ナクシテ茲ニ直チニ此議會ニ御提案ナサルト云フコトハ、一體ドウ云フ譯デアツタカト云フコトヲ此議會ニ伺ッテ置キタイノデアリマス、尙ホ吾ミカラ考ヘルト、ドウモ此蠶絲業組合法ナルモノハ、政府ハ産ミ放シニシテ、殆ド繭子以上ノ取扱ヲシテ居ルヤウニ思ハレル、ソレハ本會議ニ於テモ申上ゲタノデアリマスガ、是ガ施設運用ト云フコトニ付テノ費用サヘモ計上セズニ、是等ニ對シテ何等ノ助成モシナイ、サウシテ法律ニ依テ組織セラレタ團體ニ對シスウ云フヤウナ重要法案ヲ何等ノ諮問モシナイト云フヤウナコトデアリマス、サレバ、何ガ爲ニ蠶絲業組合法ナルモノヲ五十九議會ニ於テ、咄嗟ノ間ニ之ヲ通過セシメナケレバナラナカッタト云フコトヲ、今日ニナツテ之ヲ疑ハザルヲ得ナイヤウナ次第デアアルノデアリマス、此點ニ對シマシテ農林大臣ハ一體ドウ云フ御考デアアルカ、併セテ其點モ一ツ御伺ヒヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス

○後藤國務大臣 製絲業法ノ提案ニ先ダッテ、中央蠶絲會ニ諮問ヲシナカッタノハドウ

テ、中央蠶絲會ニ諮問ヲシナカッタノハドウ

難點トナリ、ソレガ却テ日本ノ蠶絲業ノ現

場ト云フ事ニ付テ十分一ツ御考ヘ下サイマシテ、是非速ニ其實現ヲ期スルヤウ御努力

ナ日本中央蠶絲會ト云フ團體ガ出來テ居ル

テ、中央蠶絲會ニ諮問ヲシナカッタノハドウ

云フ譯カト云フコトデゴザイマスガ、是先ニ殆ド實體ヲ同ジウスルト考ヘラレマス、蠶絲業同業組合中央會ニ諮問ヲ致シマシテ、其答申ヲ得テ居リマス、大體其趣旨ニ近イ法案ガ出來テ居リマス、ソレハ既ニ

央會ヘノ助成等モ致サウト考ヘテ居ルノデアリマス、デ今後ニ於キマシテモ、蠶絲業關係ノ組合ノ進歩發達ニハ、出來ル限りノ努力ヲ拂ヒタイ、之ヲ重要ニ考ヘテ行キタイト思ッテ居ルノデアリマス

○加藤委員 現ニ本案ニ對シマシテハ、養蠶家ヲ代表致シテ居ル多數府縣ノ聯合會長

ノガ出來テ居ルノデハナйкаト云フ御話デアリマスガ、正式ニ中央蠶絲會ニ諮問ハ今回ハ致シマセスケレドモ、中央蠶絲會ノ意嚮ノアル所モ、略々確メ得テ居ルト思ッテ

ガ先般集マリマシテ、極力之ニ反對ノ意思サヘモ現ハシテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ是ガ中央蠶絲會ニデモ御諮問ニナリマシテ、政府ノ提案セラレル意思ノ存スル所ガ能ク分ッテ居リマスナラバ、左様ナコトモナカッタデアラウト私ハ考ヘル次第デアリマス、兎ニ角サウ云フヤウナ次第デアリマス、ソコデ只今承ル所ニ依リマスレバ、

後段ニ御話ノアリマシタヤウニ蠶絲業組合法ヲ出シテ、蠶絲業ノ關係組合ノ働キニ付テハ、一向力ノ入レ方ガ足ラスデハナйкаト云フコトデアリマスガ、吾ミノ趣旨ト

此組合團體ニ對シテ、多少ナリトモ物質的ノ助成ヲ致スベク、追加豫算ニモ之ヲ計上シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、洵ニ其御趣意ノ存スル所ハ之ヲ諒ト致シマスルガ、併ナガラ此團體ガ十分ノ活動ヲ致シマスルノニハ、彌ガ上ニモ政府ノ一層ノ御助成ヲ戴カナケレバ、十分ノ働キノ出來ナイ事ハ明ニ分ッテ居リマスカラ、尙ホ通常議會迄ニハ、此點モ篤ト御考慮下サイマシテ、十二分ニ活動ノ出來マスルヤウニ御助成アラムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、次

ニ御伺申上ゲタイノハ、本案ヲ見マスト云フト、第一條ヲ初メ、命令ヲ以テ規定スルトカ、命令ヲ以テ之ヲ定メルト云フヤウナ工合ニ、總テヲ命令ニ讓ラレテ居ルノデ、一寸之ヲ何箇所アルカト勘定シテ見ルト、

十一箇所命令ノ文字ヲ使ッテ重要ナ事柄ハ悉ク命令ニ讓ッテアル、僅カ十一條カラ出來テ居ル所ノ此法律案ノ一條毎ニ命令ガアルカト思フヤウニ、數多ク命令ニ之ヲ讓ッテ居ラル、ト云フコトハ、一體ドウ云フ譯デアラウカ、吾ミカラ之ヲ見ルト云フト、

何モ命令ニ讓ラナクトモ、本法ニ規定セラレテ然ルベキモノガ澤山アルヤウニ考ヘテ居ル、ソレヲ皆命令ニ讓ッテ居ル、之ヲ敢テ惡ク解釋スル譯デハアリマセヌガ、政府當局ガ狡ク考ヘテ、面倒ナ事柄、或ハ又他日自分等ガ意ノ儘ニ致シタイト云フヤウナ事柄ハ、皆之ヲ命令ニ讓ッテ居ルノデアルト、斯様ニモ推測スルコトガ出來ルノデアリマシテ、殆ド本案ノ骨子トスベキ重要ノ點ハ、悉ク政府ノ掌中ニ其權力ヲ收メテ居ルヤウニ思ハレル、サウシテ見マスト詰リ

本法ガ此議會ヲ通過致シマシタ後ニ於テ、即チ一ツノ完全ナル法律トシテ施行セラレタ以後ニ於ケル、我國ノ製絲業者ト云フモノハ、殆ド活殺ノ大權ヲ政府ノ手ニ握ラレ

テシマツテ、殺サレヤウガ活サレヤウガ、モウ政府ノ考一ツデアルト、斯様ニモ取レルノデアリマス、シテ見ルト、本案ノ如キハ極論スレバ國家社會主義者ノ唱フル所ノモノヲ其儘此處ニ實現シテ居ルカノ如ク考ヘラレル、後藤農林大臣ハ、國家社會主義ヲ御認メニナツテ斯様ナ法律案ヲ提出サレタノデアリマスガ、其邊ノ所ヲ一應御尋ヲ致シテ置キタイ

○後藤國務大臣 本案ニハ命令ト云フ文字ガ、御説ノ通り澤山出テ居リマスルガ、主トシテ御懸念ヲ御持チニナルノハ、第一條、第二條及附則ノ命令デアラウト思ヒマス、此第一條ノ如キハ、ヤハリ原則ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、一條ノ一項、二項トモ、其例外ニナルモノヲ現ハス場合ニ命令ニ讓ラウト致シテ居ルノデアリマス、製絲業ノ業態モ、色々今後ノ變遷モアリマセウシ、只今ノ事情ニ即シテ考ヘタコトガ、他日又變ヘナケレバナラヌコトモ起ルデアリマセウ、決シテ當局者ガ自由勝手ガ出來ルト云フ意味デハナク、原則ニ例外ヲ付ケル、狭イ意味ニ於テノ命令ノ自由ヲ法律ニ存シテ置カナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、殊ニ又命令ニ依テ、頗ル細カイコトモ場合ニ依テ定メナケレバナラヌコトモ

第六類第三號 製絲業法案委員會會議錄 第三回 昭和七年八月三十日

二九

アリマスノデ、之ヲ一々法律ニ現ハス譯ニ行カナイト考ヘタカラデアリマス、別段ニ特別ニ何トカ指導精神ヲ特ニ立テ、此法案ヲ作ッタト云フヤウナ譯デハゴザイマセヌ

○加藤委員 本案ノ提出ノ理由ニ付キマシテ、農林大臣ハ本會議ニ於テモ御説明ニナリ、又私ノ質問ニ對シマシテモ、其他ノ同僚諸君ノ質問ニ對シテモ、同様ナル御答ヲ繰返サレテ居ルノデアアルガ、即チ本會議ニ於ケル本案ノ御説明中ニ、大小ノ企業ガ濫立シテ居ル、就中小規模ノ工場ガ濫立スルト云フコトハ、甚ダ宜シクナイト、斯様ニ仰シヤッテ居ル、ソコデ私ガ伺ヒタイノハ、此製絲ニ於ケル大企業ト云フノハドノ位ノ程度ヲ大企業ト謂ハレノデアアルカ、又小企業ト謂ハレノハドノ位ノ程度ヲ小企業ト謂ハレノデアリマスカ、此間ノ大臣ノ御説明カラ言ヒマス云フト、百五十釜、是ガ即チ限度ノヤウニ思ハレハ、百五十釜以上ガ即チ大企業デアリ、百五十釜以下ガ小企業ノヤウニ思ハレハ、而シテ百五十釜ヲ限度トシテ經營スルノガ、即チ是ガ理想的ノヤウニモ御話ガアッタ、即チ私ノ質問ニ對シテ、是ガ理想的云々ト云フ御答ガアッタデアリマスルガ、此邊モ一應農林大臣ノ御意見ノ在ル所ヲ承ッテ置キタイ

ト考ヘル次第デアリマス

○後藤國務大臣 大體御話ノ通りデアリマス、只今ノ製絲業ノ現狀ニ於キマシテハ、先ヅ百五十釜ト云フ所ガ見當デアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ百五十釜以上ガ大企業ダトハ必シモ言ヘマセヌ、百五十釜ハ合理的ナ器械製絲ノ工場トシテノ最モ下ノ境ニ近イモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 左様致シマス云フト、百五十釜以上ナラバ、釜數ノ多イ程合理的デアルト云フ事ニナルノデアリマスカ

○後藤國務大臣 必シモサウトハ考ヘマセヌ、ドレ程ノ釜數ノ所ガ現狀デ一番合理的ニ經營スルコトガ出來ルカト云フコトハ、判斷スル事ガ容易デアリマセヌ、先ヅ百五十釜位デアレバ、合理的ノ經營ヲスルノニ極メテ不便ノ少イモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 サウスルト詰リ百五十釜ガ標準デアリマシテ、ソレガ即チ一番合理的デアアル、斯様ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○後藤國務大臣 ソレガ一番合理的ダト申スノデアアリマセヌガ、合理的經營ヲ爲スニ堪ヘ得ル、先ヅ下ノ方ノ境デハアルマイカ、其他ノ企業ニ於テモ、小規模ノモノニ

致シマシテモ、共同施設其他ノ事ヲヤリマスレバ、合理化シタ仕事ヲヤルコトガ出來ルデアラウガ、併シ單一ノ工場ノヤウニ行キマセヌデセウシ、ソレデ現在アル百五十釜以下ノモノ、救済モ、相當ナ辦法ヲ茲ニ考慮シテ居ルノデアリマスガ、併シ先ヅ今後出來ルモノニ付キマシテハ、百五十釜ト云フ所ガ、合理的ノ經營ノ出來ル、只今ノ製絲業ノ狀況ニ於テハ下ノ境ニ相當スルモノデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○加藤委員 ドウモ私ノ頭ノ悪い爲カ、能ク御説明ノ趣旨ガハッキリ致シマセヌ、合理的ト云フヤウナ御言葉ヲ御使ヒナサル以上ハ、詰リ此釜數ガ色ミアル、色ミアルノデアルカラシテ、百五十釜ガ一番合理的デアアルカドウカ、若シソレガ合理的ノ一番下ニ近イトスルナラバ、其上ガアルニ違ヒナイガ、其上ノ幾釜ガ合理的デアアルカ、大臣ノ御考ナサル合理的施設デアラナラバ——無論比較のデアリマス、比較的是ガ一番理想的デアリ、一番合理的デアルト云フ、此點ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 當局ノ者ノ考デハ百五十カラ三百位ノ間ガ只今ノ製絲業ノ狀況ニ於テハ合理的ニ爲スニ都合ノ好イ規模デアルト見込シテ居ルノデアリマス、併ナガラソ

レ以上ノ工場ニ於テモ、亦資本ノ大キイ事、又設備ノ共通のニ出來ル事ニ依テ、他ノ點ニ於テ合理的ナ程度ノ高イモノトシテ維持シテ行クコトモ出來ルデアラウト思ヒマスケレドモ、今ノ現狀デ、大體或ル工場ヲ見渡シマス云フト、百五十カラ三百位ト云フ所ガ工合ノ好イ工場ノヤウニ思ハレルノデアリマス

○加藤委員 濫立ト云フコトヲ屢、仰シヤルガ、此濫立ト云フコトハ定メシ數字ノ上カラ見テ仰シヤルコト、思フノデアリマシガ、大臣ノ御言葉カラ考ヘルト百五十釜カラ三百釜ノ範圍ニアル製絲場ハ濫立デハナクテ、其以下ノモノハ詰リ濫立ト云フ風ニ解釋サレルノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 百五十釜ト云フ一應ノ基準ヲ置キマシテ、新タニ出來ルモノヲ統制致シマスレバ、サウ澤山ナ工場ガ續々ト起リ得ルト云フ譯ニハ參ランデアラウ、相當ナ資金ヲ要スルノデアリマスカラ、隨テ製絲工場ガ濫立スルコトヲ阻止スル事ガ出來ル、斯ウ申スノデアリマス、百五十釜以上ノモノハ、幾ツ出來テモ濫立デナイト云フノデアアリマセヌ、ソレガ無暗ニ出來レバヤハリ濫立デアリマスルケレドモ、其邊ニ基

準ヲ置イテ統制ヲシテ參リマスレバ、濫立ガ相當ニ防ゲルデアラウト云フ趣旨デアリマス

○加藤委員 ソレハ未來ニ屬スル事デアリマス、詰リ此提案ノ趣旨ノ辯明ニ、大小ノ企業ガ濫立シマシテ、就中小規模ノ工場ガ甚ダ多數ヲ占メテ居ル、詰リ小規模ノ工場ノ濫立ト云フ事ノ意味ガ茲ニ現ハレテ居ル、ソコデ私ハ大臣ノ仰シヤル大企業トカ小企業トカ云フコトハ、何處ガ標準ニナルノデアルカト云フコトヲ御尋ネ申上ゲタ、所ガ百五十釜カラ三百釜ト云フ御話デア、サウスルト詰リ濫立ト云フ事ハ、即チソレ以下ノモノガ詰立ト云フ事ニナルヤウニ思ハレルガ如何デアリマセウカ

○後藤國務大臣 當局カラ實際ノ計數ヲ申上ゲテモ宜シイノデアリマスガ、百五十釜カラ二百釜マデノモノニ濫立或ハ濫廢ト申シマスガ、起キタリ倒レタリト云フ事ノ非常ニ數ガ多イノデアリマス、詰リ此邊ニ無統制ニ起キテハ倒レテ行クト云フ弊害ガ多ク存シテ居ルト云フコトヲ事實上認メラレノデアリマス、百五十釜以上ハ、ソレ程起伏常ナキト云フコトニハ參ラナイ、此事實ヲ推シマシテ、百五十釜ト云フコトヲ立ッテ譯デアリマス

○加藤委員 定メシ詳細ナル御調査モアルコト、思ヒマスルガ、私共ノ頂戴シマシタ製絲業ノ免許制度ニ關スル參考資料ヲ拜見スルト、大正十四年度カラ昭和六年迄ノ七箇年ノ間、農林省ニ於テ御調査ニナッタノガアリマスガ、ソレニハ十釜カラ五十釜マデ、此ノ間ニ出來タ工場數ガ二百九十、五十釜カラ百釜マデガ二百十二、百釜カラ三百釜マデガ二百十一、三百釜カラ五百釜マデガ三十四、五百釜カラ七百釜マデガ六、七百釜カラ千釜マデハ増減ガナイ、千釜以上ハ三個減少シテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナッテ居リマス、ソコデ此間ニ於ケル新工場ノ出工合ヲ調べ見ルト、今大臣ノ理想的デアルト仰シヤッタ百五十釜前後ノ工場ニ中ニ新設ガ多イノデアリマス、即チ只今申シマシタ統計ニ依リマス、百カラ三百位マデ新設工場ガ二百十一出來テ居ルカラ、之ヲ十釜カラ五十釜ノ新設工場ニ較ベマシテモ僅ニ七十九箇ノ違ヒニ過ギマセヌ、而シテ五十釜カラ百釜マデノ二百十二ニ較ベテ見テモ、僅ニ七十八ノ違ヒニ過ギナイノデアリマス、斯様ナ數字ニ依テ見ルト詰リ大臣ノ理想トセラル、所ノ釜數デモ、新工場ガ濫立ヲシテ居ルト申サネバナリマセヌ、ソレヲ濫立ト言ハナイデ百五十

釜以下ノモノヲ濫立ト仰シヤルノガ、吾ミニハ殆ドソレガ分ラナイ、新設工場ノアルト共ニ廢業工場モ相當アルニ相違ナイ、其數ハ私共ニハ分ッテ居リマセヌケレドモ、出來タ數カラ考ヘテ見ルト、恐ラク廢業ノ數モサウ大差ハナイモノト思フ、此起伏興廢ト云フモノハ、必シモ百五十釜以下ニノミ多イトハ言ヘナイ、ソレヲ百五十釜以上ノモノニハ濫立ガナイ、ソレ以下ハ濫立ダト云フヤウナコトヲ斷定的ニ仰シヤルヤウナ心持ガスルノデアリマス、是ハ一體ドウ云フ譯デアリマセウカ

○入江政府委員 數字ニ互リマスノデ私カラ御答致シマスガ、大體大臣ガ御答ヘニナリマシタ通りデアリマシテ、昨日モ私此點ニ付テ一寸申上ゲタト存ジマスガ、百五十釜以下ノ工場ニ於キマシテハ、統計上ニ示ス點ニ於キマシテ新設並ニ休廢ト云フ上ニ於キマシテ、非常ニ多イノデアリマス、御手許マデ差上ゲテアル表ノ中ニモゴザイマスガ、假ニ昭和六年ヲ申上ゲマス、百五十釜以下ノ工場ニ於キマシテ百四十四、ソレガ新設ノ方デゴザイマス、ソレカラ百五十釜以上ノ方ニナリマス、極ク僅カデアリマシテ九ツシカナイ、ソレカラ今度ハ廢業ヲシタ方ハドウ云フ風ニナッテ居ルカト

申シマス、昭和六年ニ於テ廢業致シタモノガ百五十釜以下ノモノハ百七十六、百五十釜以上ニ付テハ十七、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、サウ云フ風ニ著シク百五十釜ヲ境ト致シマシテ違ヒガアリマス、是カラ見マス、十釜以上五十釜ニナルトモット甚シイ、百七十六ノ中デ休廢致シマシタモノガ百五十五、斯ウ云フ事ニナッテ居リマス、是ガ即チ先程來申上ゲテ居リマス製絲業ノ工場ノ濫立サレルト云フ事デ、是ガ爲ニ被ル養蠶家ノ損害等モ著シイモノデア、斯ウ云フ事情デアリマシテ、其他昨日一寸申上ゲテ置キマシタガ、或ハ輸出検査ノ上ニ於ケル不合格ノ場合ガ多イトカ云フヤウナ事モアリマス、左様御諒承ヲ願ッテ置キマス

○加藤委員 ソレハ一昨年ヤ昨年、若クハ本年ヲ其例ニ御取リニナルノハチト無理ダト思ヒマス、何故カト云フト、御承知ノ通り一昨年來非常ナ不況ニ遭遇致シテ居ル、斯ウ云フ時ニ於テハ、片ツ端カラドン／＼倒レルノハ當リ前ノ話デ、何モ濫立ノ結果トハ言ヘナイ、濫立シタカラサウ云フモノガ潰レルトハ言ヘナイ事情ガアル、其事情ハ何デア、カト云フト、經濟上ノ關係、モット端的ニ言ヘバ資本ノ關係デアルト私ハ考ヘル、併ナガラ政府當局ハ單ニ資本ノ

關係ノミデハナイ、濫立ノ結果ダ、此濫立ノ結果ハ資本ノミノ關係デハナクシテ、經營上ノ關係ガアルト御認めナラバ、其邊モ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○入江政府委員 是ハ昭和六年ノ統計ヲ申上ゲタノデアリマスガ、私共持ッテ居リマス表ノ昭和三、四、五、六年度ヲ比較致シマスト昭和三年ニ於テハ、モット多イノデアリマス、サウ云フ風デアリマシテ、勿論今御述べニナリマシタヤウナ工場ヲ經營致シマスニハヤハリ資本ノ點ニ於キマシテ非常ニ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルト考ヘマス、隨テ小サナ工場ニ於キマシテハ、資本モ割合ニ少イカラ、言換ヘレバ百五十釜以上ノモノニ比較スルト少イカラ、出來ルノモ早イ、併シソレハ無理ヲシテヤル爲ニ、高イ利子ノ金ヲ借リル、ソレガ偶々今日ノヤウナ状態ニナッテ、絲ノ値段ガ下ッテ來ル爲ニ、經營上ニ於テ高利ヲ借リテ居ル關係上旨ク行カナイ、是ハ私共ノ方デ四年毎ニ工場ノ實態調査ヲ致シテ居リマスガ、之ニ基キマシテモ、工場ノ經營ヲ合理化シナケレバナラスコトヲ痛切ニ感じテ居リマス、是ガ只今申シマシタ百五十釜以下ニ殊ニ多イ、隨テ將來製絲工場ト云フモノガ出來マサル場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ合理

的ナモノヲ拵ヘサセル、サウシテ養蠶家ノ迷惑ニナラナイヤウニト、斯ウ云フコトニ基準ヲ置イタ次第デゴザイマス

○加藤委員 昭和六年バカリデナク、昭和三年モ中ニ酷イ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ御承知ノ通り昭和二年ノ銀行ノ「パニック」ノ影響デアリマシテ是モ因ッテ來ル原因ガアル、サウ云フ特殊ノ事情ヲ以テ、左様ナ事ヲ仰シヤルノハ少シク御無理ト考ヘルノデアリマス、ソレハソレト致シマシテ、今經營ヲ合理化云々ト云フ御話デアリマスガ、サウスルト百五十釜以上ナラバ其經營ハ合理的ニ行ッテ居ル、デアルカラシテ、營ニ資本關係ノミデナクシテ、サウ云フヤウナ經營組織ガ合理的ニ行ッテ居ルカラ倒レルモノモ少イ、ソレガ百五十釜以下ニナルト、割合ニ合理的ニ經營ガ出來テ居ラナイカラ倒レルモノガ多イ、斯ウ云フ風ナ御説明ノヤウニ伺ヒマシタガ、其點ハ如何デゴザイマスカ

○入江政府委員 私ガ申上ゲマシタノハ大體ニ於キマシテ、基礎ガ安定シテ、サウシテ恆久性ヲ持ッテ居ルヤウニスルニハ大體百五十釜見當カラ三百釜位ノモノガ最モ良イデハナカラウカ、勿論今御話ノヤウニ、百五十釜以下ノ工場ニ於キマシテモ、最モ

優秀ナ工場モ見受ケラレマス、或ハ三百釜以上ノ工場ニ於キマシテモ、相當優秀ナ工場ガアルノデアリマス、併シ今日製絲業ノ實際ノ狀況ヲ見マス、大體ニ於キマシテ大キナ製絲工場ニ於キマシテモ、釜數ニ於テハ百五十カラ三百位ノモノヲ單位ニシテ、斯ウ云フ實際上ノ經驗ニ基イテヤッテ居ル方ニ於テモ、サウ云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フ色モノ點カラ考ヘマシテ、百五十釜ガ最モ合理的デアルト考ヘタ次第デアリマス

○加藤委員 餘リムヅカシイ事ヲ言フコトヲ止メマシテ、詰リ百五十釜乃至三百釜マデト云フモノハ、是迄ノ例ニ依レバ合理的ニ一番ヨクヤッテ居ル、其他ハ比較的惡イモノガ多イ、デアルカラシテ詰リ百五十釜以上三百釜ノモノハ合理的デアルト云フコトニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○入江政府委員 左様デゴザイマス

○加藤委員 ソコデ伺ヒマスガ、農林省ニ於テ調査ヲヤラレタ四年、五年ノ兩年度ニ互ッテ、少カラザル費用ヲ投ジテ御調査ニナッタ實態調査ガアル、之ヲ拜見シマスト云フト、中ニ政府當局ノ仰シヤルヤウナモノデハナイ、即チ百釜未滿、ソレカラ百釜乃至百五十釜、百五十釜乃至二百釜、二百

釜乃至二百五十釜、二百五十釜乃至三百釜、三百釜乃至五百釜、五百釜以上、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、サウシテ總工場數四百七十二ニ付テ御調査ニナッテ居ル、ソコデ此調査ノ内容ヲ申上ゲマス、一釜當リノ建坪數、購入原料ノ繭代、一釜當リノ生絲生産高、一年間一日平均、ソレカラ副産物、生産高百斤ニ對スル生絲販賣價格、百斤ニ對スル生絲生産費、百斤ニ對スル借入金ノ金利、此項目ニ別ケテ御調べニナッテ居ルノデアリマス、一々數字ガ此處ニ擧ッテ居リマスカラ、之ヲ讀ムト一番ハッキリシマスガ、時間ガアリマセヌニ依テ、之ヲ止メマス、之ヲ見ルト云フト、百釜未滿ノ製絲工場デアリマシテモ、百釜以上ノ製絲工場ト、別ニ大シタ變リハナイ、一長一短、兩方トモ同ジヤウナモノデアル、即チ百五十釜以上三百釜以內ト云フノガ理想デアルト云フコトヲ特ニ指摘シ得ルモノガナイ、若シアルナラバ承リタイ、是ハアナタ方ノ方ノ御調デアル、此御調ニ依テ見レバ、一長一短デ、略々同様な成績デアル、ソレヲ百五十釜以上三百釜以內ガ一番合理的デアルトカ、理想的デアルトカ、之ニ依テ基準ヲ定メルト云フコトハ、ドウ云フモノデアリマセウカ、此點ガドウモ承知出來マセヌ

ノデアリマス

○入江政府委員 工場ノ實態調査ノ點ニ付

キマシテ私共ノ差上ゲマシタ材料ニ基キマシテ御述ベニナリマシタガ、其通りデゴザイマス、唯其點カラ私共考ヘマスルノニ、勿論之ヲ以テ全般ヲ推シテ、正確ナモノデアルト云フコトモ言フ譯ニハ行カヌト存ジマス、何故カナラバ、調査致シマシタ工場數ト云フモノハ、昭和四年ニ四百八十二、昭和五年ニ三百六十七、斯ウ云フ大體ノ見當ヲ付ケテヤリマシタノデス、ソレヲ以テ全般ヲ推スト云フコトハ非常ニ困難カト思ヒマス、併シ調査致シマシタ所カラ、大體斯ウ云フ點ハ窺ハレルガラウト思ヒマス、昭和四年度ニ於キマシテ、假ニ百釜未滿ノ工場ニ付テ、利益ニナッテ居ルカ、損ニナッテ居ルカト云フコトヲ大體調ベテ見マス、假ニ百釜未滿ノ工場百十九ニ付イテ見ルナラバ、利益ノ工場ハ僅ニ七、利益デナイ工場ハ百十二ト云フ風ニナッテ居リマス、ソレカラ昭和五年度ニ於キマシテモ、百釜未滿ノ工場百三十八ヲ調ベテ見マスルト、利益ノモノガ四十八、利益デナイノガ九十、斯ウ云フヤウナ割合デアリマス、勿論調ベタ工場ノ如何ニ依リマシテ、何ト申シマスカ、利益ノナイ所バカリヘ行ッタト

云フコトニナルカモ知レマセヌガ、サウ云フ狀態カラ見マス、大體ノ觀察ハ出來ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ餘程加藤サ

ンノ方ガ私ヨリモ能ク御存ジノコト、存ジマスノデ、申上ゲル必要モナイカモ知レマセヌガ、大體相當ノ規模及ビ資本ヲ有シテ、相當ノ經營者ガアルト云フ工場ニ於テコソ、初メテ合理的の經營ガ出來ルノデヤナカラウカ、隨テ小サイモノガ總テ惡イト云フコトハ申上ゲマセヌ、只今ノヤウナ色ミナ點カラ考ヘテ見マシテ申上ゲタノデアリマスガ、殊ニ輸出致シマスル場合ニ於キマシテハ、一荷口千斤トナッテ居リマス、之ヲ百五十ノ工場ニ致シマス、一箇月三回平均、サウスルト年ニ三十六回シカ出來ナイ、僅ニソレ位ノモノデアリマス、ソレガ五十釜、或ハ二十トカ三十トカ云フコトニナリマス、一荷口千斤ノ生産モナイト云フ譯デアリマス、サウスルナラバ、輸出檢査ノ上ニ於テ、荷物が不揃アル、斯ウ云フ結果ニ陷ルノデアリマス、サウ色ミナ點カラ綜合シテ考ヘマシテ、大體ニ於テ百五十釜位ヲ見當トスルナラバ、誤リナカラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマスノデ、決シテ其以外ニ良イ工場ガナイトカ、惡イ工場ガアルトカナイトカ言ッタノデナク

テ、大體ノ標準ヲ付ケタ次第デゴザイマス

○加藤委員 只今局長ノ御説明ニ依リマス

ト云フト、成程實態調査ノ成績ハソレニ間違ナイ、ケレドモ昭和四年ニ於テハ、四百七十二デアルト云フヤウナコトヲ仰シヤツテ、ソレニ依テドウモ全般ヲ推測スル譯ニ行カナイ、斯ウ云フ御話デアル、一體百五十釜以上三百釜以内ト云フヤウナコトハ、何ヲ標準トセラレタカ、只今千斤云々ノ御話モアリマスケレドモ、ソレデハ私ハ小サナ工場其モノガ、荷口ガ纏ラナイカライケナイト云フ風ニ解釋ヲセナケレバナラヌコトデアリマスガ、假令小サナ工場ト雖モ、方法ニ依テ荷口ヲ纏メ得ラレルト思フ、唯一製絲工場デ之ヲ求メルト云フコトハ困難デアリマセウ、併ナガラ豫テ御話ノアリマシタ如ク、共同輸出ノ方法ニ依テ、必ズ荷口ト云フモノハ纏メ得ラル、ニ違ヒナイ、經營主ノ如何トカ、資本ノ如何ト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、是ハ大キナ製絲工場デアリマシテモ、小サナ製絲工場デアリマシテモ同ジコトデス、却テ私ハ大キナ製絲場ヨリモ、小サナ製絲場ノ方ガ、眞面目ニ實際的ニ之ヲヤル上ニ付テハ效果ガ寧ロ大規模ノモノヨリモ宜シイト考ヘテ居ル譯

ナンデアリマス、デスカラ百五十釜ト云フヤウナコトヲ標準ニ爲サル根據ガ、非常ナ不確實デアルト言ハナケレバナラナイ、此實態調査ニ依テオヤリナサッタナラバ、マダ宜イケレドモ、是ハ僅ニ四百七八十ノ工場ニ付テ調ベタモノデアルカラ、ソレハ標準ニスル譯ニハ行ナカイ、唯一の一般的カラ考ヘテ、人物ノ如何、資本ノ如何、ソレカラ經營方法ノ如何、其荷口ガ如何ト云フ様ナコトカラ推測シテ、百五十釜位ガ宜カラウカト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、是ハ

洵ニボンヤリシタ話ナンデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、寧ロ私ハサウ云フヤウナ大キナ所ニ標準ヲ置カナイデ、小サナ所ニ標準ヲ置イテ、サウシテ之ヲオヤリナサルト云フコトガ本當デヤナカラウカ、殊ニ日本ノ蠶絲業ト云フモノハ、豫テ申上ゲマスルヤウニ大製絲工場ガ果シテ日本ノ蠶絲業ノ爲ニナッタカ、小製絲工場ガ日本ノ蠶絲業ノ爲ニナラナイカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、吾ミハ大ニ疑ナキヲ得ナイ、農林當局モ既ニ御承知デアリマセウガ、最近ニ於キマシテ、吾ミノ調査ニ依テ見マスルト云フト、山十製絲、石川組、小口組、山丸製絲、信越製絲、長野製絲、既ニ廢業シタカ、又將ニ廢業セントスルヤウナ狀態

ニアルモノ、斯ウ云フヤウナ大製絲工場ガ
澤山アル、是等ノ釜數等ヲ調べ見ルト、
中ミ多イ、山十ノ如キハ一萬四千五百五
九、石川組ハ二千九百五十七ニナッテ居ル、
小口組ハ七千七百七十五ニナッテ居ル、山丸製
絲ハ三千七百四十四ニナッテ居ル、長野製
絲ノ如キハ一千一百十八ニナッテ居ル、信越
製絲ノ如キハ五百六ニナッテ居ル、斯ウ云
フヤウナ大製絲家ガ倒レタ場合ニ於テ、其
世ノ中ニ與ヘル損害、迷惑ト云フモノハ、
到底小製絲家ガ百戸二百戸倒レタ以上ノ損
害、迷惑ヲ與ヘテ居ル、サウ云フヤウナ實
情カラ考ヘテ見マスルト云フト、大製絲ヲ
獎勵スルト云フコトヨリモ、寧ロ小製絲ヲ
獎勵スル方ガ宜シイ、小製絲ヲ獎勵シテ荷
ロヲ纏メル途ガナケレバ是ハ別問題デア
ル、ケレドモ荷ロヲ纏メル途ガアルニモ拘
ラズ、何ヲ好ンデ大製絲ヲ獎勵ナサルカ、實
際上カラ考ヘテ御覽ナサイ、五十釜、百釜
ノ方ガ、ドレダケ宜イカ分ラナイ、越後ニ
於ケル鈴木製絲場ノ如キハ百二十釜ノ時代
ニ於テハ、全國ニ於ケル有數ナ模範工場デ
アッタ、ソレガ長岡製絲ヲ合併シテ二百五
十釜ニシマスツイケナイ、サウシテ既ニア
レダケノ大ボロヲ出シテ居ル、三百萬圓カ
ラノ負債ヲ拵ヘテ、昨今其整理ニ苦ンデ居

ルト云フヤウナ狀態ニナッテ居ル、是ハ大
規模ニシタバカリナシナル、今農林大臣
ノ仰シヤル百五十釜以上三百釜以内、理想
ニ近イ二百五十釜ニシタノデアル、其百五
十釜以上三百釜以内ニシタガ、アノヤウナ
狀態ヲ呈シテ居ル、シテ見マスルト云フ
ト、詰リ農林當局ガ將來標準トセラル、所
ノ百五十釜云々ハ、何等ノ根據ガナイモノ
ト言ハナケレバナラス、唯簡單ニ之ヲヤラ
レタモノト言ッテモ宜シイ、サウ云フ薄弱
ナモノヲ根據ト致シテ、サウシテ此重要ナ
ル製絲業法案ヲ實施セラレルト云フコト
ハ、是ハ危險千萬ト言ハナケレバナラス、
此點ニ付テ私ハ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○後藤國務大臣 當局ノ今日迄調査シマシ
タ所ニ依リマスレバ、百五十釜ト云フ所ヲ
大體基準ニスルコトガ適當デアラウ、此法
案ノ施行ニ當ッテ、新タナル免許ニ對シテ
此邊ヲ基準デ行カウト考ヘテ居リマスガ、
段々御説モアリマスノデ、吾ミガ若シ思ヒ
及バナイ點ガアリマスレバ、此法律ノ實施
ニ當ッテ基準ヲ定メル上ニ篤ト考究シテ見
タイト思ヒマス、只今ハ大體百五十釜ト云
フコトヲ基準トシテ差支ナイカト考ヘテ居
リマス

○加藤委員 幾度伺ッテモ同様ナ御説明デ
アリマシテ、甚ダ私ハ不満足デアリマス
ケレドモ、此問題ニ付テハ此程度デ止メマ
ス、只返ヘスモ申上ゲテ置キマスガ、
大製絲家必シモ有利デハナク、又小製絲家
必シモ不利デハアリマセヌカラ、此點ニ付
テハ篤ト御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、一
體此釜數ト云フコトガ洵ニ當テニナラヌト
云フコトハ、昨日モ私ガ蠶絲局長ニ申上ゲ
マシタ、一釜デアリマシテモ一口カラ三十
口マデアル、斯ウ云フヤウニ多數ノ口數ノ
アルモノニ對シテ、漠然ト釜數ヲ標準ニ置
クト云フコトハ、其當ヲ得ナイト思ヒマ
ス、隨テ生絲生産量ニ於テモ、口數ノ多イ
モノト少ナイモノデ差ガアル、全國平均カ
ラ云フト、百五十釜ト申シテ居リマスガ、
多イモノハ四百四十釜モ繰ルヤウナ次第デ
アリマスカラ、釜數ヲ標準ニスルコトハ
誤ッテ居ルト思フ、此事ニ付テ局長ニ御伺
ヒシマス、成程サウダケレドモ、監督ス
ル上ニ於テ、一人ノ工女ガ三釜監督セヤウ
ト四釜監督セヤウト、其釜數ノ多少ハ言ハ
ナイ、即チ一人ノ工女ガ監督シ得ルモノヲ
一釜ト見做スト云フ御説明ガアツヤウニ
承知シテ居ル、併シ是ハ如何ニモ間違ッタ考
ダト思ヒマスガ、是ハ洵ニ重要ナコトデア

リマスカラ、私ノ聴キ誤リカモ知レマセヌ
ガ、此際局長カラ改メテ御答ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○入江政府委員 私ノ申上ゲタノハ、大體
ニ於テ一人ノ繰絲者ニ對スルモノヲ一釜ト
見マシタ、一人デ三釜モ四釜モ監督シテ居
ルト云フノデハアリマセヌ、只今ノ大體ノ
狀況カラ見マス、今ノ生産能力ト云フモ
ノヲ考ヘマスレバ、サウ大差ハナイ、故ニ將
來非常ニ器械ガ發達シテ、澤山ノ生産ラス
ルヤウニナレバ、其場合ニ於テハ相當考慮
スベキ問題デ、施行細則ノ上ニ於テモ考ヘ
ナケレバナラスト云フコトヲ申上ゲタ次第
デアリマス

○加藤委員 此問題ハ此程度ニシテ置キマ
ス、更ニモウ一ツ、極メテ重要ナコトヲ
伺ッテ置キマス、蠶絲業組合法ガ既ニ通過
シ、實施サレテ居ル、殊ニ又本案ガ通過ス
レバ直ニ實施セラレデアラウト思フ、斯
様ニ道具立ガ出來マシテモ、實際ニ於テ其
效果ヲ收メナケレバ、百ノ法律ガアッテモ
何ノ用モ成サナイノデアリマスカラ、此點
ニ付テ十分效果アラシメナケレバナラスノ
デアリマスガ、ソレニハ養蠶製絲ノ各團體
ガ、此法律ノ運用宜シキヲ得セシメル爲
ニ、本氣デ働カナケレバナラス、其團體ノ

働キヲ十分ニセシメルニハ、立派ナ中心人物が必要デアル、而シテ其中心人物トシテハ、豫テ申上ゲマシタ指導員ヲ必要トスルノデアリマス、ソレデ此指導員ノ設置ニ付テ、此前ノ議會ニ特ニ建議ヲ致シタノデアリマシテ、是非共之ヲ實現シテ貰ヒタイト思ッテ居リマシタガ、今回蠶絲局關係ノ豫算ヲ拜見致シマス、更ニ此技術指導員費ト云フヤウナモノガ計上サレテ居ラナイヤウニ思ヒマス、此點ニ付キマシテ私ハ甚ダ遺憾ノ念ヲ禁ズルコトガ出來マセヌ、指導員ヲ置イテ、各團體ガ本氣ニナッテ働キマシレバ、時局匡救ノ如キ何等心配ハ要ラナイト思フ、農家ノ負債整理ヲヤカマシク言ヒ、負擔輕減ヲヤカマシク言フ、昨日モ大臣ニ質問スル積リデ、出席ノ御約束ヲシマシタガ、負債整理ノ方ノ委員會ノ爲ニ約束ヲ反古ニサレタ、其位負債整理ガ重大視サレテ居リマスガ、今日此指導員ノ下ニ地方ノ各團體ガ一生懸命ニ働キマシレバ、負債整理モ、負擔輕減モ、收入増加モ、決シテ心配ハ要ラナイ、サウ云フ重要ナモノヲ何故ニ閑却シテ、豫算ヲ御計上ニナラナカッタカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 蠶絲業組合法ヲ制定致シマシテ、農蠶組合等ノ設置ヲ獎勵致シマシ

タ、ソレニ付テ洽ク技術員等ヲ置クコトハ洵ニ希望スル所デアリマス、當局ニ於テモ昨年來切實ナル希望ヲ以テ財政當局ト交渉ヲ重ネマシタガ、何分ニモ御承知ノ通りノ財政狀況デアリマス爲ニ、今日マデ其方面ノコトガ十分ニ出來兼テ居リマス、此際何故急イデヤラナイカト云フ御尋デアリマシタガ、何分各種ノ豫算ヲ提出シテ、財政上ノ狀況ト睨ミ合セテ、出來ルダケ努力ヲ拂ッテ居リマスガ、不幸ニシテ未ダ實現スルニ至リマセヌケレドモ、今後ニ於テ出來ルダケ努力シテ見タイト思ヒマス

○加藤委員 ドウカ次ノ通常議會ニハ、何ヲ置イテモ此指導員設置ノ實現ヲ希望致シマス、尙ホ質問ガアリマスガ、私一人デ占領スルコトハ諸君モ御迷惑デアリマセウカラ、此程度デ止メマス

○山本委員 農林大臣ハ大變御多忙デ御氣ノ毒デアリマスガ、私ハ大體論ニ付テ是非今度ノ匡救案ノ本統ノ一人男デアラレル農林大臣ニ伺ッテ置カナケレバナラヌ、時間モアリマセヌカラ、一問一答式デナク、ズツト纏メテ述べマスカラ、其要點要點ニ付テ御隨意ニ御答辯下サレバ、ソレデ結構デアリマス、私ノ農林大臣ニ御伺ヒシタイ心持ハ、攻撃的ノ立場デモアリマセヌシ、又揚

足ヲ取ル心持モコザイマセヌ、本當ニ吾ミ百姓議員ノ立場カラ考ヘマシテ、今度ノ時局案ニドレダケノ一貫シタル主張、若クハ何か「カデゴリー」ノヤウナモノヲ抱イテソレデ行カウトシテオ出デニナルカ、私ノ見ル所ニ依リマスレバ、私ノ意見モ多少加ハルデアリマセウガ、此非常時ト云フ所ノ認識ガ、大體病氣ガ何處ニアルカ、其病氣ヲ狙ッテ、農林大臣ハ相當ノ「メス」ヲ御下シニ相成ッデアリマセウガ、其「メス」ヲ下スベキ箇所ハ、私ヲシテ云ハシムルナラバ、數個ノ點ニアルダラウト思フ、即チ第一ハ農村ト云フモノハ今ノ所資本主義經濟ノ下ニ於キマシテハ、ドウシテモ是ハ國家ノ力ニ依テ助成シナケレバ發達致シマセヌ、少クトモ今ノ立場デハ商工業ガ資本主義ノ寵兒デアリマシテ、農業ト云フモノハ此資本主義制度ノ下デハ十分ノ發達ハ國家統制ノ力ニ依ルニアラズンバ、發達シナイ立場ニアリマス、其立場ヲ十分ニ御承知ニナッテ、サウシテ非常時局ト云フコトガソレカラ流出シテ來ル、又此立場カラ一切ノ問題ガ解決サレナケレバナラナイ、即チ此製絲業法ノ如キモノモ、製絲家ノ倒レタリ起キタリスルコトノ頻繁ト云フ事ノ結果ハ、販賣統制ノ上ニ最モ重大ナ影響ヲ及ボ

スノデアリマシテ、農產物ノ價格ノ引上ト云フ一番中心問題ノ上ニ、重大ナ影響ヲ及ボスカラ、百五十人百五十釜以下ハ新シク許サヌト云フ一ツノ統制法ガ出來タノデアラウト思ヒマス、其點ガ一番重イ點デアラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ統制經濟ノ下ニ、農村ヲ助長シテヤラウト思召ス場合ニ於キマシテハ、モウ少シ此時局ニ對スル徹底的ノ御施設ガナケレバナラヌ筈ダト思ハレル、是ハ先程加藤君ノ御話ノ中ニモアリマシタガ、何故販賣統制ト云フ方ニ、困難デハアリマセウガドノ位デモ手ヲ御著ケニナラヌカ、殊ニ生絲ノ現物市場ニ對スル御研究ガ、モウ少シ具體的ニ外ハ現ハレナカッタカ、斯ウ云フ問題ガ一番重要ナ問題デアルト考ヘラレルノデアリマス、僅ニ製絲業法デ百五十釜以上、ソレ以下ハ許サヌト云フ位ノ販賣統制デハ、到底此時局ニ對スルコトガ出來ナイト思ハレル、又先程以來農林大臣ハ、隨分負債整理組合デ色ミナ、而モ同一ノ質問デ、御迷惑ノヤウデアリマシタガ、私モ此點ニ付テヤハリ同一ノ主張カラ伺ッテ見タイノハ、農業ト云フモノハ資本主義制度ノ下デハ發達シナイカラ、國家ノ統制ノ力デ之ヲ發達サセルト云フコトハ、モウ一ツ重大ナコトハ、此時局

ニ對シマシテハ、貨幣價值ノ動搖ト云フコトデアリマス、モウ少シ具體的ナ言葉ヲ使ヒマスナラバ、金本位ノ破綻デアリマス、歐羅巴ノ大戰以來、金ノ値打ガ甚シク動搖ヲ致シマシテ、殆ド物價ノ上ニ金本位ラシイ統制力ヲ失シテ了ツタコトハ、是ハ周知ノ事實デアリマス、此影響ハ世界的デ、勿論日本モ影響ヲ受ケマシテ、非常ナ物價ノ動搖ヲ來シタ、殊ニ日本ハ大正九年三月十五日以來ノ財界混亂、ソレカラ大正十二年ノ關東大震災、ソレカラ又昭和二年ノ金融恐慌ニ引續イテ、昭和四年ノ農業恐慌、ソレガ今年ニ及ンデ最モ酷イ場合ニナッタノデアリマス、此場合ニ於テ、時局ニ對スル病氣ノ一番ノ原ハ、貨幣價值ノ動搖、即チ物價ノ亂高下ガ、其原因ヲナシテ居ル、而シテ其亂高下ノ中デ最モ多クノ影響ヲ及シタモノハ、債權債務ノ關係ニ於ケル經濟正義ノ觀念ガ打壞サレタコトデアリマス、經濟正義ト云フヤウナ一種ノ抽象的ノ言葉ヲ使ヒマスノハ、百圓ヲ借リタモノハ百圓ヲ返サナケレバナラス、併ナガラ貨幣ト云フモノハ、唯尺度デアリマシテ、物々交換ガヤハリ吾々ノ交換經濟ノ中樞デアル、然ルニ大正九年ノ一月頃ニハ、生絲ガ四千七百七十圓迄行ッテ、

サウシテ今年ノ六月一日ニハ三百九十圓ト云フ所迄落チテ居ル、是レデハ十分ノ一ニ足ラナイ、大正九年ニ借金ヲシタ者ハ、繭ヲ假ニ一貫目借リタトスレバ、昭和七年ノ六月一日ニハ、繭ヲ十貫目返サナケレバナラス、ソレヲ貨幣ノ標準デ計ルカラ、値段ガ百圓トカ十圓トカ云フコトニナリマスガ、物々交換ノ、物ノ本質ニ還ッテ負債ヲ計算致シマスレバ、大正九年ニ繭一貫目借リタ者ハ、此七年ノ六月一日ニハ十貫目返サナクテハナラス、斯ウ云フ風ニ負債義務ノ上ニ、不當ガ生レテ居ルノデアリマス、之ヲ匡正シテ行クト云フコトガ、國家トシテノ統制力ノ上ニ一番必要ナコトデアリマス、其點ニ於テ所謂負債整理組合、或ハ負債整理組合ニ對スル國家ノ補償ト云フコトガ、當然ノ事實トシテ生レ出ル、百圓借リテ百圓返スノハ當リ前ダト云フ、ソレハ少シ古イ觀念デアリマシテ、百圓ノ購買力ガ、今日デハ十圓ノ購買力シカナイト云フ場合ニ於キマシテハ、此貨幣價值ノ動搖ニ對シマシテハ、國家ハ相當ノ責任ヲ以テ之ニ補償作用ヲ與ヘテ行クト云フコトハ、是ハ當然過ギル位當然ナコトデアリマス、之ガ經濟正義ノ立場ニ於テハ、何人デモ主張サル、事實デアリマスガ、多クハ之ガ見逃

ガサレテ居リマス故ニ、司法省ノ立案サレテ居ル所ノ負債調停法ニ於キマシテモ、裁判所ノ判事ハ丁度英國ノ不文法デ、判事ハ辯護士ヲ三年以上シタ者デナケレバナレナイコトニナッテ居ルガ、サウ云フ老巧ナ判事ヲ使ヒマスレバ、負債整理ノ裁定ヲスル場合ニ、物價指數ニ依テ或ル程度迄是デ裁判ヲスルト云フコトハ、當然ノ行キ方デナケレバナラナイ、其立場カラ考ヘテ見マスルナラバ、負債整理組合法ヲ、若シ農林大臣ガ御出シニナルトスレバ、必ズ之ニ國家ノ補償ガ付隨シテ、サウシテ經濟正義ノ觀念ヲ取戻サナケレバナラス、即チ貨幣價值ノ動搖ニ對スル國家統制經濟ガ、之ニ及バナケレバナラスト云フノガ此時局匡救ノ上ニ是非ナケレバナラス大切ナ點デアリマス、繰返シテ申シマス、第一點ハ資本主義經濟下ニ於ケル農村ヲ匡救スルニハ、國家ノ統制ガ必要デアル、第二ニハ貨幣價值ノ動搖ニ對スル今日ノ時局匡救ニハ、同じク國家ノ補償ガ必要デアル、此二ツノ主張ヲ以テ此時局ニ對スルニアラズンバ、到底眞實ナル農村生活、若クハ商工業生活ニ何物ヲモ與ヘルコトガ出來ナイダラウト思フノデアリマス、農林大臣ハ種々ノ點ニ御苦勞ニナッテ、今度ノ問題ニ於ケル一人者トシテ、隨分

御迷惑ノ點ガアラウト思ヒマス、モット露骨ノ言葉ヲ使ヒマスナラバ、大藏大臣ノ責任ニ屬スルコト迄、多分ニ被ッテ御出デニナルカモ知レマセヌ、是ハ實ニ御氣ノ毒ナコトニ存ジマス、デアルカラシテ、私ヲシテ云ハシムレバ、寧ロ農林大臣ハ露骨ニ、實ハ負債整理組合ニ付テハ大藏省ト相談シタガ、大藏省ハドウシテモ聽カヌ、大藏省ハ個人主義經濟ノ立場ニ立ッテ、此貨幣價值ノ暴落ナドニ對スル國家ノ補償ナント云フコトハ、考ヘテ居ラナイ、サウ云フ立場カラ、隨分農林大臣ハ御答ニナッタノデアリマセウガ、私ヲシテ言ハシムルナラバ、寧ロ農林大臣ハ露骨ニ、俺ハ實ハ大藏大臣ニ求メタケレドモ、大藏大臣ハ肯カナカッタ、斯ウ仰シヤッタ方ガ寧ロ私ハ本當ハ宜イノデヤナイカト思フ、決シテソレガ爲ニ内閣ノ統一トカ不統一トカ云フ問題ニハ及バナト思フ、サウ云フ風ニ露骨ニ、ザックバラシニ國民ノ前ニ御話下サッテ、俺ハ是ダケ努力シタケレドモ、ドウモ舊イ「オーソドックス」的ノ經濟學ヲ奉ジテ居ル人々ノ間ニハ、個人主義經濟ガ一番中心デ已ムヲ得ナカッタト言ヘバ、茲ニハッキリ何モノカ得ラレマス、サウシテ又國民トシテ聲ヲ揚グベキ點ノ見當モ付イテ參リマス、斯ウ云フコ

トヲ農林大臣ハ爲サラナイ、一人デ罪ヲ背負ッテ御立チニナルヤウデアリマスガ、此二點ニ觸レラレナイ時局匡救案ト云フモノハ、多クハ不徹底、多クハ實際ノ意味ヲ成サナイノデハナイカ、斯ウ云フ認識ヲ私ハ有ッテ居リマスガ、甚ダ抽象的デハアリマスケレドモ、此二點ニ對スル農林大臣ノ御考ヲ、簡單デ結構デス、御話ヲシテ下サルナラバ、此匡救案ノ本議場ニ現ハレル時ニ於ケル、少クトモ私ノ去就ニ重大ナ影響ヲ持ツダラウト思フノデアリマス、而シテ單リ私ノミニアラスシテ、深甚ニ政權ナドノコトハ少シモ考ヘナイ、内閣ガ何處ヘ行カウガ、ドウシヤウガ考ヘナイ、偏ニ國家民人ノ爲ニ深甚ニ、眞劍ニ、唯如何ニシテ此難局ヲ切抜ケラレルカト云フコトヲ考ヘテ居ル大部分ノ人、而シテ吾々百姓議員ヲ満足セシメ得ルダラウト思フノデアリマス、ドウカ露骨ナ、而シテコダハリノナイ立場ニ於テ御話下サルナラバ、大變結構ダト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 只今時局匡救ノ策ヲ立テルニ當ッテノ根本ノ方針、或ハ精神ト云フモノ、置キ方ニ於テ、御懇篤ナ御議論、併セテ御質問ガゴザイマシタ、御趣意ノアル所ハ能ク諒解致シタノデアリマスルガ、私

共ガ今同ノ匡救案ヲ立ツルニ當リマシテ、國家ガ相當ナ力ヲ玆ニ發露シテ來ナケレバナラスト云フコトハ十分ニ考ヘタノデアリマス、普通ノ單純ナル産業振興、或ハ單純ナル企業ノ成果ト云フモノノミヲ見ルノデナクシテ、此農林土木事業、内務省系統土木事業等ヲ行ハウトシマシタノモ其爲デアリマス、尤モ是等ノモノハ、殊ニ農林土木事業ノ如キハ、併セテ將來ノ産業的效果ヲ深く考慮致シタノデアリマス、ソレカラ不動産融資ノ補償デアリマストカ、産業組合ノ固定資金ノ流動化ノ國家補償デアリマストカ云フヤウナ事柄モ、ソレ等ノ見地カラ發足ヲ致シテ居リマス、唯其外ノ尙ホ根本的ナ産業上ノ各種ノ統制ト云フ問題ガアルノデアリマス、是ハ時局ノ匡救ニモナリ、根本策ニモナルト云フモノガアルコトモ承知シテ居リマス、併ナガラ直ニ恆久的ニ觸レルモノニナリマシテハ、單純ナル目前ノ時局匡救ノ外ニ、國家永遠ノ利害ト云フモノヲ考ヘテ來ナケレバナリマセヌ、之ヲ火急ニ輕ミシク、此臨時議會ニ大急ギデ出スト云フヤウナ譯ニモ參リ兼ネタノデアリマス、先程資本主義經濟ノ下ニ於ケル今日ノ農村ハ非常ニ困ル事情ニアルンダト云フヤウナ御話ガアリマシタ、只今ノ、特ニ

資本主義經濟ト云フヤウナ言葉デ申スガ宜イカドウカ存ジマセヌガ、今ノ産業界ノ狀況ニ於テ、農村ガ比較的薄弱ナ位置ニ居ルト云フコトモ私ハ認メマス、殊ニ我國ノ農業經營ガ、小サナ規模ノ農業デアル、是ガ今日ノ産業界ノ組織ノ中ニ、頭ヲバラ／＼ニ突込シテ居ルト云フヤウナ狀態ガ、一ツニハ非常ナ農村ノ不利益ヲ來シテ居ルト思フノデアリマス、之ニ對シテ農業者ト云フモノガ一種ノ組織ト統制トヲ漸次持ッテ來ナケレバナラスト云フコトヲ考ヘマス、ソレト同時ニ矢張農業ニ付テ、各種ノ國家的ノ統制ガ漸次行ハレテ行カナケレバナラスト云フコトモ考ヘルノデアリマス、貨幣價值ノ下落ト、之ニ對スル經濟的ト申シマスカ、或ハ社會的ト申シマスカ、正義觀念ヲ加ヘテ、貨幣價值ノ變動ニ處スル何カノ方法ガ要ルデハナイカト云フヤウナ趣旨ノ御話モアリマシタ、是ハ現在ノ經濟ノ仕組ニ於テハ、之ヲ直ニ端的ナル方法ニ依テ處理シヨウトスルコトハ、却ッテ經濟的混亂ヲ惹起スル虞ガアリマス、矢張色ミナ方法ニ依テ、是ガ或ル程度ニ是正サレルト云フコトヲ以テ、現在ニ即シタ問題トシテ満足ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、政府ガ色ミナ低利資金ノ融通、又償還條件ノ

緩和ヲ計リ、其他今ノ不動産融資、産業組合ノ融資、或ハ補償、ソレカラ負債整理組合ヲ設ケテ農村ノ經濟更生ト共ニ負債整理ニモ便宜ヲ圖ル幾多ノ方法ガ竝ビ行ハレ、又最初ニ申シマシタ土木事業ノヤウナモノニ依テ、資金ガ地方ニ放出サレ、或ハ貸銀トシテ廣ク行ワッテ、潤ッテ來ルト云フヤウナ各種ノ方法ガ行ハレ、又ハ低金利政策ト云フモノガ行ハレテ、玆ニ自然ニ貨幣價值ノ變動カラ來ル所ノ好マシクナイ結果ガ、或ル程度ニ是正サレルト云フコトヲ圖ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、根本ノ御趣旨ニ於テハ著シキ差ガナイト思ヒマスガ、現實ノ場合ノ問題トシテハ、國家ノ財政ノ狀況、又國內ノ一般經濟社會ノ狀況等ヲ見テ、現實ノ問題トシテ實行致シマス、時ノ手段方法ガ、只今吾々ノ立テヤウナコトニ相成ッテ居ル譯デアリマス、農林大臣トシテハ一個ノ見解ヲ持チ、ソレガ又政府ノ他ノ部局トノ談合ガ、ドウデアッタト云フヤウナコトモ、卒直ニ話シタラドウカト云フ御話デアリマスルケレドモ、私ガ議會ニ於テ申上ゲマスルコトハ、政府ノ決定シタル方針ヲ申上ゲテ居リマスノデ、私ノ意思モ全然今マデ申上ゲテ居ル通りデアリマシテ、其道行ニ色ミナ政究ヲ遂ゲマシタ經過

ハ、私ハ此處デ申上ゲルコトニ致サウト考ヘマセヌシ、ソレハモウ過去ニ於ケル經過デアリマシテ、私共ノ立テマシタ今ノ場合ニ處スル現實ノ問題トシテノ適切ナル案ハ

議會ニ提出シテ、毎日御諒解ヲ願フテ居ル案

其モノデアルコトヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山本委員 極ク簡單デアリマスカラ伺ッ

テ置キマスガ、貨幣價值ノ動搖ニ對スル是正ノ方法トシテ、私ハサウ云フ抽象的論ヲ

スルノデアリマセヌノデ、其是正ヲスル方法トシテ、負債ノ上ニハドウシテモ國家

ノ補償が必要デアル、負債整理組合ト云フ

モノガ其資金ヲ出シ、及ビ之ニ國家ノ補償

作用ヲ加ヘルニアラズンバ、全然無意味デア

ルト云フ所ニ重キヲ置イテ居ルノデアリ

マスガ、農林大臣ハ屢々是ハ御答ニナッテ居

ルヤウデアリマスガ、資金及國家ノ之ニ對

スル補償作用ト云フヤウナコトヲ御考ニ

ナッタコトガアリマスカ、アリマセヌカ、ソ

レヲ伺ッテ置ケバ宜シイ

○後藤國務大臣 補償ト云フヤウナコトハ

考ヘタコトハアリマセヌ、資金ノコトハ考

ヘマシタ、デ其結論ハ、低利資金ヲ出スト

云フコトニ相成ッテ居ル譯デアリマス

○青木委員 只今議題トナッテ居リマスル

製絲業法案外一件ニ對スル所ノ質問ハ此程度ニ於テ御打切ニナランコトヲ希望致シマス

○生田委員長 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○生田委員長 御異議ナシト認メマス、仍

テ質問ハ打切ラレマシタ、本日ハ是ニテ閉會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ御通知申

上ゲマス

午後六時二十二分散會